

つくば市学校等適正配置計画（指針）

平成 26 年 8 月改訂

つくば市教育委員会

目次

■ 適正配置計画見直しの考え方	1
I. 計画策定の背景	2
II. 計画の目的,意義	3
III. 計画の位置づけ	4
IV. 計画期間	5
V. 学校等適正配置の基本的な考え方	6
1. 学校の適正規模化の意義と効果	
2. 適正規模校等の設定とあり方	
3. 適正配置の検討方法	
VI. 市及び学区の概況	9
1. つくば市の概要	
2. 人口と世帯数	
3. 学区等の状況	
VII. 学校別の将来推計	15
1. 構成と概要	
2. 小学校区の将来推計	
3. 中学校区の将来推計	
VIII. つくば市学校等適正配置計画	55
1. 適正配置計画の検討手順	
2. 小学校の適正配置計画	
1) 学校別の配置方針	
2) 期別の配置方針図	
3. 中学校の適正配置計画	
1) 学校別の配置方針	
2) 期別の配置方針図	
4. 幼稚園の適正配置計画	
1) 幼稚園の配置方針	
2) 期別の配置方針図	
5. 小中学校の建設費想定	

■ 適正配置計画見直しの考え方

平成 21 年 3 月に策定された「つくば市学校等適正配置計画について（指針）」の改訂は、次に示す「見直しの考え方」に基づいて行いました。

1 児童生徒数等※推移への対応

策定時の児童生徒数等推計値と現在の児童生徒数等に相異が生じているため、最新の推計値データ作成とそのデータに基づいた見直しを行いました。

※児童生徒数等の「等」は、園児数を示す。以下において、等の付かない「児童生徒数」の場合は園児数を含まないこととする。

2 小中一貫教育の始まりへの対応

平成 24 年 4 月からつくば市内のすべての市立小中学校において、小中一貫教育が本格的にスタートしました。中学校区を単位とした「学園」ごとにさまざまな形で小中一貫教育を実施していますので、これらに対応した見直しを行いました。

【小中一貫教育の特長】

① 安心な学校生活について

- 小学校同士の交流学习により、学園内にたくさんの**仲のよい友達**が増えます。
- 中学校進学時の**中 1 ギャップ**※の解消や不登校などの防止につながり、安心した学校生活が送れます。
(※「中 1 ギャップ」とは、児童が小学校から中学校への進学において、授業形態の違い、生徒指導方法の違い、上級生や教職員との人間関係の違いなどから学校生活に適應できず、不登校等の問題行動につながっていく現象)

② 学力・学習について

- 発達段階に応じて、教科により専門の教員が授業を行う**教科担任制**によって専門性を生かした授業を行います。わかりやすい授業は学力の向上につながります。
- これまでの 6・3 制の節目から、9 年間を見通し子どもたちの発達を意識した柔軟かつ効果的な学年の区切りにより、独自の学習カリキュラムが編成でき、子どもの交流や系統性を重視した一貫性のある教育活動ができます。
- つくば独自の新教科「**つくばスタイル科**」の実施により、21 世紀を担う新しい学力「**つくば次世代型スキル**」が身に付きます。

③ 豊かな心について

- 小学生同士や小学生と中学生との交流学习をととして、**同年齢・異年齢の集団活動**が活発になり、人と関わる力を高めることができます。
- これらの集団活動により、「あんな先輩になりたい」「小学生があこがれる中学生になりたい」という意識が芽生え、自分を大切にしようという意識や人を敬う気持ちが育まれます。

④ 地域の協力について

- 学園内教員の連携や協同がしやすくなり、より効果的な指導が可能になります。
- つくばスタイル科等において地域の住民の協力を得て、地域の特色を生かした教育が行われます。
- 地域の協力を得た学校、地域に根ざした学校、地域と学校の関係の深化が一層図られます。それにより、「将来になりたい職業がはっきりしてくる」、「新しいことにチャレンジしたい」など前向きな心の変化が表れてきます。

3 国家公務員宿舎処分に伴う関係地区人口変化への対応

平成 24 年 11 月に財務省より「国家公務員宿舎削減計画に基づくコスト比較等による個別検討結果及び宿舎使用料の見直しについて」が公表され、つくば市内の処分宿舎が明記されました。今後関係地区において大幅な人口の変化が考えられ、その変化を考慮した見直しを行いました。

I. 計画策定の背景

つくば市の学校等適正配置計画策定の背景として、次のような課題があります。

①学校配置のアンバランス

市内の公立学校等は幼稚園 17 園、小学校 37 校、中学校 15 校ありますが、合併以前の旧町村時代に建設された学校が多く、必ずしも、現在のつくば市の実態にあった合理的な学区とはなっていません。学校規模の標準化を図り、バランスのとれた学校配置を考える必要があります。

②人口の偏りから起こる小規模校等の存在

市内は急激に子どもの数が減っている地域があり、標準規模に照らして「小規模」な学校も少なくありません。

小規模な学校等には、メリットもありますが学校の活力の維持や学習効果の面でデメリットもあります。教育・学習環境を向上させるためには、学校規模の標準化を図る必要があります。小規模な学校等は、将来の動向を踏まえて、学区の見直しや統合について検討をする必要があります。

③学校の老朽化や耐震化に伴う改築等の問題

市内には近い将来、耐用年数から改築の時期を迎える校舎や新耐震基準以前に建てられた校舎が多くあります。これらは、その時期に合せ、老朽化や耐震化に対応した「改築」・「補強」・「廃止」等を行うとともに、学区の見直しを検討する必要があります。

④TX 沿線開発等に伴う人口急増地域の問題

市内には今後も、TX 沿線開発や公務員宿舎跡地でのマンション開発などに伴い、大規模な人口増加が見込まれる地域があります。これらの地域の人口増加の動向を的確に把握し、学区の見直しや学校新設等の検討を行う必要があります。

Ⅱ. 計画の目的, 意義

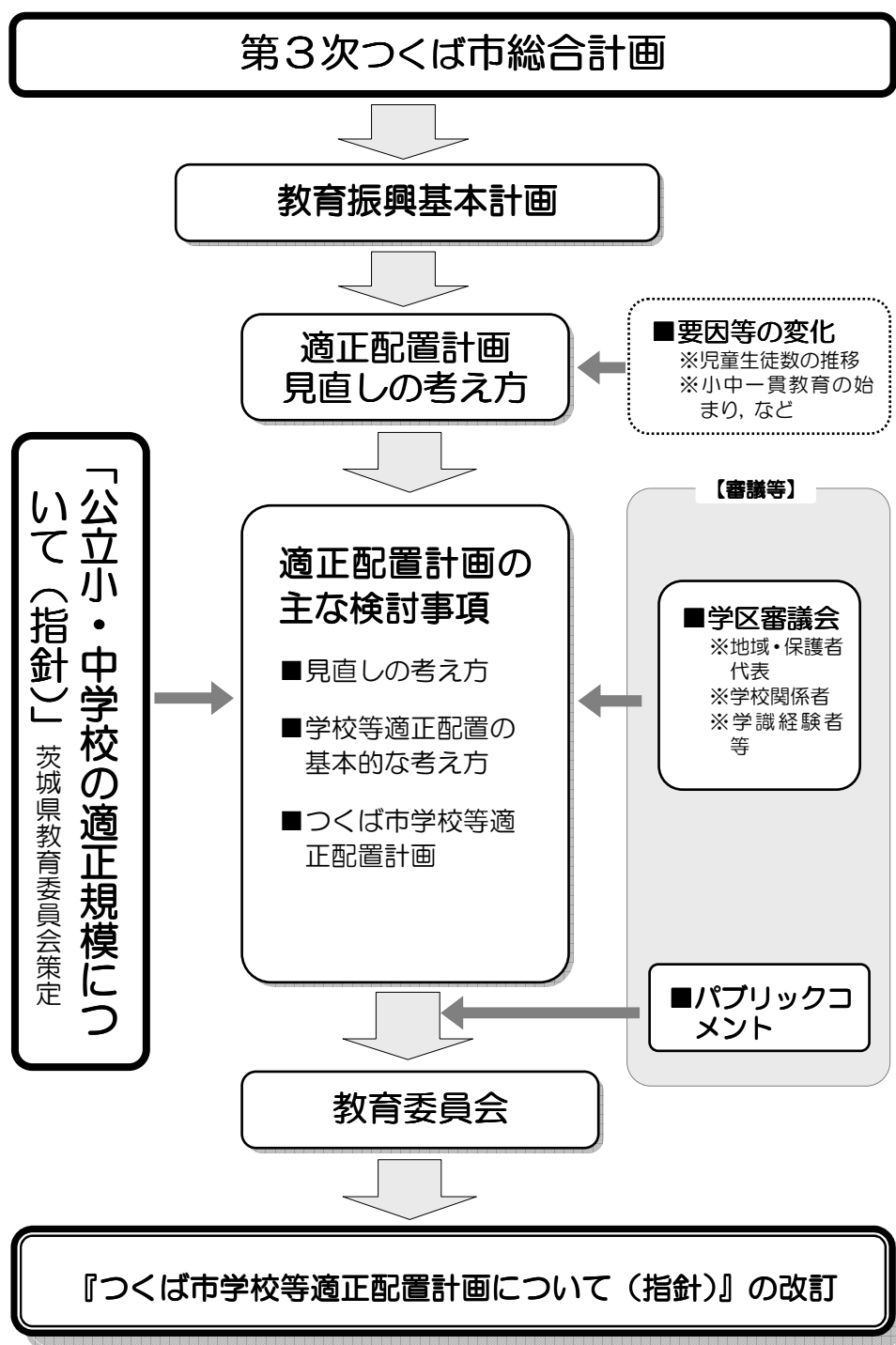
本計画策定の目的は、現在の学校等の配置等の課題に積極的に対応するために、今後の適正な配置について中長期的な見通しを示すことです。つくば市の市立幼稚園・小学校・中学校の中長期的な統合や改築、新設、学区の再編等の方針と、これらに伴う建設費の想定を含めた「学校等適正配置計画（指針）」を定め、中長期的な見通しのもと、すべての子どもが安定・安心・安全のうちに通える区域内に小さすぎず・大きすぎずの標準規模の学校を配置していきたいと考えています。

このような中長期の学校等適正配置計画（指針）の策定には、次のような意義があります。

- ①今後のつくば市の教育行政の展開について見通しが持て、中長期的に目標と施策を設定することができる。
- ②市民に問題の将来展開を予告し、課題解決への協力を訴えることができる。
- ③年次的に均衡の取れた財政計画を策定することができる。

Ⅲ. 計画の位置づけ

この計画（指針）は、第3次つくば市総合計画（第7章「健やかな人を育む教育・スポーツのまち（育みの創造）」第2節「学校教育」）に基づくとともに、茨城県教育委員会策定の「公立小・中学校の適正規模について（指針）」の考え方も取り入れています。



IV. 計画期間

本計画の計画期間は、平成 26 年度（2014 年度）から 45 年度（2033 年度）までとします。この計画の児童生徒数等の推計は現在のつくば市の関連するデータを基に行っておりますので、今後様々な社会的な要因等の変化によってつくば市の様相が移り変わり、児童生徒数等も本計画推計との相違が生じてくることが予想されます。そのため、計画に柔軟性を持たせるとともに、5 年ごとに状況の変化に応じた計画の見直しを行ってまいります。

V. 学校等適正配置の基本的な考え方

学校等の適正な配置は、先の「見直しの考え方」と「Ⅰ. 計画策定の背景」にあげた課題を改善するために行う必要があります。

そして、適正な配置を行うためには次の検討が必要となります。

- ①学校が望ましい学習環境を保つためには、標準的な学校の規模を保つ必要があります。そのため、指標となる「標準規模」などの基準を定める必要があります。
- ②標準規模の学校とするためには、将来における学校規模の検討とともに、周辺の学校、新たな学校の設置等を含めた「適正な配置」を検討する必要があります。

ここでは、「学校の標準規模化の意義と効果」を明らかにし、つくば市における「標準規模校等の設定」そして、「適正な配置の検討方法」について、基本的な考え方を整理します。

1. 学校の標準規模化の意義と効果

幼稚園・小学校・中学校の時期の教育は、各人の生涯にわたる「生きる力」の基盤を形成するものであり、子どもたちに自立して生きるための確かな学力と多重社会での共生能力を身につけさせていかなければなりません。

子どもたちに、この「生きる力」を確実に保障することは、大人や国家及び社会の義務であり、つくば市においても、国や県の支援を受け、市民の協力を得ながら、この「生きる力」を育成するために最適な「学校環境」を提供する必要があります。

「学校配置」は、この学校環境の基礎的インフラストラクチャとなるものであり、すべての幼児・児童生徒が安定・安心・安全のうちに通える標準規模の学校を適正に配置していかなければなりません。

学校は、子どもたちの社会性の育成やお互いに切磋琢磨する場として一定の規模が必要です。小さすぎず・大きすぎずの標準規模の学校をバランスよく配置することが、本計画の根幹を成す重要な事項です。

標準規模の学校による適正な配置を実現し、望ましい学校環境を整備することにより、「児童生徒への教育的充実」や「学校運営等の充実」、「教育予算の効率化」など、次のような意義と効果を発揮できるようになります。

第一には、「教育環境の充実」があげられます。児童生徒が切磋琢磨しながら、ともに学ぶ環境が充実されます。また、児童生徒同士や教員との関わりが十分に保たれ、社会性や人間性を学び、豊かな人間性やたくましさを育むことができるようになります。

第二には、「学習意欲の向上」があげられます。多様な学習活動を行うことができ、学力向上につながります。また、小学校においては教員の所有免許教科が拡大され、より専門的な教育を受ける環境が整備されるようになります。

第三には、「教育活動の充実」があげられます。体育や音楽では、適切な規模の学習体験（集団競技、合奏、合唱など）が可能になります。また、人間関係を考慮したクラス替え、学習グループ替えがやりやすくなります。そして、男女数のバランスが良くなり、多様な教育活動が可能になるなど、学習活動の充実が期待できるようになります。

第四には、「指導体制の充実」があげられます。児童生徒数に応じた教員配置が拡大され、教科指導や児童生徒指導の充実を図ることができるようになります。また、教科打合せや課題研究などを同じ教科の教員同士で行うことや、校内における教職員研修の充実を図ることができるようになります。

第五には、「学校組織の充実」があげられます。少人数加配など教員の配置が拡大されるようになります。

第六には、「校務の効率化」があげられます。校務の役割分担が明確になり、教員一人ひとりが担う業務を分散化できるようになります。

第七には、「部活動の充実」があげられます。クラブ活動や部活動においても多様な種目が選択でき、より児童生徒の興味・関心に応じた活動ができるようになります。

第八には、「PTA活動の充実」があげられます。PTAの適切な規模化により、保護者の負担が軽減されるとともに、組織的な活動を行うことができるようになります。

第九には、「教育予算の効率化」があげられます。教育費の集中や計画的な予算化により、老朽化及び耐震化等に対応した施設整備や学校運営費等を効果的に活用することが可能となり、教育環境を充実させることができるようになります。

2. 標準規模校の設定

「学校規模」の基礎単位は「学級規模」です。国が示す学級規模は「40人編制の学級※1」を基準とし、小学校・中学校それぞれの学校規模は「学級数12～18学級※2」を標準としています。

また、茨城県教育委員会が示している学校規模は、「小学校は12学級以上※3」、「中学校は9学級以上※3」を望ましいとしています。

学校規模については、国と県の考え方に開きがありますが、つくば市においては、よりよい教育活動の活性化を図るため、学級規模が「1学級40人以下」で、学校規模が小学校においては「学級数18～24学級（学年3～4学級）」、中学校においては「学級数12～15学級（学年4～5学級）」となる学校を『標準規模校』とします。

また、施設一体型小中一貫校※4の標準規模を考える際に、教科の専門性を生かした学

習指導，児童生徒へのきめ細やかな対応の観点から，5～6年生における教科担任制を取り入れた授業を実施しやすくすることが重要となります。したがって，施設一体型小中一貫校※4については，各学年の学級数が3～5学級となる学校を『標準規模校』とします。

なお，本計画では，学級数が標準規模校に満たない学校を『小規模校』，学級数が標準規模校を超える学校を『大規模校』とします。

※1：学校教育法施行規則（第40条・第69条）にもとづく小学校・中学校設置基準（ともに第4条）及び公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（第3条）

：但し，小学校の第1学年の児童で編制する学級にあつては35人とする（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）（第3条第2項）

※2：学校教育法施行規則（第41条・第79条）及び義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第4条）

※3：「公立小・中学校の適正規模」（指針）茨城県教育委員会策定（平成20年4月）

※4：施設分離型小中一貫校のうち構成する小学校及び中学校がそれぞれ1校の場合も含む

3. 適正配置の検討方法

学校の適正配置は，次に示す考え方に基づいて検討を行います。

- 将来の児童生徒数の推計を行います。
- 標準規模校化を図るため，小規模校は，学区調整や統合等の検討を行います。
- 大規模校は，教室増設や学区調整，分割，移転，新設等の検討を行います。
- 小中一貫教育の推進を踏まえた検討を行います。

適正配置の検討においては，次に示す事項に留意する必要があります。

- 地域の地理的・歴史的な成り立ちによる生活圏など，地域の特性に留意する必要があります。
 - 通学距離及び通学時間の増大に伴う児童生徒の負担軽減や安全性確保に留意する必要があります。
- ※遠距離通学になる場合については，スクールバス等の運行を検討する

4. 本計画（指針）の推進について

本計画の具体的な推進にあたっては，当該関係者から構成されるつくば市学区審議会への諮問とともに，当該学区市民との協議を十分に行い，合意形成を行った上で実施していくことを基本としています。そのため本計画は，これらの合意形成，又は社会状況の変化，財政状況等によっては，指針どおりに推進できない場合があります。

Ⅵ. 市及び学区の概況

1. つくば市の概要

つくば市は、昭和62年11月30日、筑波研究学園都市を構成する6市町村のうち筑波郡大穂町・豊里町・谷田部町・新治郡桜村の3町1村が合併して誕生しました。翌年1月31日に筑波郡筑波町、平成14年11月1日に稲敷郡茎崎町が加わり、現在に至っています。なお、昭和62年当時の公立学校数は、幼稚園15園、小学校31校、中学校10校でした。

現在は、面積284.07平方キロの中に幼稚園17園、小学校37校、中学校15校が配置されており、「夢・感動のある楽しい学校」を学校教育の目標として掲げ、幼児・児童生徒の「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健康・体力の向上」を目指して、特色のある学校教育を推進しています。

また、つくば市内では、つくばエクスプレス開業とこれに伴う沿線開発、首都圏中央連絡自動車道の建設など、新たな都市基盤の整備が進められています。

2. 人口と世帯数

つくば市の人口は217,337人（平成25年5月1日現在）で、県内では水戸市に次いで第2位となっています。筑波研究学園都市として、人口構成は他の同規模の都市とは大きく異なっており、世帯数の多さや生産年齢人口割合の高さが特徴です。

人口は現在も増加が続いており、つくばエクスプレス開業とこれに伴う沿線開発により、今後も更なる人口増が見込まれています。

■つくば市人口の推移（各年5月1日現在：常住人口及び児童生徒数学校基本調査）

平成	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
人口	198,151	199,496	202,573	205,893	208,427	202,260	204,772	207,108	208,402	217,337
世帯数 (戸)	76,061	77,371	80,098	82,314	83,970	81,779	83,240	84,704	85,815	90,991
児童数	12,192	12,166	12,357	12,365	12,638	12,778	12,931	12,895	12,933	13,047
生徒数	5,269	5,306	5,410	5,646	5,575	5,619	5,460	5,614	5,639	5,786

3. 学区等の状況

1) 学区と通学距離圏

小学校、中学校の学区及び幼稚園の園区は、現在、次図のようになっています。また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第4条）において示されている法定通学距離（小学校おおむね4km圏・中学校おおむね6km圏）を同図の一部に図示します。

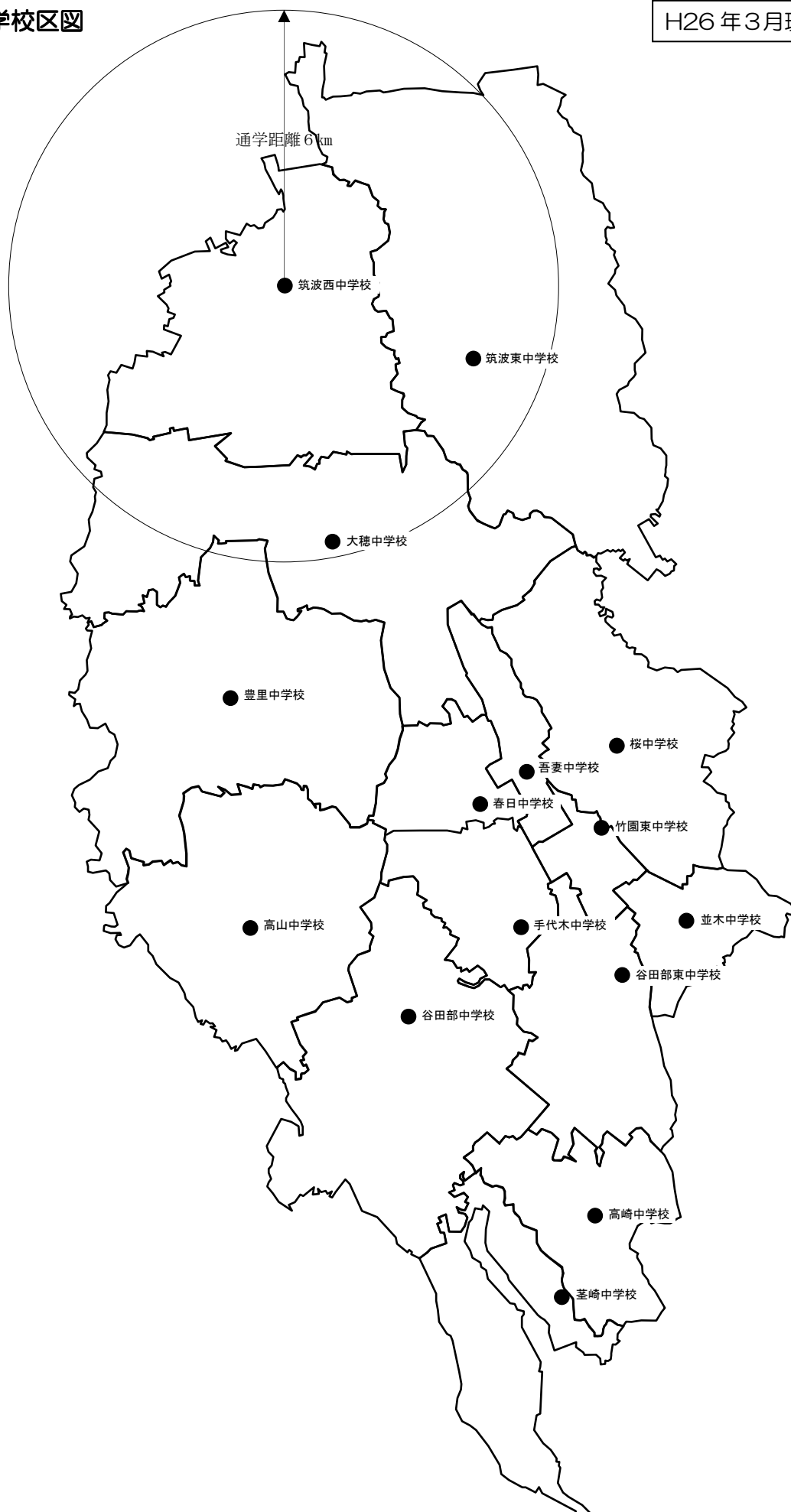
①小学校区図

H26 年 3 月現在



②中学校区図

H26 年3月現在



③市内学園一覧

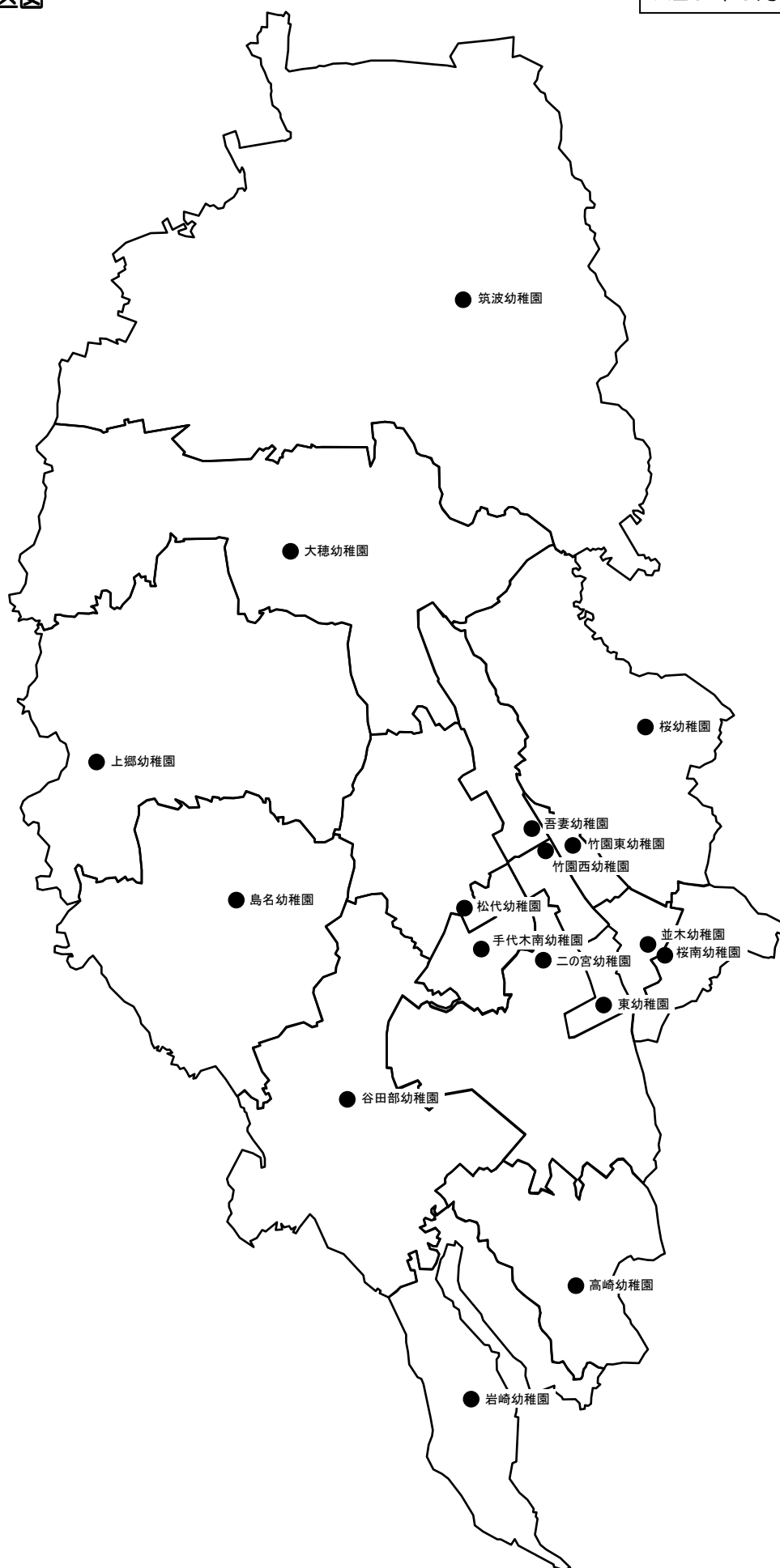
H26年3月現在

学園名は、つくば市立小学校及び中学校管理規則第5条（小中一貫校）で定められた名称です。

学園名	学校名
さくら学園	桜中, 栄小, 九重小, 栗原小
つくば竹園学園 ～CREATIVE TAKEZONO～	竹園東中, 竹園東小, 竹園西小
つくば桜並木学園	並木中, 並木小, 桜南小
つくば輝翔学園	谷田部中, 谷田部小, 谷田部南小, 柳橋小
高山真名学園	高山中, 島名小, 真瀬小
手代木光輝学園	手代木中, 手代木南小, 葛城小, 松代小
つくば豊学園	豊里中, 沼崎小, 今鹿島小, 上郷小
つくば紫峰学園	筑波東中, 筑波小, 田井小, 北条小, 小田小
つくば百合ヶ丘学園	筑波西中, 田水山小, 作岡小, 菅間小
くすのき学園	大穂中, 大曾根小, 前野小, 要小, 吉沼小
つくばAZUMA学園	吾妻中, 吾妻小
つくば洞峰学園	谷田部東中, 小野川小, 二の宮小, 東小
つくば荃崎学園 ～ADVANCING KUKIZAKI～	荃崎中, 荃崎第二小, 荃崎第三小
高崎しいの木学園	高崎中, 荃崎第一小
春日学園（施設一体型）	春日中, 春日小

④幼稚園区図

H26 年 3 月現在



2) 指定学校変更可能区域

つくば市では、教育委員会で指定した学校より距離が近く、通学が安全である等の理由から、選択できる区域（指定学校変更可能区域）を次表のとおり設定しております。

■指定学校変更可能区域表

変更可能区域	指定（正規の） 小学校名	変更可能 小学校名	指定中学校名	変更可能 中学校名
高野（一本松・豊里中付近）	沼崎小	今鹿島小	豊里中	—
今鹿島（前木）	今鹿島小	沼崎小	豊里中	—
大砂	吉沼小	今鹿島小	大穂中	豊里中
島名 （行政区みずほ団地）	島名小	谷田部小	高山中	谷田部中
春日 1 丁目	春日小	吾妻小	春日中	吾妻中
西岡（新生区会を除く）・島	葛城小	松代小	手代木中	—
上横場（サイエンス通り西側）	小野川小	谷田部小	谷田部中	—
二の宮 1 丁目	二の宮小	竹園西小	谷田部東中	竹園東中
吉瀬（上広岡との境界）	栄小	桜南小	桜中	並木中
花園	竹園東小	九重小	竹園東中	桜中
花室（花園以西）	竹園東小	九重小	竹園東中	桜中
梅園 1 丁目・2 丁目	東小	並木小	谷田部東中	並木中
小沢 （12 番地，14 番地付近）	田井小	北条小	筑波東中	—
北条（飛び地：杉木付近）	北条小	田井小	筑波東中	—
小和田（国道 125 号付近）	小田小	北条小	筑波東中	—
明石（253 番地付近）	作岡小	菅間小	筑波西中	—

Ⅶ. 学校別の将来推計

将来の適正配置を検討するにあたり、予め学校別の児童・生徒数の将来推計を行います。

将来推計は、「推移グラフ及び表」を用いたものと、「推移図」で示したものに整理します。

推移グラフ及び表は各学校別にパターン化して記載します。

推移グラフ及び表の記載内容の理解を図ってもらうために、最初にこれらの「構成と概要」の説明を行います。

1. 構成と概要

学校別に次の内容を記載しており事例を挙げて説明します。

- ①基本情報
- ②児童・生徒数の「推移グラフ」
- ③児童・生徒数の「推移表」

1) 基本情報

学校別の基本情報は、次の事例に示すように①から⑮まであります。それぞれの概要を下記に記述します。

■基本情報の事例（大曾根小の場合を例示）

①学校名	大曾根小	⑥H24 年度児童数	678	⑫現有普通教室数	27
②所在地	大曾根 2917	⑦H24 年度学級数	21	⑬教室の不足	
③隣接学区	吾妻・要・前野・田水山・北条・小田・栗原	⑧将来の児童増		⑭T X 関連	
④指定校変更制度	なし	⑨将来の児童減	◎	⑮公務員宿舍関連	
⑤中学校区	大穂	⑩大規模校			
		⑪小規模校	○		

- ①【学校名】 学校の名称
- ②【所在地】 学校所在地の住所
- ③【隣接学区】 隣接している学区名
- ④【指定校変更制度】 指定校変更制度対象校の場合の変更先学区
- ⑤【中学校区（小学校）、小学校区（中学校）】 小学校は中学校区、中学校は小学校区について記載
- ⑥【H24 年度児童・生徒数】 学校教育法 81 条の学級在籍者を含む児童・生徒の総数, H24.5.1 現在
- ⑦【H24 年度学級数】 学校教育法 81 条の学級を除く学級の総数, H24.5.1 現在
※学級規模については、小学校区の標準規模校を「学級数 18～24 学級（学年 3～4 学級）」、中学校の標準規模校を「学級数 12～15 学級（学年 4～5 学級）」また、施設一体型小中一貫校の標準規模校「各学年の学級数が 3～5 学級」とする
- ⑧【将来の児童・生徒増】 H25 と H45 の推計値の児童生徒数の増加割合が「○：1.25～1.5 倍」, 「◎：1.5 倍以上」となるもの
- ⑨【将来の児童・生徒減】 H25 と H45 の推計値の児童生徒数の減少割合が「○：1.25～1.5 倍」, 「◎：1.5 倍以上」となるもの

- ⑩【大規模校】 推計による将来の学級数の上限が「○：大規模校」となるもの
 ⑪【小規模校】 推計による将来の学級数の下限が「○：小規模校」となるもの
 ⑫【現有普通教室数】 現在の普通教室と普通教室に転用可能な教室の総数
 ⑬【教室の不足】 本計画の推計によるピーク時の学級数が上記「現有普通教室数」を超える場合に『○』
 ⑭【TX 関連】 学区内につくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業地を含む場合に『○』
 ⑮【公務員宿舎関連】 学区内に公務員宿舎廃止の対象地を含む場合に『○』

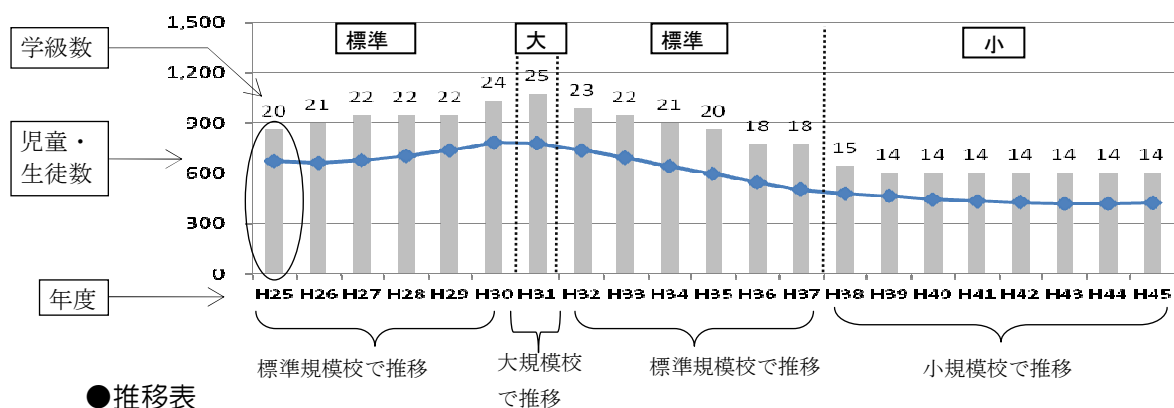
2) 児童・生徒数の推移グラフ及び表

将来の児童・生徒数の推移を次の事例のようにグラフと表で示しています。

■児童・生徒数の推移グラフ及び表の事例（大曾根小の場合）

- ①「推移グラフ」は、本計画の推計による 1 年毎の全校児童・生徒数を示しています。
 （※学校規模の範囲は「学級数」に基づいて定めているため、「児童数」のグラフの増減と連動していない所がある）
 ②「推移表」は、本計画の推計による 5 年毎の学年別児童・生徒数及び学級数を示しています。

●推移グラフ



●推移表

学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	106	(3)	147	(5)	90	(3)	76	(3)	79	(3)
2 年	106	(4)	136	(4)	91	(3)	75	(3)	76	(3)
3 年	110	(3)	135	(4)	91	(3)	74	(2)	71	(2)
4 年	114	(4)	130	(4)	92	(3)	73	(2)	68	(2)
5 年	120	(3)	129	(4)	114	(4)	75	(2)	66	(2)
6 年	113	(3)	104	(3)	118	(4)	72	(2)	61	(2)
計	669	(20)	781	(24)	596	(20)	445	(14)	421	(14)

3) 学級数の算出方法

今回の見直しにあたり各学校の学級数は次の基準により算出しています。

- ・小学校 1 学年は 35 人学級とした。
- ・小学校 2 年生～6 年生及び中学校 1 年生は茨城県学級編制弾力化の基準を適用した。
 （別表参照）
- ・中学校 2 年生，3 年生は 40 人学級とした。

■学級編制弾力化の早見表

●小学2年生

在籍児童数 (人)	学級編制の弾力化 (弾力化後の学級数)	標準学級数 (40人編制)
1～35	1	1
36～40	2	
41～70	2	2
71～80	3	
81～105	3	3
106～120	4	
121～140	4	4
141～160	5	
161～175	5	5
176～200	6	

●小学3～6年生, 中学1年生

在籍児童・生徒数 (人)	学級編制の弾力化 (弾力化後の学級数)	標準学級数 (40人編制)
1～40	1	1
41～80	2	2
81～107	3	3
108～120	4	
121～142	4	4
143～160	5	
161～177	5	5
178～200	6	

2. 小学校区の将来推計

1) 小学校の推移グラフ及び表

(1)大曾根小学校 【くすのき学園】

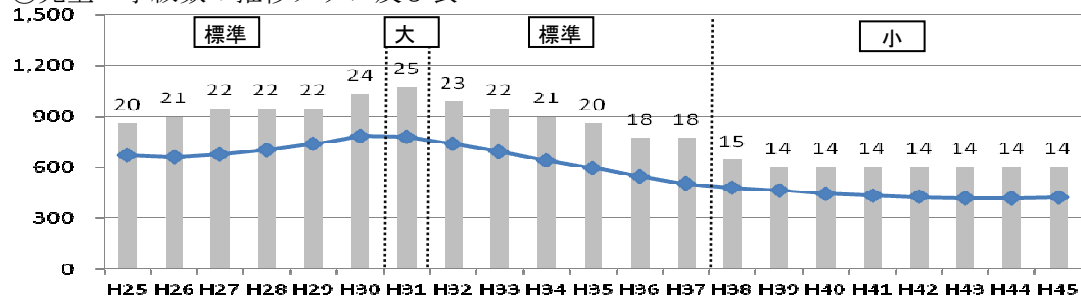
①基本情報

学校名	大曾根小
所在地	大曾根 2917
隣接学区	吾妻・要・前野・田水山・北条・小田・栗原
指定校変更制度	なし
中学校区	大穂

H24 年度児童数	678
H24 年度学級数	21
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	27
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	106	(3)	147	(5)	90	(3)	76	(3)	79	(3)
2 年	106	(4)	136	(4)	91	(3)	75	(3)	76	(3)
3 年	110	(3)	135	(4)	91	(3)	74	(2)	71	(2)
4 年	114	(4)	130	(4)	92	(3)	73	(2)	68	(2)
5 年	120	(3)	129	(4)	114	(4)	75	(2)	66	(2)
6 年	113	(3)	104	(3)	118	(4)	72	(2)	61	(2)
計	669	(20)	781	(24)	596	(20)	445	(14)	421	(14)

(2)前野小学校 【くすのき学園】

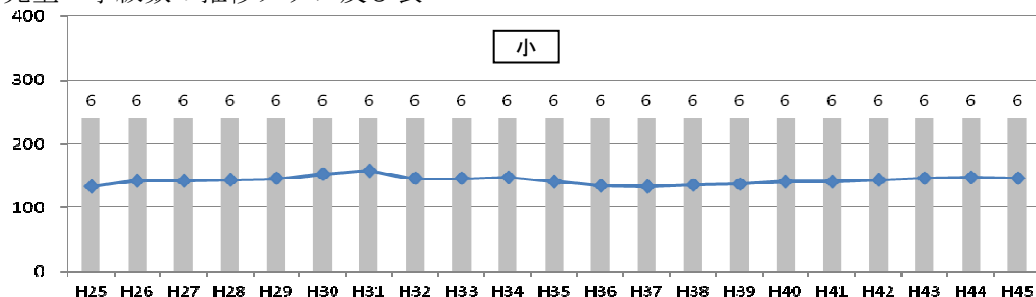
①基本情報

学校名	前野小
所在地	前野 1367
隣接学区	要・沼崎・今鹿島・吉沼・作岡・田水山・大曾根
指定校変更制度	なし
中学校区	大穂

H24 年度児童数	139
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	8
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	21	(1)	26	(1)	20	(1)	22	(1)	22	(1)
2 年	19	(1)	26	(1)	21	(1)	23	(1)	23	(1)
3 年	24	(1)	19	(1)	21	(1)	23	(1)	25	(1)
4 年	18	(1)	26	(1)	22	(1)	24	(1)	25	(1)
5 年	26	(1)	34	(1)	26	(1)	26	(1)	27	(1)
6 年	25	(1)	21	(1)	30	(1)	23	(1)	24	(1)
計	133	(6)	152	(6)	140	(6)	141	(6)	146	(6)

(3) 要小学校 【くすのき学園】

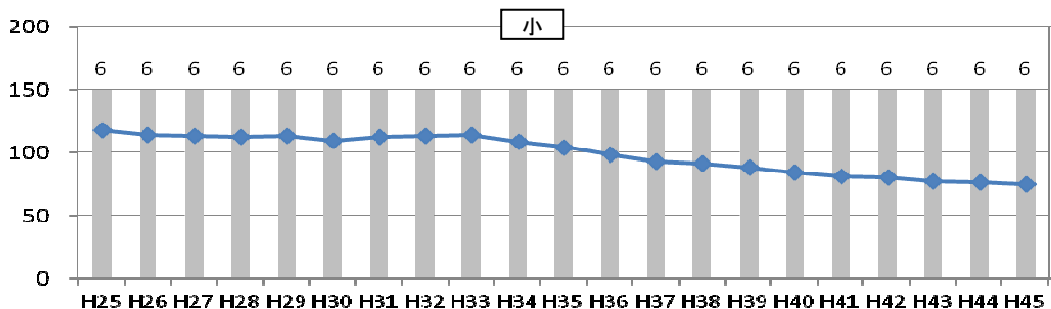
① 基本情報

学校名	要小
所在地	要 449-1
隣接学区	葛城・沼崎・前野・大曾根・吾妻・春日
指定校変更制度	なし
中学校区	大穂

H24 年度児童数	117
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	6
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	16	(1)	18	(1)	13	(1)	11	(1)	11	(1)
2 年	22	(1)	18	(1)	14	(1)	12	(1)	12	(1)
3 年	17	(1)	21	(1)	16	(1)	14	(1)	12	(1)
4 年	22	(1)	17	(1)	18	(1)	15	(1)	13	(1)
5 年	18	(1)	19	(1)	22	(1)	17	(1)	14	(1)
6 年	23	(1)	16	(1)	21	(1)	15	(1)	13	(1)
計	118	(6)	109	(6)	104	(6)	84	(6)	75	(6)

(4) 吉沼小学校 【くすのき学園】

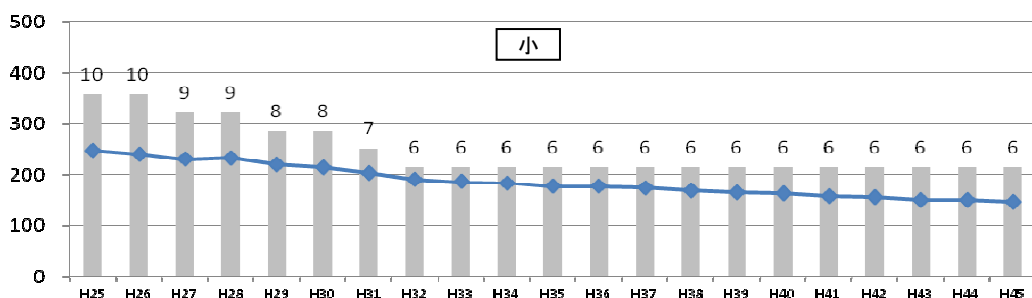
① 基本情報

学校名	吉沼小
所在地	吉沼 1010
隣接学区	作岡・前野・今鹿島・上郷・田水山
指定校変更制度	今鹿島
中学校区	大穂

H24 年度児童数	254
H24 年度学級数	10
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	13
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	47	(2)	28	(1)	26	(1)	24	(1)	22	(1)
2 年	35	(1)	31	(1)	28	(1)	25	(1)	23	(1)
3 年	46	(2)	32	(1)	29	(1)	26	(1)	23	(1)
4 年	30	(1)	33	(1)	31	(1)	27	(1)	24	(1)
5 年	45	(2)	45	(2)	30	(1)	29	(1)	26	(1)
6 年	44	(2)	45	(2)	32	(1)	31	(1)	28	(1)
計	247	(10)	214	(8)	176	(6)	162	(6)	146	(6)

(5)上郷小学校【つば豊学園】

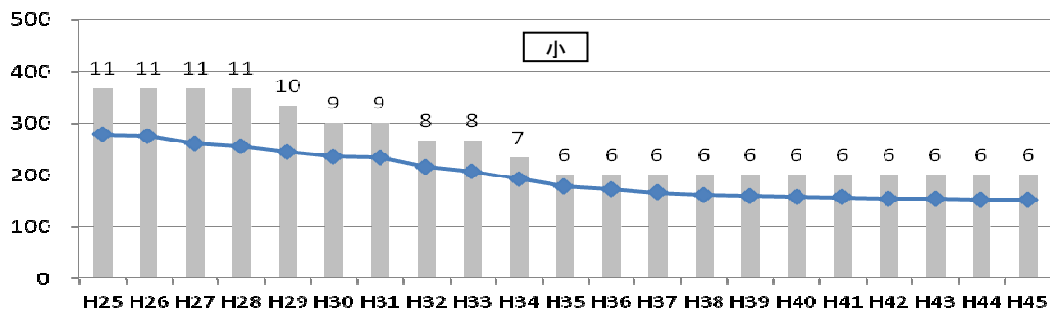
①基本情報

学校名	上郷小
所在地	上郷 2499
隣接学区	真瀬・島名・沼崎・今鹿島・吉沼
指定校変更制度	なし
中学校区	豊里

H24 年度児童数	304
H24 年度学級数	12
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	18
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	35	(1)	32	(1)	27	(1)	26	(1)	25	(1)
2 年	42	(2)	41	(2)	28	(1)	26	(1)	25	(1)
3 年	50	(2)	42	(2)	29	(1)	26	(1)	25	(1)
4 年	47	(2)	37	(1)	29	(1)	26	(1)	25	(1)
5 年	52	(2)	48	(2)	33	(1)	27	(1)	26	(1)
6 年	52	(2)	35	(1)	32	(1)	27	(1)	26	(1)
計	278	(11)	235	(9)	178	(6)	158	(6)	152	(6)

(6)今鹿島小学校【つば豊学園】

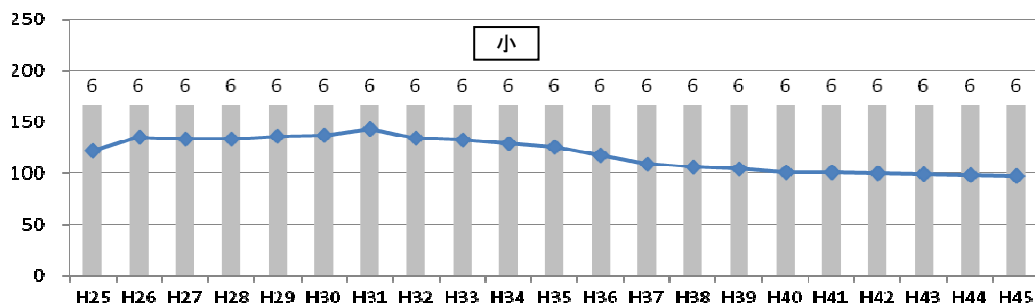
①基本情報

学校名	今鹿島小
所在地	今鹿島 1762
隣接学区	上郷・沼崎・前野・吉沼
指定校変更制度	沼崎
中学校区	豊里

H24 年度児童数	128
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	11
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	19	(1)	23	(1)	17	(1)	16	(1)	16	(1)
2 年	21	(1)	21	(1)	18	(1)	16	(1)	16	(1)
3 年	17	(1)	23	(1)	19	(1)	17	(1)	16	(1)
4 年	22	(1)	23	(1)	19	(1)	17	(1)	16	(1)
5 年	25	(1)	27	(1)	29	(1)	18	(1)	17	(1)
6 年	18	(1)	20	(1)	23	(1)	17	(1)	16	(1)
計	122	(6)	137	(6)	125	(6)	101	(6)	97	(6)

(7) 沼崎小学校【つば豊学園】

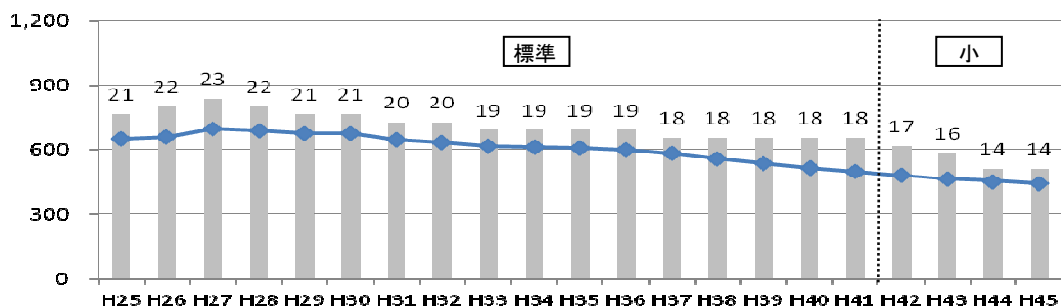
① 基本情報

学校名	沼崎小
所在地	沼崎 1650
隣接学区	上郷・島名・要・前野・今鹿島・春日
指定校変更制度	今鹿島
中学校区	豊里

H24 年度児童数	625
H24 年度学級数	20
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	24
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	132	(4)	101	(3)	95	(3)	79	(3)	72	(3)
2 年	105	(3)	97	(3)	99	(3)	81	(3)	72	(3)
3 年	113	(4)	104	(3)	105	(3)	84	(3)	73	(2)
4 年	112	(4)	124	(4)	110	(4)	87	(3)	74	(2)
5 年	91	(3)	121	(4)	102	(3)	91	(3)	77	(2)
6 年	97	(3)	129	(4)	98	(3)	92	(3)	76	(2)
計	650	(21)	676	(21)	609	(19)	514	(18)	444	(14)

(8) 小野川小学校【つば洞峰学園】

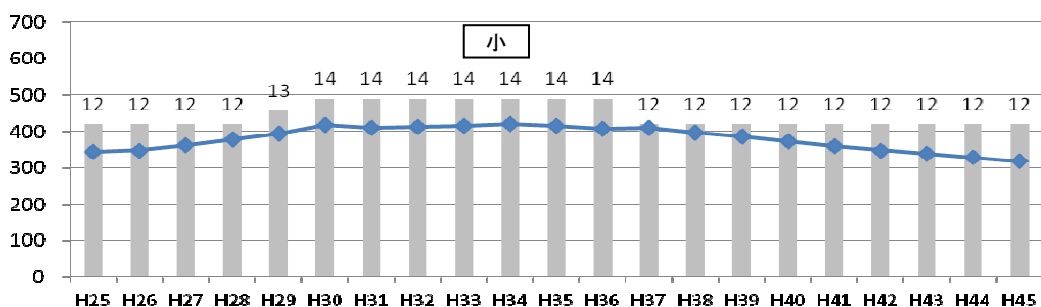
① 基本情報

学校名	小野川小
所在地	館野 731
隣接学区	茎崎第一・谷田部・柳橋・手代木南・二の宮・東・桜南
指定校変更制度	谷田部
中学校区	谷田部東・谷田部

H24 年度児童数	350
H24 年度学級数	12
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	15
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	54	(2)	79	(3)	75	(3)	64	(2)	55	(2)
2 年	60	(2)	78	(3)	74	(3)	64	(2)	54	(2)
3 年	66	(2)	65	(2)	73	(2)	62	(2)	53	(2)
4 年	52	(2)	70	(2)	73	(2)	62	(2)	53	(2)
5 年	58	(2)	72	(2)	58	(2)	63	(2)	54	(2)
6 年	54	(2)	52	(2)	61	(2)	58	(2)	49	(2)
計	344	(12)	416	(14)	414	(14)	373	(12)	318	(12)

(9)真瀬小学校【高山真名学園】

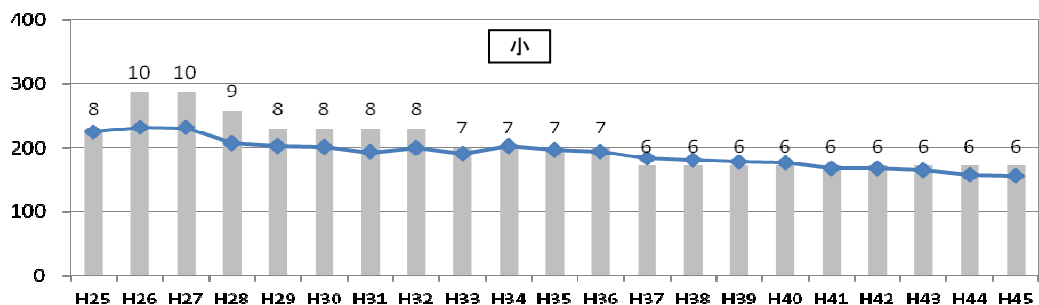
①基本情報

学校名	真瀬小
所在地	真瀬 2103
隣接学区	谷田部・島名・上郷
指定校変更制度	なし
中学校区	高山

H24 年度児童数	234
H24 年度学級数	9
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	12
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	38	(2)	27	(1)	28	(1)	26	(1)	23	(1)
2 年	24	(1)	34	(1)	29	(1)	27	(1)	24	(1)
3 年	40	(1)	19	(1)	31	(1)	28	(1)	26	(1)
4 年	45	(2)	44	(2)	33	(1)	31	(1)	27	(1)
5 年	39	(1)	34	(1)	44	(2)	32	(1)	28	(1)
6 年	38	(1)	43	(2)	32	(1)	32	(1)	28	(1)
計	224	(8)	201	(8)	197	(7)	176	(6)	156	(6)

(10)島名小学校【高山真名学園】

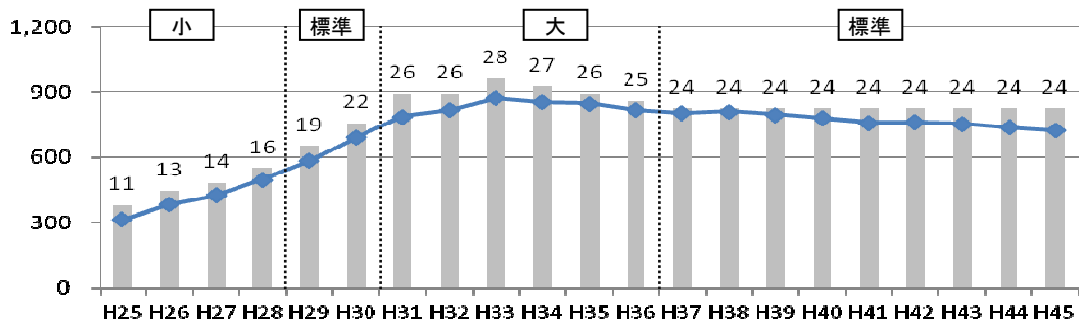
①基本情報

学校名	島名小
所在地	島名 537-1
隣接学区	谷田部・真瀬・上郷・沼崎・葛城・柳橋・春日
指定校変更制度	谷田部
中学校区	高山

H24 年度児童数	291
H24 年度学級数	11
将来の児童増	◎
将来の児童減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	13
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	67	(2)	126	(4)	124	(4)	121	(4)	115	(4)
2 年	47	(2)	138	(4)	126	(4)	125	(4)	117	(4)
3 年	64	(2)	123	(4)	129	(4)	129	(4)	119	(4)
4 年	51	(2)	103	(3)	132	(4)	132	(4)	121	(4)
5 年	45	(2)	110	(4)	177	(5)	135	(4)	125	(4)
6 年	40	(1)	91	(3)	159	(5)	137	(4)	128	(4)
計	314	(11)	691	(22)	847	(26)	779	(24)	725	(24)

(11)谷田部南小学校【つば輝翔学園】

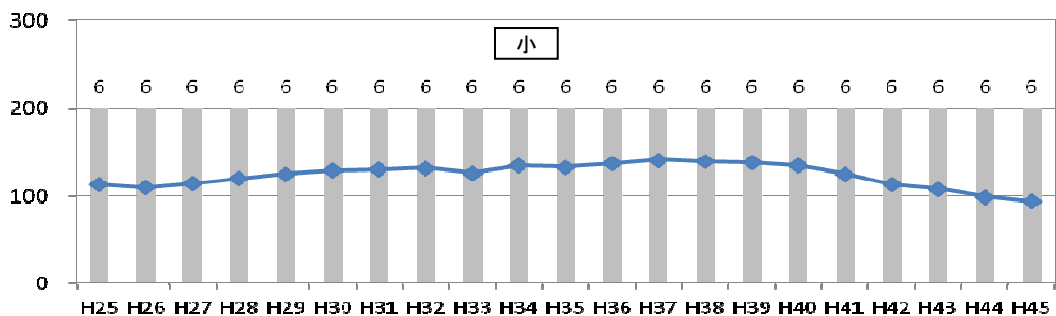
①基本情報

学校名	谷田部南小
所在地	境田 191-1
隣接学区	谷田部・荃崎第一・荃崎第三・荃崎第二
指定校変更制度	なし
中学校区	谷田部

H24 年度児童数	118
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	9
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	15	(1)	21	(1)	21	(1)	19	(1)	13	(1)
2 年	19	(1)	22	(1)	22	(1)	20	(1)	13	(1)
3 年	19	(1)	26	(1)	39	(1)	36	(1)	26	(1)
4 年	23	(1)	24	(1)	22	(1)	21	(1)	14	(1)
5 年	18	(1)	17	(1)	17	(1)	21	(1)	15	(1)
6 年	19	(1)	19	(1)	18	(1)	18	(1)	13	(1)
計	113	(6)	129	(6)	139	(6)	135	(6)	94	(6)

(12)谷田部小学校【つば輝翔学園】

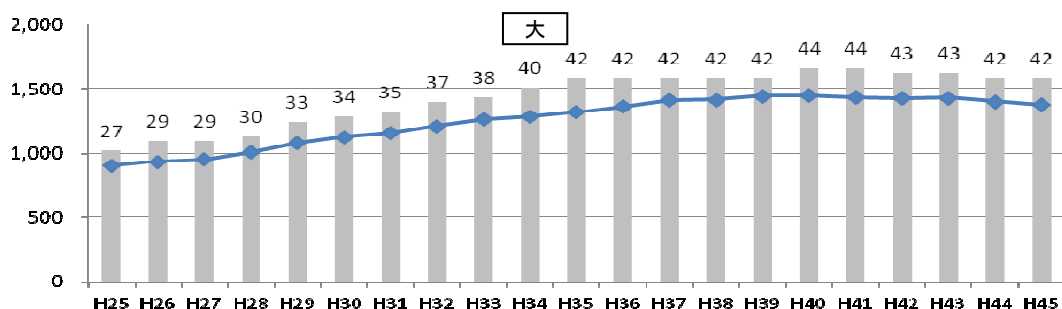
①基本情報

学校名	谷田部小
所在地	谷田部 2938
隣接学区	真瀬・島名・柳橋・小野川・荃崎第一・谷田部南
指定校変更制度	なし
中学校区	谷田部

H24 年度児童数	886
H24 年度学級数	27
将来の児童増	◎
将来の児童減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	32
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	155	(5)	200	(6)	217	(7)	231	(7)	217	(7)
2 年	153	(5)	189	(6)	219	(7)	235	(7)	221	(7)
3 年	130	(4)	218	(7)	221	(7)	239	(7)	227	(7)
4 年	163	(5)	172	(5)	224	(7)	246	(7)	232	(7)
5 年	155	(4)	175	(5)	215	(7)	248	(8)	237	(7)
6 年	146	(4)	173	(5)	225	(7)	250	(8)	242	(7)
計	902	(27)	1127	(34)	1321	(42)	1449	(44)	1376	(42)

(13)柳橋小学校【つば輝翔学園】

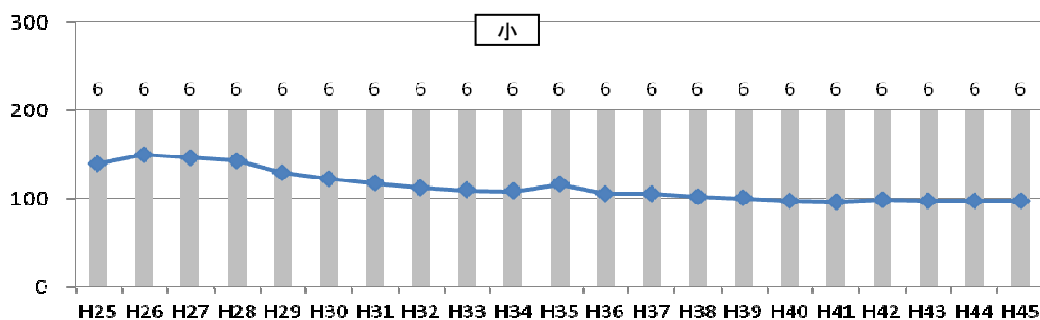
①基本情報

学校名	柳橋小
所在地	柳橋 360
隣接学区	谷田部・島名・葛城・手代木南・小野川
指定校変更制度	なし
中学校区	谷田部

H24 年度児童数	140
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	6
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	25	(1)	21	(1)	15	(1)	14	(1)	14	(1)
2 年	27	(1)	11	(1)	19	(1)	17	(1)	17	(1)
3 年	24	(1)	19	(1)	18	(1)	15	(1)	16	(1)
4 年	21	(1)	22	(1)	19	(1)	16	(1)	16	(1)
5 年	24	(1)	23	(1)	19	(1)	17	(1)	17	(1)
6 年	18	(1)	26	(1)	26	(1)	18	(1)	17	(1)
計	139	(6)	122	(6)	116	(6)	97	(6)	97	(6)

(14)葛城小学校【手代木光輝学園】

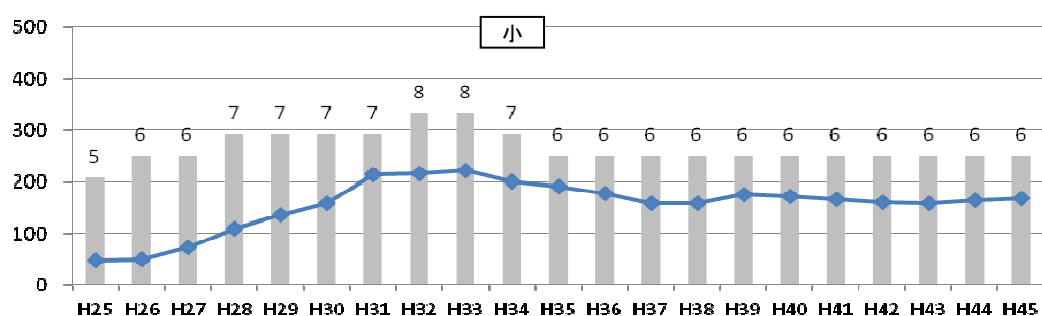
①基本情報

学校名	葛城小
所在地	荻間 689
隣接学区	島名・柳橋・手代木南・松代・竹園西・吾妻・春日
指定校変更制度	松代
中学校区	手代木

H24 年度児童数	56
H24 年度学級数	5
将来の児童増	◎
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	14
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	5	(1)	28	(1)	26	(1)	28	(1)	32	(1)
2 年	6	(0)	32	(1)	27	(1)	28	(1)	31	(1)
3 年	5	(1)	42	(2)	30	(1)	30	(1)	31	(1)
4 年	10	(1)	22	(1)	27	(1)	27	(1)	24	(1)
5 年	11	(1)	25	(1)	40	(1)	29	(1)	26	(1)
6 年	10	(1)	10	(1)	40	(1)	30	(1)	24	(1)
計	47	(5)	159	(7)	190	(6)	172	(6)	168	(6)

(15) 栗原小学校【さくら学園】

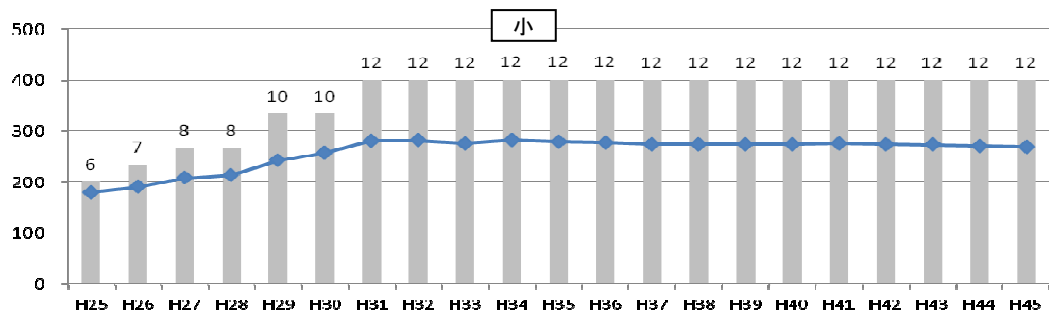
① 基本情報

学校名	栗原小
所在地	栗原 2018
隣接学区	大曽根・吾妻・九重・栄・小田
指定校変更制度	なし
中学校区	桜

H24 年度児童数	175
H24 年度学級数	6
将来の児童増	○
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	9
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	29	(1)	41	(2)	41	(2)	41	(2)	40	(2)
2 年	26	(1)	44	(2)	43	(2)	43	(2)	42	(2)
3 年	21	(1)	38	(1)	45	(2)	45	(2)	44	(2)
4 年	33	(1)	52	(2)	47	(2)	48	(2)	46	(2)
5 年	35	(1)	47	(2)	53	(2)	49	(2)	49	(2)
6 年	36	(1)	35	(1)	50	(2)	48	(2)	48	(2)
計	180	(6)	257	(10)	279	(12)	274	(12)	269	(12)

(16) 栄小学校【さくら学園】

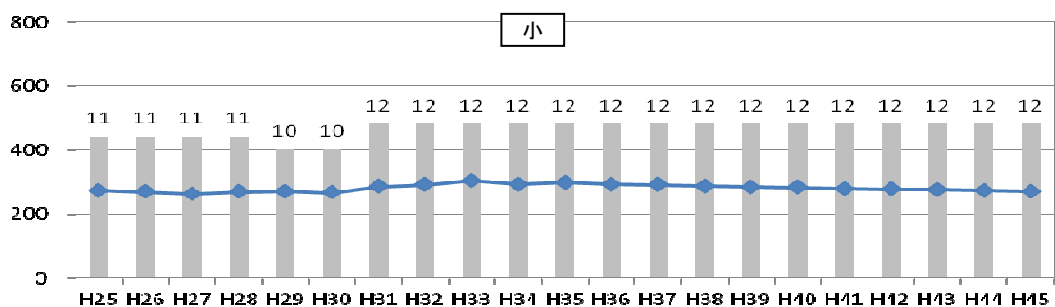
① 基本情報

学校名	栄小
所在地	金田 54
隣接学区	栗原・九重・桜南
指定校変更制度	桜南
中学校区	桜

H24 年度児童数	298
H24 年度学級数	12
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	13
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	36	(2)	45	(2)	46	(2)	44	(2)	42	(2)
2 年	54	(2)	44	(2)	47	(2)	45	(2)	44	(2)
3 年	40	(1)	53	(2)	49	(2)	47	(2)	45	(2)
4 年	44	(2)	39	(1)	51	(2)	48	(2)	46	(2)
5 年	49	(2)	47	(2)	51	(2)	50	(2)	48	(2)
6 年	50	(2)	38	(1)	53	(2)	48	(2)	46	(2)
計	273	(11)	266	(10)	297	(12)	282	(12)	271	(12)

(17)九重小学校【さくら学園】

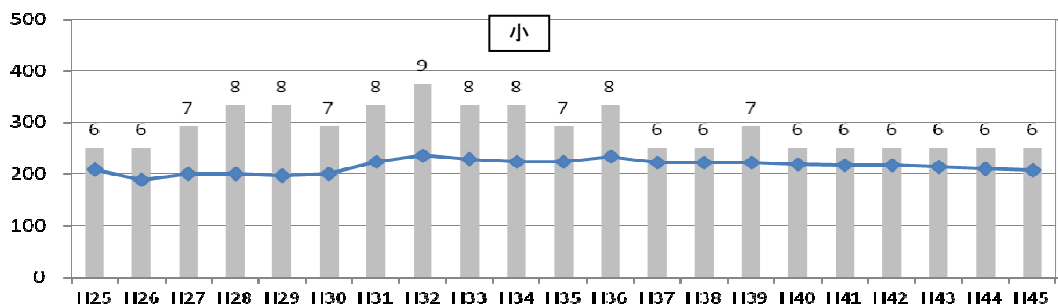
①基本情報

学校名	九重小
所在地	上ノ室 2126
隣接学区	栄・栗原・吾妻・竹園東・並木・桜南
指定校変更制度	竹園東
中学校区	桜

H24 年度児童数	218
H24 年度学級数	8
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	12
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	29	(1)	28	(1)	33	(1)	34	(1)	32	(1)
2 年	35	(1)	34	(1)	34	(1)	35	(1)	33	(1)
3 年	40	(1)	37	(1)	35	(1)	36	(1)	34	(1)
4 年	40	(1)	43	(2)	36	(1)	37	(1)	34	(1)
5 年	35	(1)	31	(1)	45	(2)	38	(1)	36	(1)
6 年	30	(1)	27	(1)	40	(1)	39	(1)	38	(1)
計	209	(6)	200	(7)	223	(7)	219	(6)	207	(6)

(18)筑波小学校【つば紫峰学園】

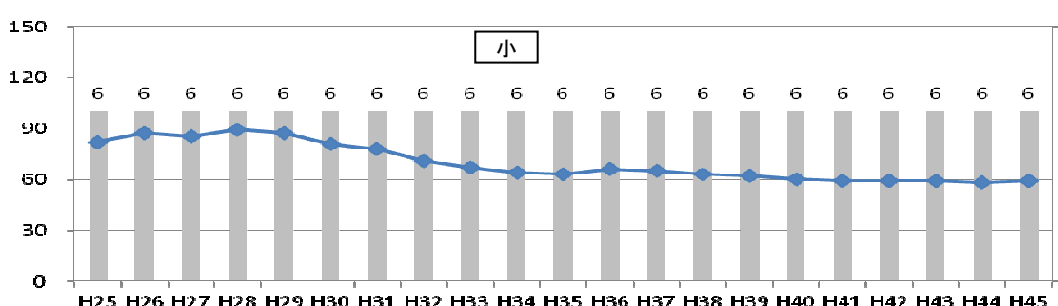
①基本情報

学校名	筑波小
所在地	国松 1400
隣接学区	田井・菅間
指定校変更制度	なし
中学校区	筑波東

H24 年度児童数	87
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	9
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	11	(1)	10	(1)	10	(1)	10	(1)	10	(1)
2 年	16	(1)	11	(1)	11	(1)	10	(1)	10	(1)
3 年	13	(1)	14	(1)	11	(1)	10	(1)	10	(1)
4 年	10	(1)	16	(1)	12	(1)	10	(1)	10	(1)
5 年	18	(1)	19	(1)	11	(1)	11	(1)	10	(1)
6 年	14	(1)	11	(1)	8	(1)	9	(1)	9	(1)
計	82	(6)	81	(6)	63	(6)	60	(6)	59	(6)

(19)田井小学校【つば紫峰学園】

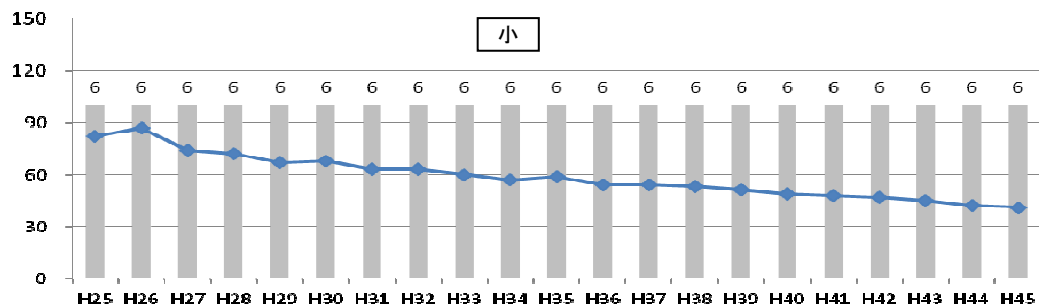
①基本情報

学校名	田井小
所在地	神郡 1200
隣接学区	北条・田水山・菅間・筑波
指定校変更制度	北条
中学校区	筑波東

H24 年度児童数	81
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	7
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	12	(1)	12	(1)	10	(1)	8	(1)	7	(1)
2 年	11	(1)	8	(1)	10	(1)	8	(1)	7	(1)
3 年	13	(1)	12	(1)	10	(1)	8	(1)	7	(1)
4 年	14	(1)	11	(1)	10	(1)	9	(1)	7	(1)
5 年	23	(1)	12	(1)	10	(1)	9	(1)	7	(1)
6 年	9	(1)	13	(1)	9	(1)	7	(1)	6	(1)
計	82	(6)	68	(6)	59	(6)	49	(6)	41	(6)

(20)北条小学校【つば紫峰学園】

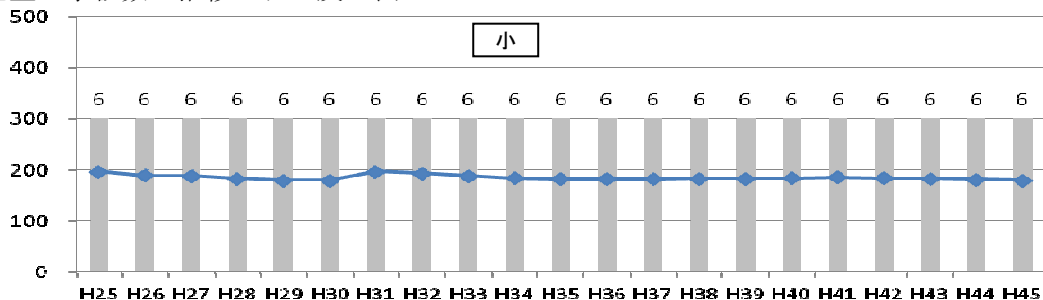
①基本情報

学校名	北条小
所在地	北条 1077
隣接学区	小田・大曾根・田水山・菅間・田井
指定校変更制度	田井
中学校区	筑波東

H24 年度児童数	201
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	13
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	29	(1)	28	(1)	30	(1)	31	(1)	29	(1)
2 年	29	(1)	30	(1)	30	(1)	30	(1)	29	(1)
3 年	35	(1)	31	(1)	30	(1)	31	(1)	30	(1)
4 年	37	(1)	32	(1)	30	(1)	31	(1)	30	(1)
5 年	34	(1)	30	(1)	31	(1)	31	(1)	31	(1)
6 年	33	(1)	28	(1)	31	(1)	30	(1)	30	(1)
計	197	(6)	179	(6)	182	(6)	184	(6)	179	(6)

(21)小田小学校【つば紫峰学園】

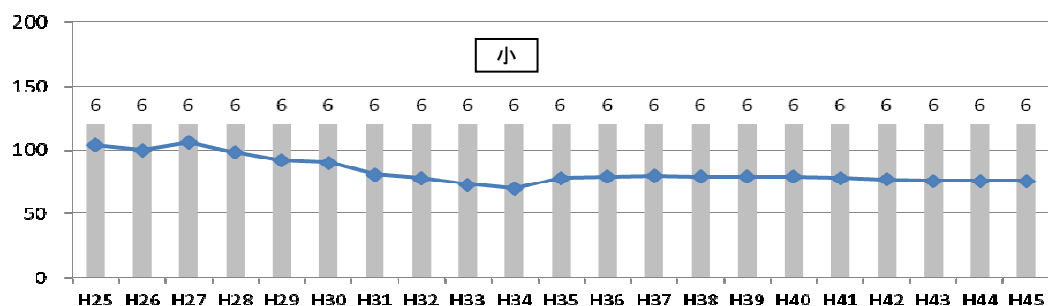
①基本情報

学校名	小田小
所在地	小田 3107
隣接学区	大曽根・北条・栗原
指定校変更制度	北条
中学校区	筑波東

H24 年度児童数	99
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	8
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	23	(1)	12	(1)	13	(1)	13	(1)	12	(1)
2 年	14	(1)	6	(1)	13	(1)	13	(1)	13	(1)
3 年	12	(1)	15	(1)	13	(1)	13	(1)	13	(1)
4 年	23	(1)	18	(1)	13	(1)	13	(1)	12	(1)
5 年	12	(1)	16	(1)	12	(1)	13	(1)	12	(1)
6 年	20	(1)	23	(1)	14	(1)	14	(1)	14	(1)
計	104	(6)	90	(6)	78	(6)	79	(6)	76	(6)

(22)田水山小学校【つば百合ヶ丘学園】

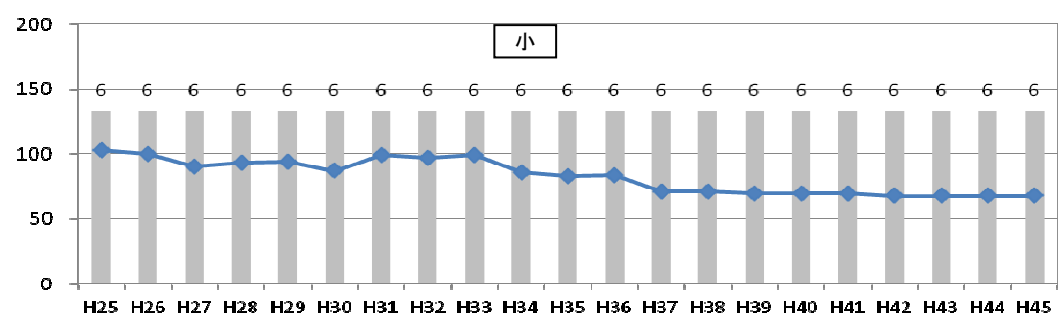
①基本情報

学校名	田水山小
所在地	水守 620
隣接学区	菅間・作岡・前野・大曽根・北条・田井・吉沼
指定校変更制度	なし
中学校区	筑波西

H24 年度児童数	105
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	8
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	13	(1)	11	(1)	10	(1)	9	(1)	9	(1)
2 年	17	(1)	13	(1)	10	(1)	10	(1)	10	(1)
3 年	12	(1)	21	(1)	11	(1)	11	(1)	11	(1)
4 年	17	(1)	12	(1)	12	(1)	12	(1)	11	(1)
5 年	21	(1)	17	(1)	21	(1)	12	(1)	12	(1)
6 年	23	(1)	13	(1)	19	(1)	16	(1)	15	(1)
計	103	(6)	87	(6)	83	(6)	70	(6)	68	(6)

(23)作岡小学校【つば百合ヶ丘学園】

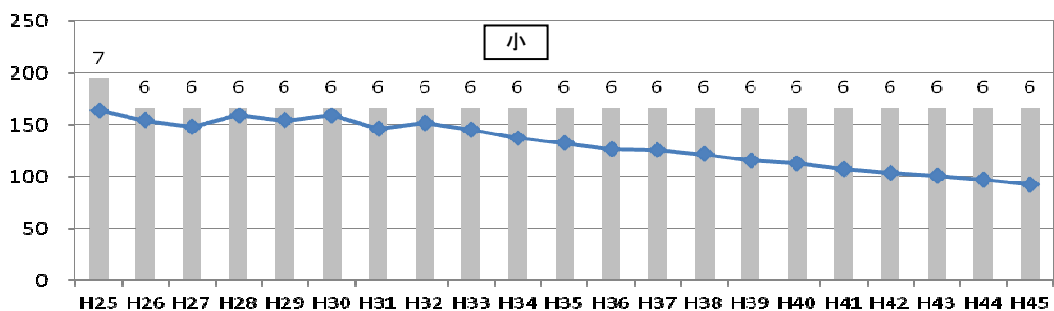
①基本情報

学校名	作岡小
所在地	作谷 1833
隣接学区	吉沼・前野・田水山・菅間
指定校変更制度	菅間
中学校区	筑波西

H24 年度児童数	163
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	13
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	37	(2)	24	(1)	18	(1)	15	(1)	13	(1)
2 年	20	(1)	23	(1)	20	(1)	17	(1)	14	(1)
3 年	30	(1)	30	(1)	22	(1)	18	(1)	15	(1)
4 年	20	(1)	29	(1)	24	(1)	20	(1)	16	(1)
5 年	35	(1)	18	(1)	21	(1)	21	(1)	17	(1)
6 年	22	(1)	35	(1)	27	(1)	21	(1)	17	(1)
計	164	(7)	159	(6)	132	(6)	112	(6)	92	(6)

(24)菅間小学校【つば百合ヶ丘学園】

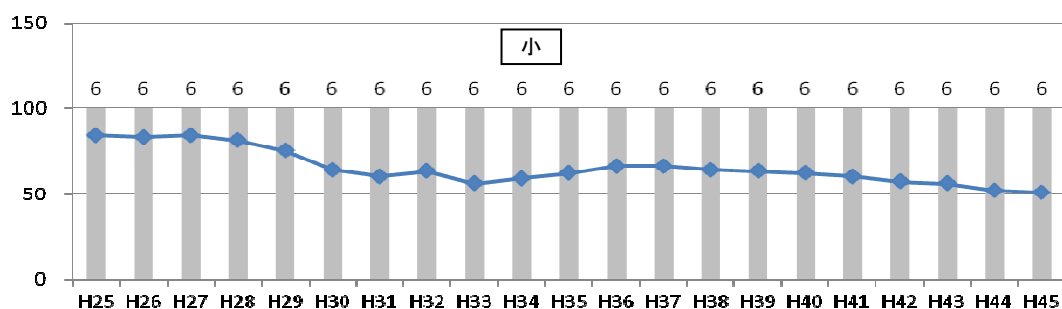
①基本情報

学校名	菅間小
所在地	中菅間 877
隣接学区	筑波・田井・北条・田水山・作岡
指定校変更制度	なし
中学校区	筑波西

H24 年度児童数	91
H24 年度学級数	6
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	7
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	13	(1)	7	(1)	11	(1)	10	(1)	8	(1)
2 年	17	(1)	8	(1)	11	(1)	10	(1)	8	(1)
3 年	13	(1)	8	(1)	11	(1)	10	(1)	8	(1)
4 年	10	(1)	19	(1)	12	(1)	10	(1)	9	(1)
5 年	17	(1)	8	(1)	10	(1)	11	(1)	9	(1)
6 年	14	(1)	14	(1)	7	(1)	11	(1)	9	(1)
計	84	(6)	64	(6)	62	(6)	62	(6)	51	(6)

(25) 荖崎第一小学校【高崎しいの木学園】

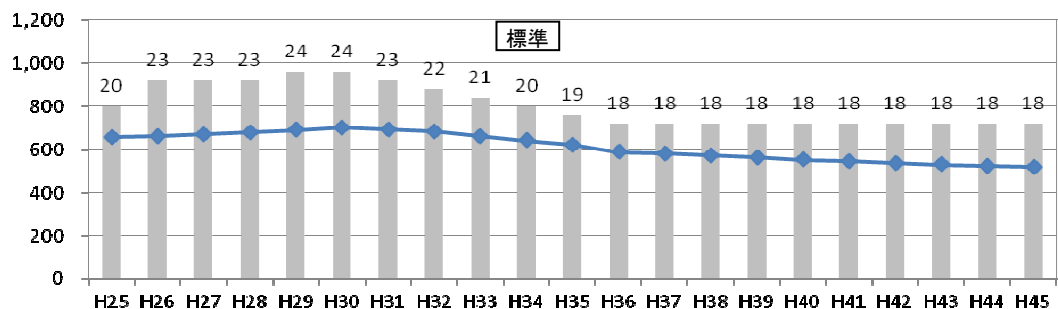
① 基本情報

学校名	荖崎第一小
所在地	高崎 2290
隣接学区	荖崎第三・谷田部南・谷田部・小野川
指定校変更制度	なし
中学校区	高崎

H24 年度児童数	647
H24 年度学級数	20
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	30
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	111	(4)	119	(4)	90	(3)	84	(3)	80	(3)
2 年	109	(4)	112	(4)	95	(3)	88	(3)	83	(3)
3 年	102	(3)	117	(4)	100	(3)	91	(3)	85	(3)
4 年	108	(3)	126	(4)	103	(3)	94	(3)	88	(3)
5 年	118	(3)	115	(4)	106	(3)	99	(3)	92	(3)
6 年	106	(3)	111	(4)	125	(4)	95	(3)	88	(3)
計	654	(20)	700	(24)	619	(19)	551	(18)	516	(18)

(26) 荖崎第二小学校【つば荖崎学園】

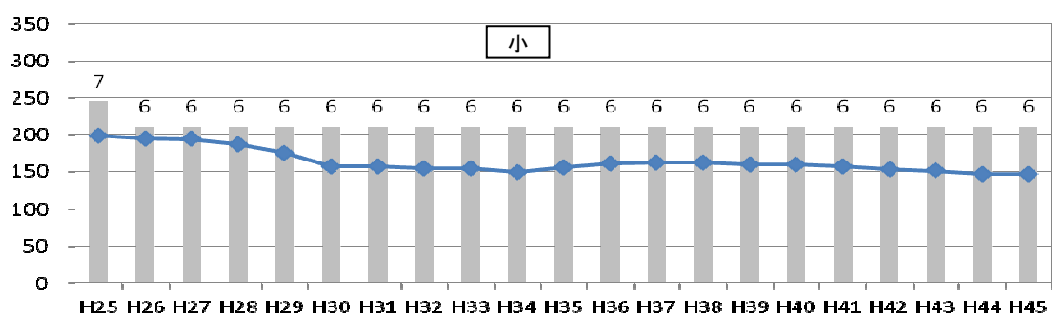
① 基本情報

学校名	荖崎第二小
所在地	上岩崎 1076
隣接学区	荖崎第三・谷田部南
指定校変更制度	なし
中学校区	荖崎

H24 年度児童数	209
H24 年度学級数	7
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	16
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	26	(1)	21	(1)	25	(1)	24	(1)	22	(1)
2 年	38	(2)	19	(1)	25	(1)	25	(1)	23	(1)
3 年	29	(1)	32	(1)	27	(1)	26	(1)	24	(1)
4 年	39	(1)	28	(1)	28	(1)	28	(1)	25	(1)
5 年	30	(1)	31	(1)	27	(1)	28	(1)	25	(1)
6 年	36	(1)	26	(1)	24	(1)	29	(1)	27	(1)
計	198	(7)	157	(6)	156	(6)	160	(6)	146	(6)

(27) 荃崎第三小学校【つば荃崎学園】

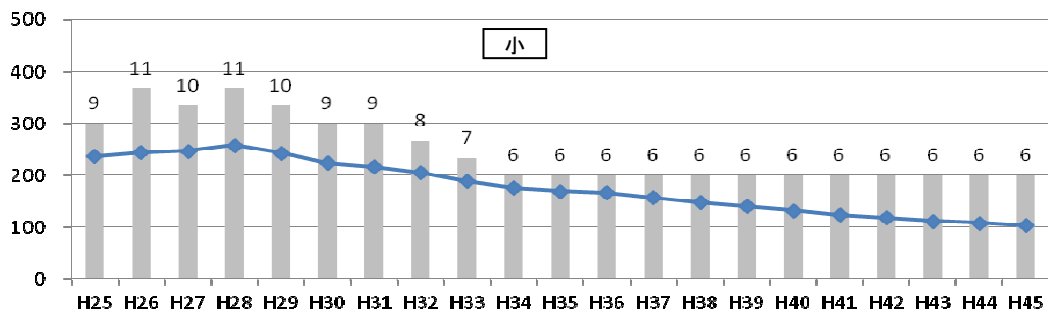
① 基本情報

学校名	荃崎第三小
所在地	小荃 798-1
隣接学区	谷田部南・荃崎第一・荃崎第二
指定校変更制度	なし
中学校区	荃崎

H24 年度児童数	238
H24 年度学級数	8
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	24
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	37	(2)	26	(1)	25	(1)	18	(1)	16	(1)
2 年	45	(2)	30	(1)	27	(1)	20	(1)	16	(1)
3 年	44	(2)	42	(2)	29	(1)	21	(1)	17	(1)
4 年	30	(1)	44	(2)	30	(1)	23	(1)	18	(1)
5 年	40	(1)	43	(2)	31	(1)	24	(1)	18	(1)
6 年	41	(1)	38	(1)	27	(1)	26	(1)	19	(1)
計	237	(9)	223	(9)	169	(6)	132	(6)	104	(6)

(28) 竹園東小学校【つば竹園学園】

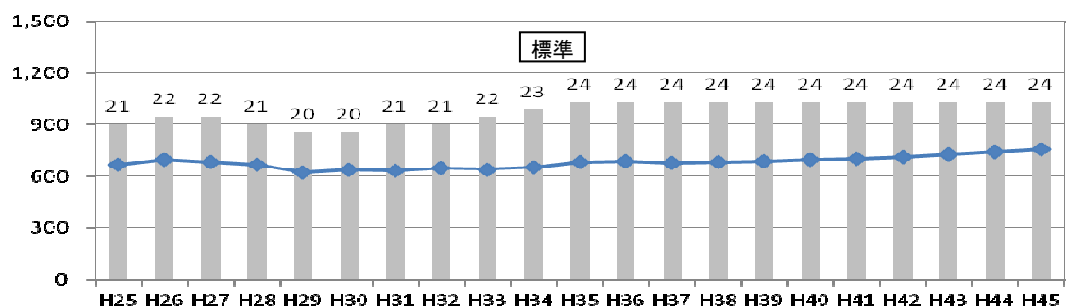
① 基本情報

学校名	竹園東小
所在地	竹園 3-13
隣接学区	九重・並木・竹園西・吾妻
指定校変更制度	九重
中学校区	竹園東

H24 年度児童数	659
H24 年度学級数	20
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	31
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	○

② 児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	125	(4)	104	(3)	109	(4)	115	(4)	127	(4)
2 年	86	(3)	85	(3)	109	(4)	115	(4)	127	(4)
3 年	121	(4)	97	(3)	110	(4)	115	(4)	126	(4)
4 年	106	(3)	120	(4)	112	(4)	115	(4)	125	(4)
5 年	123	(4)	96	(3)	129	(4)	117	(4)	125	(4)
6 年	108	(3)	135	(4)	112	(4)	118	(4)	124	(4)
計	669	(21)	637	(20)	681	(24)	695	(24)	754	(24)

(29)竹園西小学校【つば竹園学園】

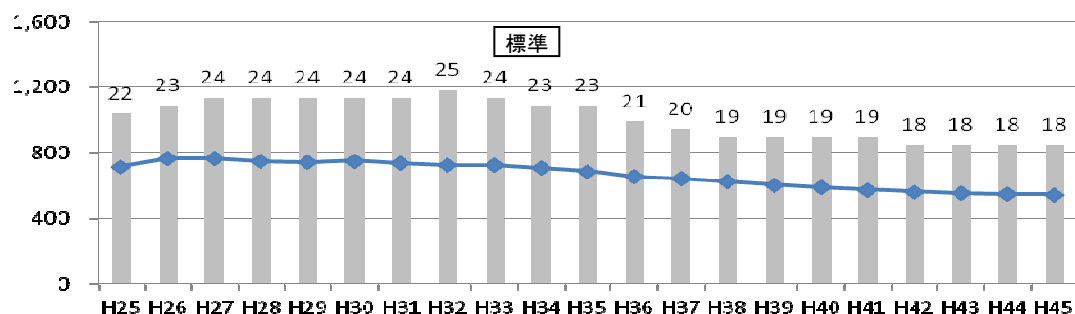
①基本情報

学校名	竹園西小
所在地	竹園 2-19-3
隣接学区	吾妻・竹園東・並木・東・二の宮・手代木南・葛城
指定校変更制度	なし
中学校区	竹園東

H24 年度児童数	651
H24 年度学級数	20
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	27
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	○

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	128	(4)	130	(4)	100	(3)	88	(3)	90	(3)
2 年	115	(4)	126	(4)	104	(3)	92	(3)	90	(3)
3 年	124	(4)	121	(4)	112	(4)	97	(3)	90	(3)
4 年	135	(4)	112	(4)	118	(4)	100	(3)	91	(3)
5 年	100	(3)	127	(4)	108	(4)	100	(3)	89	(3)
6 年	113	(3)	133	(4)	144	(5)	112	(4)	97	(3)
計	715	(22)	749	(24)	686	(23)	589	(19)	547	(18)

(30)桜南小学校【つば桜並木学園】

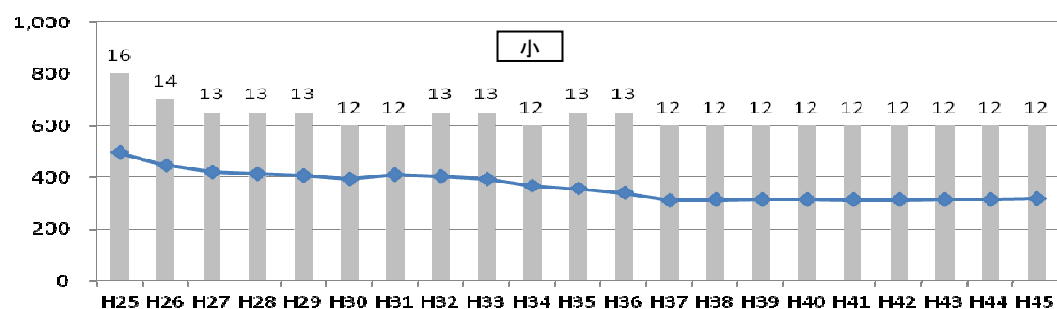
①基本情報

学校名	桜南小
所在地	大角豆 789-1
隣接学区	小野川・東・並木・九重・栄
指定校変更制度	なし
中学校区	並木

H24 年度児童数	529
H24 年度学級数	17
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	25
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	○

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	70	(2)	58	(2)	45	(2)	45	(2)	46	(2)
2 年	75	(3)	62	(2)	47	(2)	47	(2)	48	(2)
3 年	70	(2)	75	(2)	50	(2)	51	(2)	51	(2)
4 年	91	(3)	65	(2)	53	(2)	54	(2)	54	(2)
5 年	92	(3)	66	(2)	84	(3)	57	(2)	57	(2)
6 年	95	(3)	67	(2)	75	(2)	59	(2)	59	(2)
計	493	(16)	393	(12)	354	(13)	313	(12)	315	(12)

(31)並木小学校【つば桜並木学園】

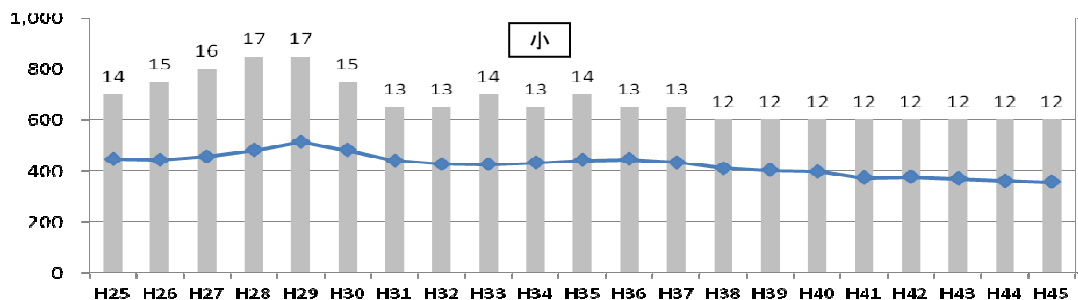
①基本情報

学校名	並木小
所在地	並木 2-12
隣接学区	東・竹園西・竹園東・九重・桜南
指定校変更制度	東
中学校区	並木

H24 年度児童数	445
H24 年度学級数	13
将来の児童増	
将来の児童減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	22
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	○

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	79	(3)	67	(2)	62	(2)	61	(2)	59	(2)
2 年	85	(3)	89	(3)	66	(2)	63	(2)	59	(2)
3 年	72	(2)	80	(2)	70	(2)	64	(2)	58	(2)
4 年	61	(2)	76	(2)	74	(2)	66	(2)	59	(2)
5 年	68	(2)	85	(3)	83	(3)	69	(2)	60	(2)
6 年	81	(2)	83	(3)	86	(3)	75	(2)	61	(2)
計	446	(14)	480	(15)	441	(14)	398	(12)	356	(12)

(32)松代小学校【手代木光輝学園】

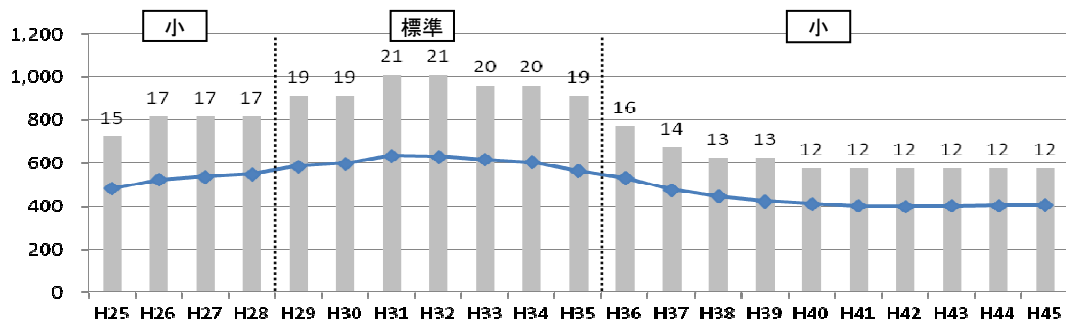
①基本情報

学校名	松代小
所在地	松代 3-3-1
隣接学区	手代木南・葛城
指定校変更制度	なし
中学校区	手代木

H24 年度児童数	437
H24 年度学級数	13
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	22
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	84	(3)	98	(3)	69	(2)	62	(2)	65	(2)
2 年	84	(3)	108	(4)	76	(3)	63	(2)	66	(2)
3 年	69	(2)	95	(3)	85	(3)	66	(2)	68	(2)
4 年	81	(2)	101	(3)	96	(3)	69	(2)	69	(2)
5 年	84	(3)	102	(3)	124	(4)	71	(2)	67	(2)
6 年	80	(2)	93	(3)	113	(4)	80	(2)	71	(2)
計	482	(15)	597	(19)	563	(19)	411	(12)	406	(12)

(33)手代木南小学校【手代木光輝学園】

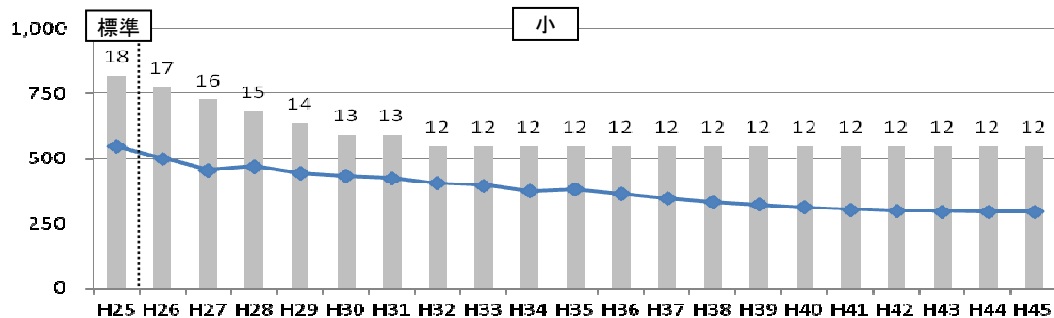
①基本情報

学校名	手代木南小
所在地	松代 4-24
隣接学区	松代・葛城・柳橋・小野川・ 二の宮・竹園西・吾妻
指定校変更制度	なし
中学校区	手代木

H24 年度児童数	594
H24 年度学級数	18
将来の児童増	
将来の児童減	◎
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	20
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	○

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	72	(3)	77	(3)	56	(2)	49	(2)	48	(2)
2 年	92	(3)	68	(2)	57	(2)	50	(2)	49	(2)
3 年	99	(3)	78	(2)	60	(2)	51	(2)	50	(2)
4 年	93	(3)	64	(2)	62	(2)	52	(2)	50	(2)
5 年	89	(3)	79	(2)	71	(2)	56	(2)	51	(2)
6 年	101	(3)	67	(2)	75	(2)	55	(2)	46	(2)
計	546	(18)	433	(13)	381	(12)	313	(12)	294	(12)

(34)二の宮小学校【つば洞峰学園】

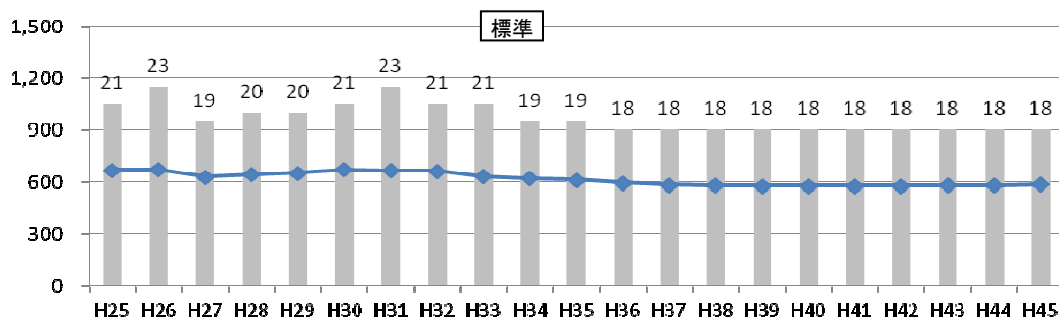
①基本情報

学校名	二の宮小
所在地	二の宮 4-11
隣接学区	小野川・手代木南・竹園西・東
指定校変更制度	竹園西
中学校区	谷田部東

H24 年度児童数	652
H24 年度学級数	20
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	25
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	120	(4)	116	(4)	99	(3)	98	(3)	102	(3)
2 年	109	(4)	103	(3)	94	(3)	93	(3)	95	(3)
3 年	108	(3)	118	(4)	106	(3)	104	(3)	106	(3)
4 年	118	(4)	129	(4)	98	(3)	95	(3)	96	(3)
5 年	101	(3)	102	(3)	111	(4)	100	(3)	100	(3)
6 年	113	(3)	105	(3)	104	(3)	88	(3)	88	(3)
計	669	(21)	673	(21)	612	(19)	578	(18)	587	(18)

(35)東小学校【つば洞峰学園】

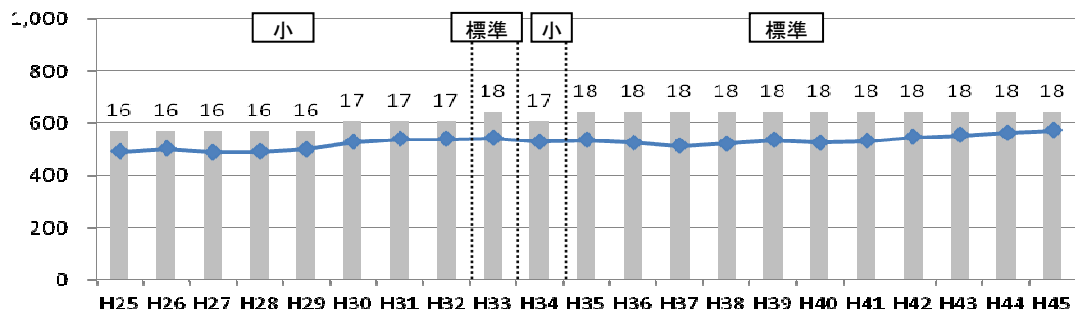
①基本情報

学校名	東小
所在地	東 2-24
隣接学区	小野川・二の宮・竹園西・並木・桜南
指定校変更制度	並木
中学校区	谷田部東

H24 年度児童数	498
H24 年度学級数	16
将来の児童増	○
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	21
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舍関連	

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	89	(3)	93	(3)	83	(3)	92	(3)	104	(3)
2 年	63	(2)	79	(3)	83	(3)	90	(3)	100	(3)
3 年	70	(2)	97	(3)	83	(3)	88	(3)	97	(3)
4 年	91	(3)	80	(2)	84	(3)	87	(3)	94	(3)
5 年	90	(3)	86	(3)	106	(3)	87	(3)	93	(3)
6 年	86	(3)	92	(3)	95	(3)	81	(3)	83	(3)
計	489	(16)	527	(17)	534	(18)	525	(18)	571	(18)

(36)吾妻小学校【つばAZUMA学園】

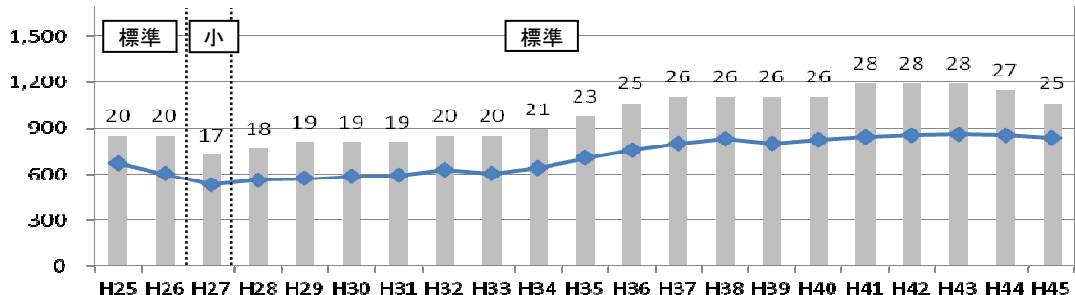
①基本情報

学校名	吾妻小
所在地	吾妻 2-16
隣接学区	大曾根・栗原・九重・竹園東・竹園西・手代木南・葛城・要・春日
指定校変更制度	なし
中学校区	吾妻

H24 年度児童数	718
H24 年度学級数	23
将来の児童増	
将来の児童減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	31
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舍関連	○

②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	108	(3)	112	(4)	143	(5)	151	(5)	131	(4)
2 年	100	(3)	108	(4)	133	(4)	146	(5)	136	(4)
3 年	101	(3)	96	(3)	124	(4)	141	(4)	142	(4)
4 年	120	(4)	89	(3)	119	(4)	139	(4)	147	(5)
5 年	118	(3)	80	(2)	92	(3)	121	(4)	135	(4)
6 年	124	(4)	101	(3)	92	(3)	125	(4)	142	(4)
計	671	(20)	586	(19)	703	(23)	823	(26)	833	(25)

(37)春日小学校【春日学園】

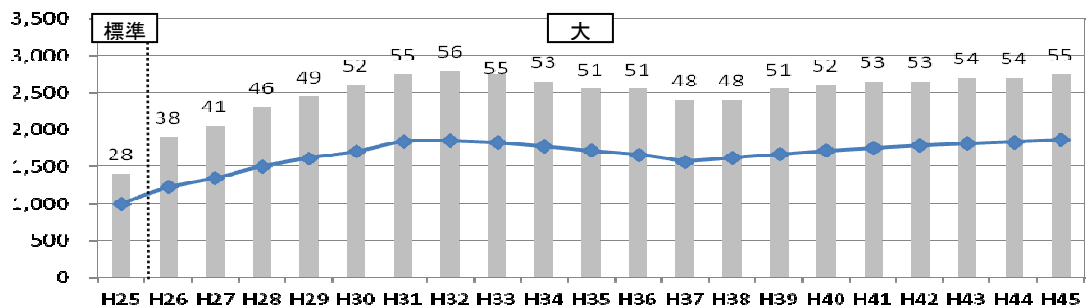
①基本情報

学校名	春日小
所在地	春日 2-47
隣接学区	葛城，島名，沼崎，要，吾妻
指定校変更制度	吾妻
中学校区	春日

H24 年度児童数	810
H24 年度学級数	24
将来の児童増	◎
将来の児童減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	28
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舍関連	○

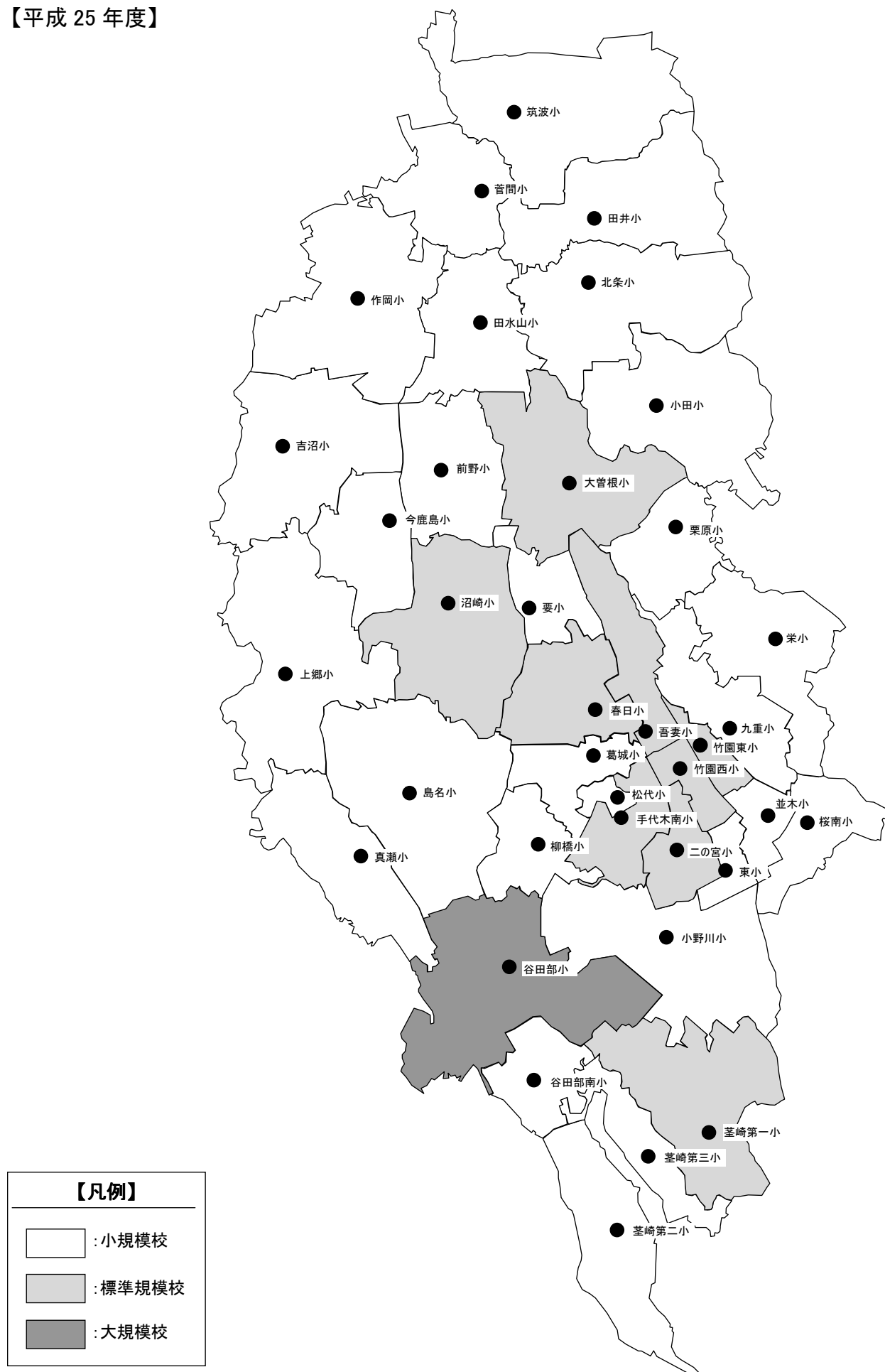
②児童・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	233	(7)	287	(9)	233	(7)	266	(8)	280	(8)
2 年	176	(5)	297	(9)	242	(7)	283	(9)	302	(9)
3 年	186	(5)	311	(9)	247	(7)	294	(9)	314	(9)
4 年	159	(4)	286	(9)	248	(8)	301	(9)	325	(10)
5 年	140	(4)	270	(8)	411	(12)	298	(9)	326	(10)
6 年	106	(3)	257	(8)	339	(10)	276	(8)	312	(9)
計	1000	(28)	1708	(52)	1720	(51)	1718	(52)	1859	(55)

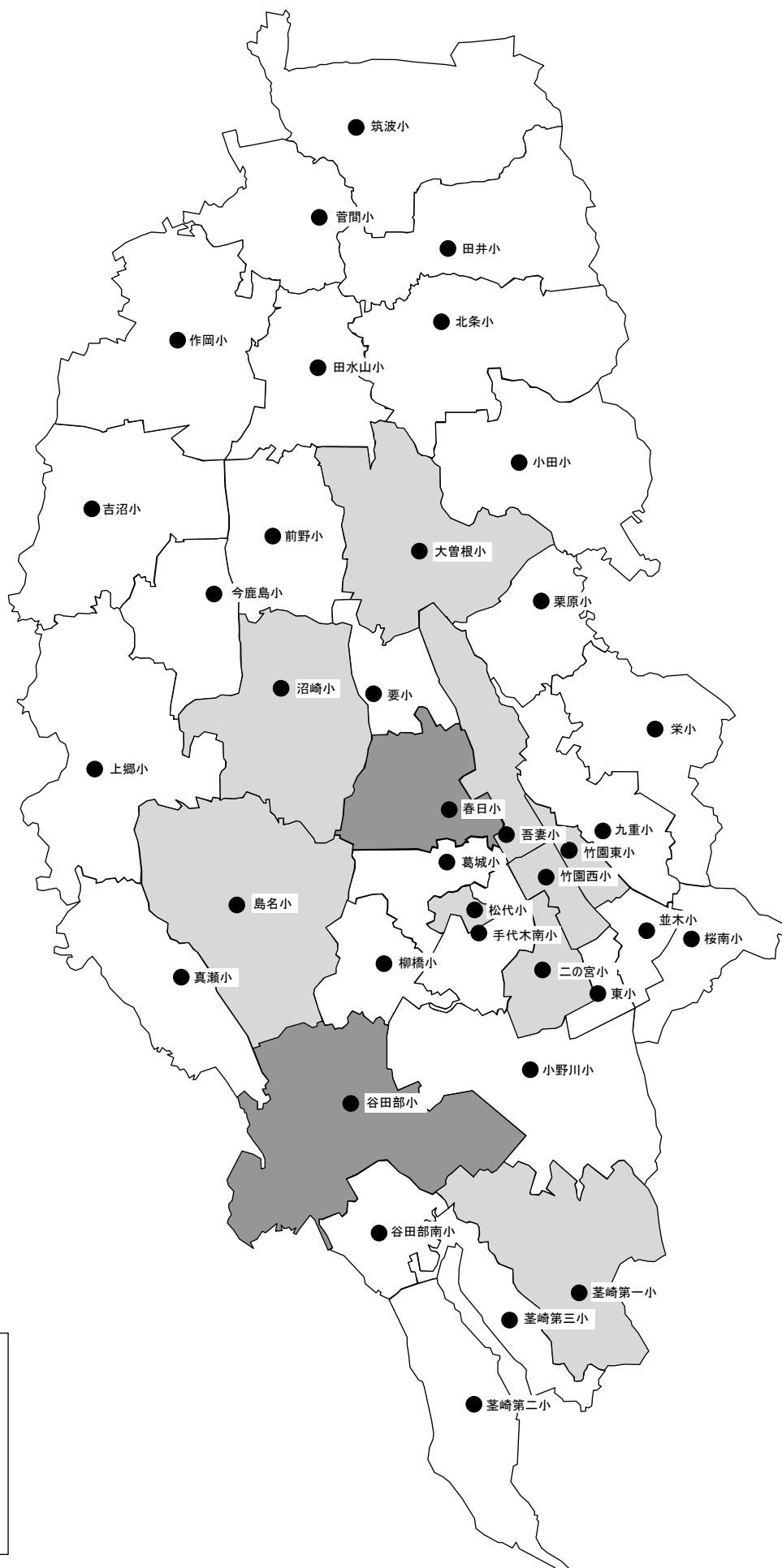
2) 小学校区の期別推移図

【平成 25 年度】

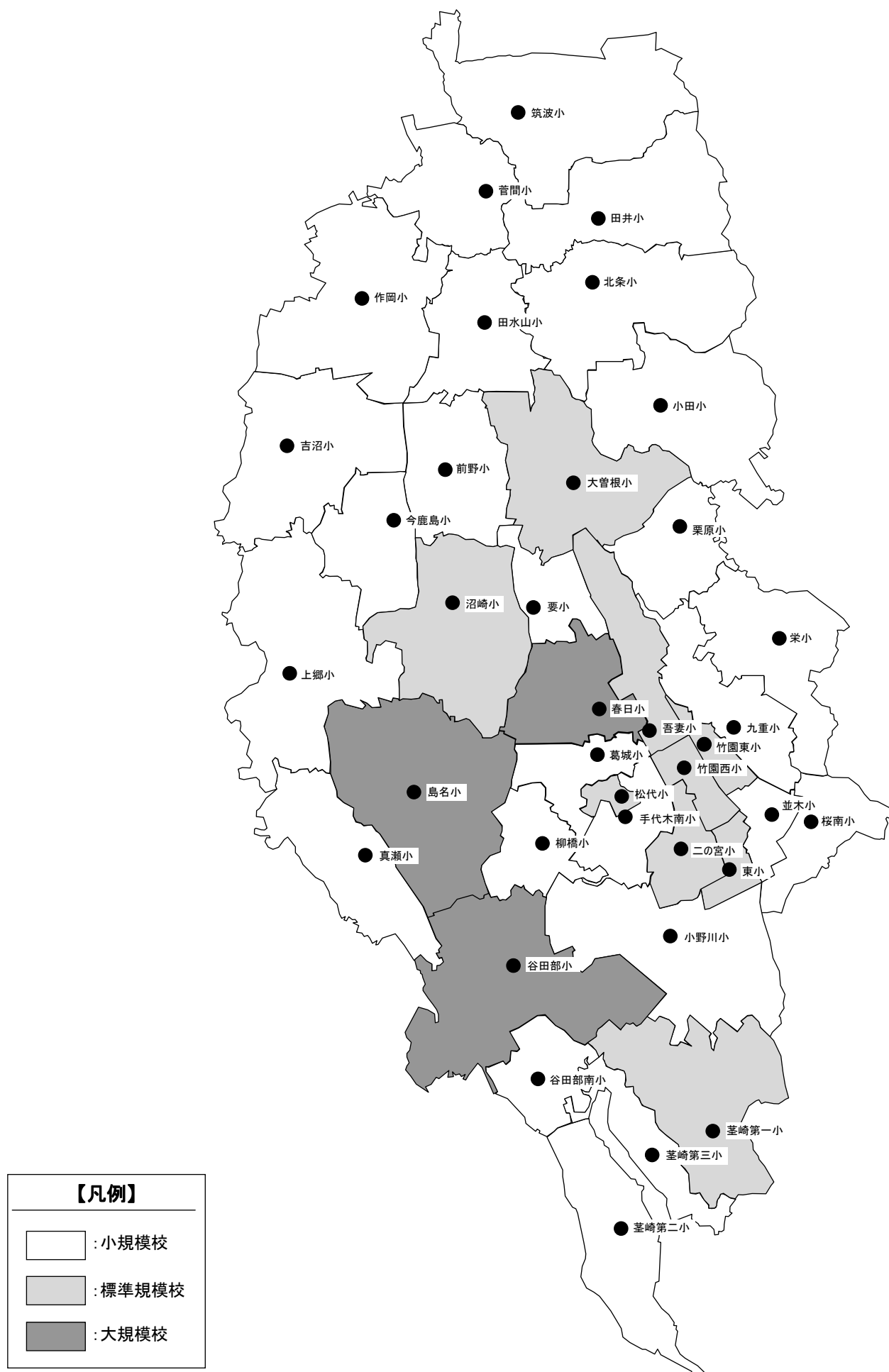


【平成 30 年度】

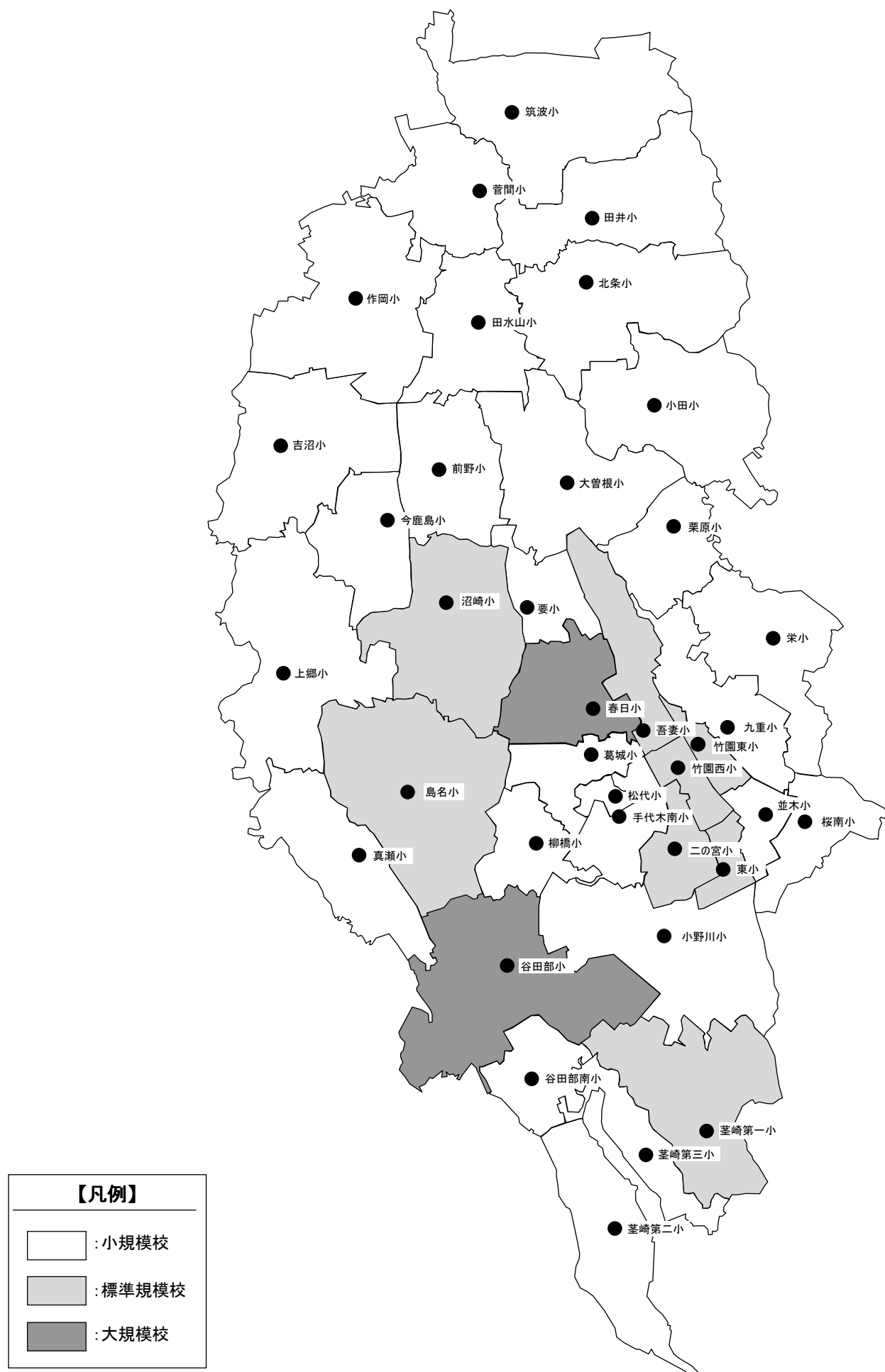
【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校



【平成 35 年度】

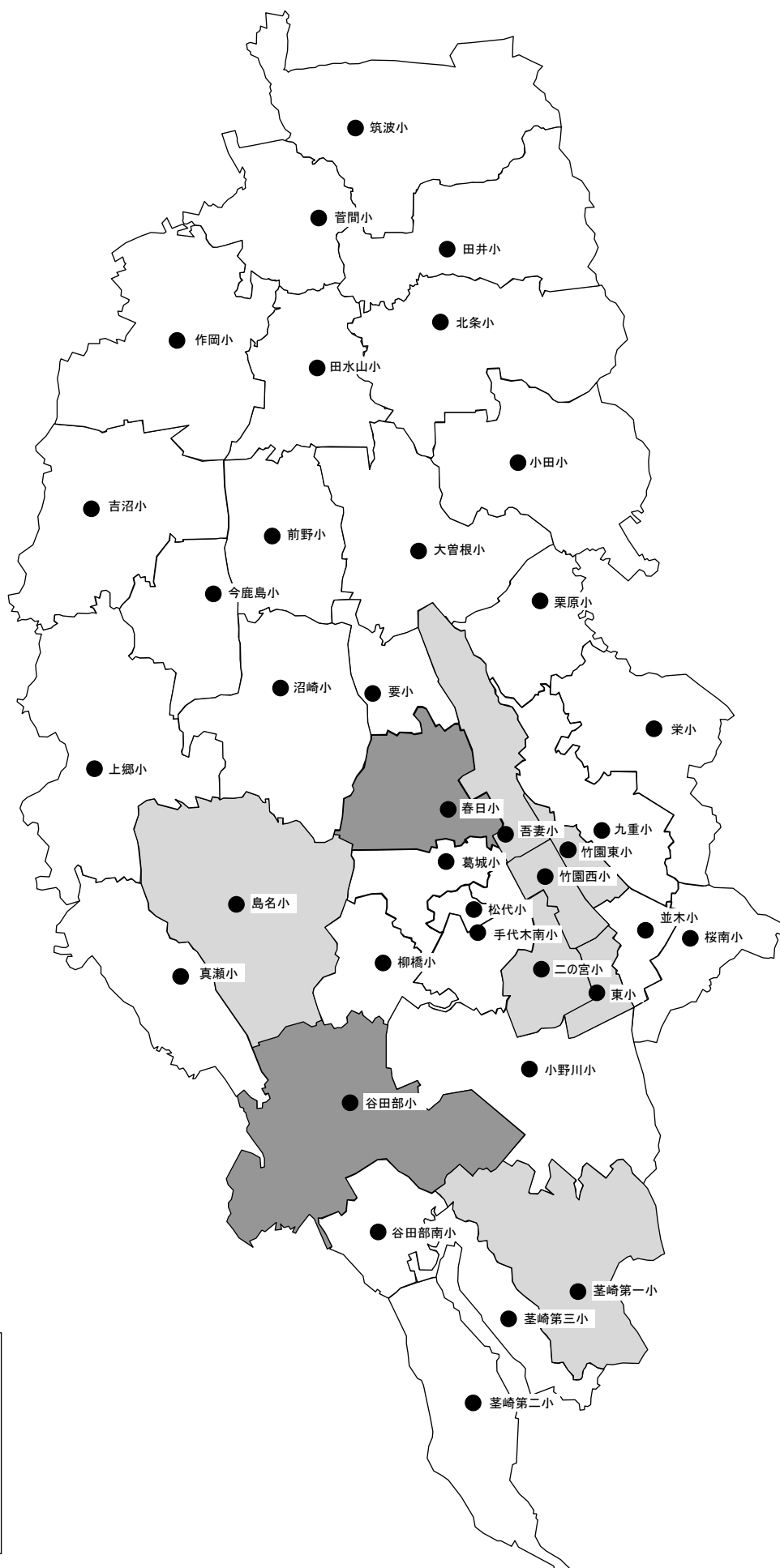


【平成 40 年度】



【平成 45 年度】

【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校



3. 中学校区の将来推計

1) 中学校の推移グラフ及び表

(1)大穂中学校【くすのき学園】

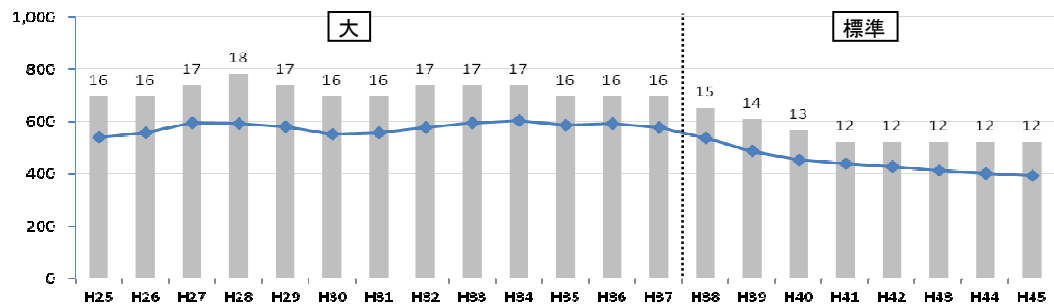
①基本情報

学校名	大穂中
所在地	篠崎 475
隣接学区	豊里・高山・手代木・桜・筑波西・筑波東・吾妻
指定校変更制度	豊里
小学校区	大曾根・前野・要・吉沼

H24 年度生徒数	510
H24 年度学級数	14
将来の生徒増	
将来の生徒減	○
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	21
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	183	(6)	178	(6)	196	(6)	147	(5)	129	(4)
2 年	170	(5)	193	(5)	194	(5)	151	(4)	131	(4)
3 年	187	(5)	181	(5)	195	(5)	155	(4)	133	(4)
計	540	(16)	552	(16)	585	(16)	453	(13)	393	(12)

(2)豊里中学校【つば豊学園】

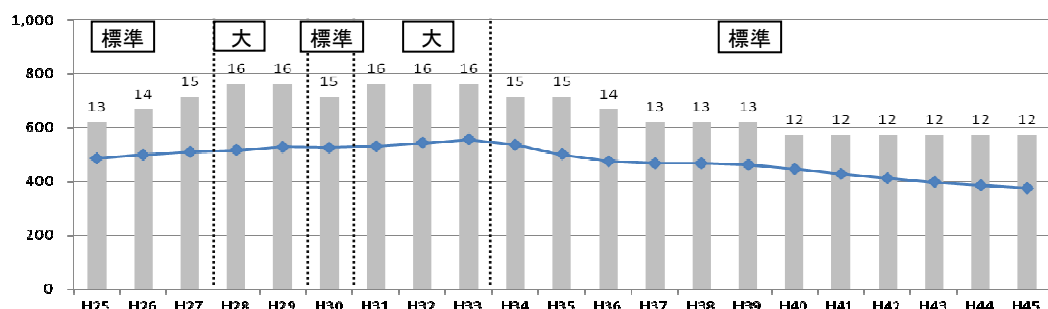
①基本情報

学校名	豊里中
所在地	高野 1213
隣接学区	大穂・高山
指定校変更制度	なし
小学校区	沼崎・今鹿島・上郷

H24 年度生徒数	447
H24 年度学級数	13
将来の生徒増	
将来の生徒減	○
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	19
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	173	(5)	166	(5)	155	(5)	142	(4)	121	(4)
2 年	157	(4)	179	(5)	165	(5)	148	(4)	124	(4)
3 年	155	(4)	179	(5)	179	(5)	155	(4)	128	(4)
計	485	(13)	524	(15)	499	(15)	445	(12)	373	(12)

(3)谷田部中学校【つば輝翔学園】

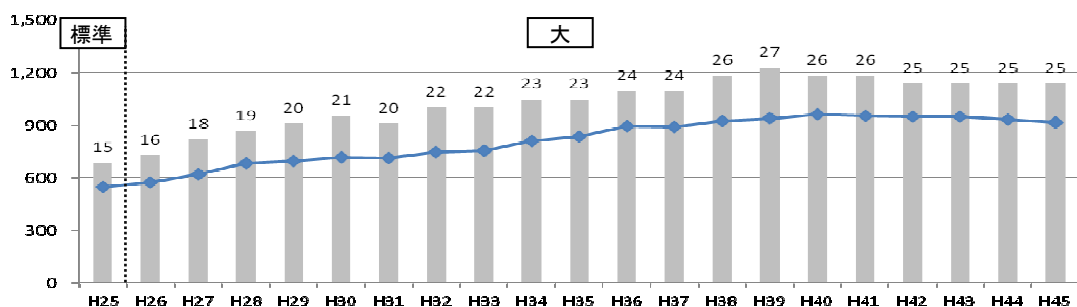
①基本情報

学校名	谷田部中
所在地	谷田部 6100
隣接学区	高山・手代木・谷田部東・荻崎・高崎
指定校変更制度	なし
小学校区	谷田部・柳橋・小野川・谷田部南

H24 年度生徒数	529
H24 年度学級数	14
将来の生徒増	◎
将来の生徒減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	21
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舍関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	177	(5)	250	(8)	276	(8)	323	(10)	302	(9)
2 年	182	(5)	220	(6)	300	(8)	319	(8)	306	(8)
3 年	187	(5)	245	(7)	260	(7)	320	(8)	307	(8)
計	546	(15)	715	(21)	836	(23)	962	(26)	915	(25)

(4)高山中学校【高山真名学園】

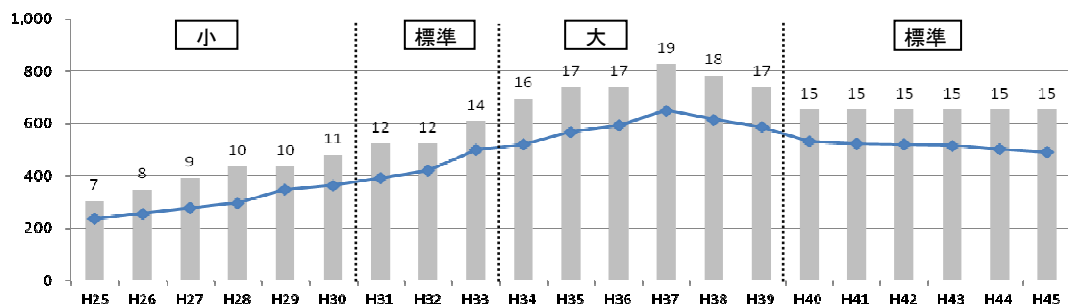
①基本情報

学校名	高山中
所在地	下河原崎 503
隣接学区	大穂・豊里・谷田部・手代木
指定校変更制度	谷田部
小学校区	真瀬・島名

H24 年度生徒数	219
H24 年度学級数	6
将来の生徒増	◎
将来の生徒減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	12
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舍関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	91	(3)	107	(3)	216	(7)	175	(5)	160	(5)
2 年	70	(2)	134	(4)	181	(5)	179	(5)	165	(5)
3 年	76	(2)	122	(4)	171	(5)	178	(5)	166	(5)
計	237	(7)	363	(11)	568	(17)	532	(15)	491	(15)

(5)桜中学校【さくら学園】

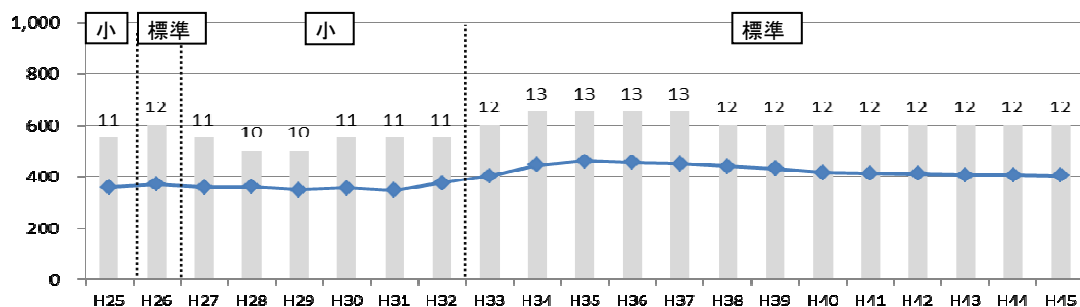
①基本情報

学校名	桜中
所在地	金田 1500
隣接学区	大穂・竹園東・並木・筑波東・吾妻
指定校変更制度	並木
小学校区	栄・九重・栗原

H24 年度生徒数	338
H24 年度学級数	10
将来の生徒増	
将来の生徒減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	14
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	121	(4)	124	(4)	152	(5)	137	(4)	133	(4)
2 年	129	(4)	108	(3)	153	(4)	138	(4)	135	(4)
3 年	107	(3)	123	(4)	154	(4)	139	(4)	135	(4)
計	357	(11)	355	(11)	459	(13)	414	(12)	403	(12)

(6)筑波西中学校【つば百合ヶ丘学園】

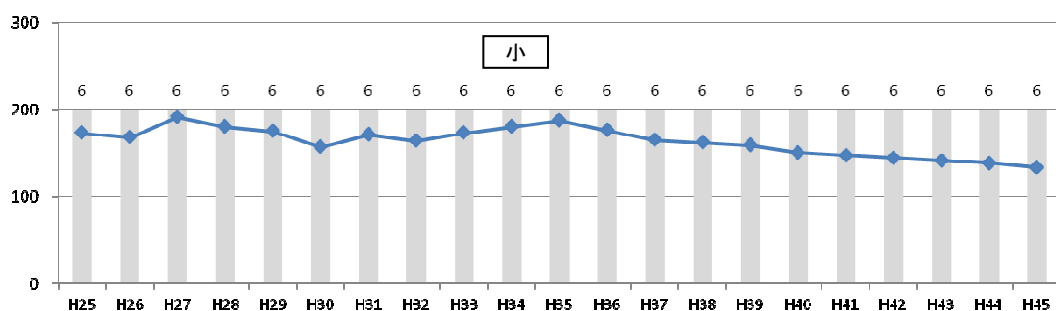
①基本情報

学校名	筑波西中
所在地	作谷 578-2
隣接学区	大穂・筑波東
指定校変更制度	なし
小学校区	田水山・作岡・菅間

H24 年度生徒数	183
H24 年度学級数	6
将来の生徒増	
将来の生徒減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	10
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	59	(2)	55	(2)	54	(2)	49	(2)	42	(2)
2 年	50	(2)	54	(2)	69	(2)	50	(2)	45	(2)
3 年	64	(2)	48	(2)	64	(2)	51	(2)	46	(2)
計	173	(6)	157	(6)	187	(6)	150	(6)	133	(6)

(7)筑波東中学校【つば紫峰学園】

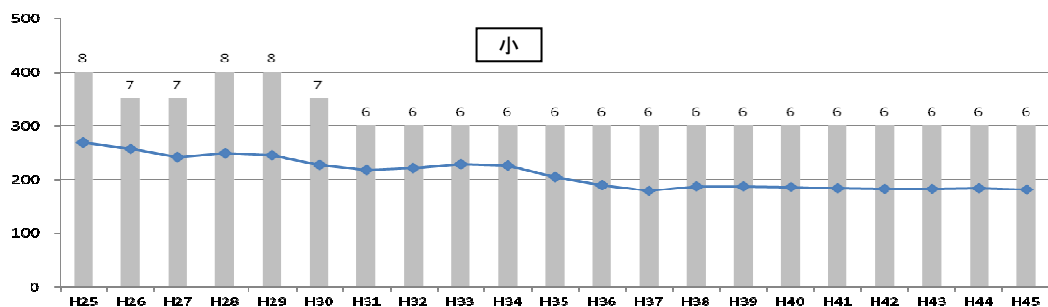
①基本情報

学校名	筑波東中
所在地	北条 4160
隣接学区	大穂・桜・竹園東・並木・筑波西
指定校変更制度	なし
小学校区	筑波・田井・北条・小田

H24 年度生徒数	308
H24 年度学級数	9
将来の生徒増	
将来の生徒減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	19
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	77	(2)	70	(2)	54	(2)	61	(2)	59	(2)
2 年	104	(3)	73	(2)	73	(2)	62	(2)	61	(2)
3 年	87	(3)	84	(3)	77	(2)	63	(2)	61	(2)
計	268	(8)	227	(7)	204	(6)	186	(6)	181	(6)

(8)荃崎中学校【つば荃崎学園】

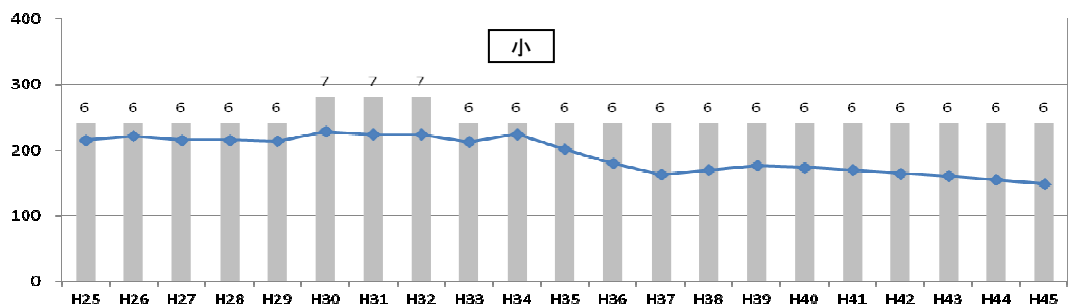
①基本情報

学校名	荃崎中
所在地	小荃 450
隣接学区	谷田部・高崎
指定校変更制度	なし
小学校区	荃崎第二・荃崎第三

H24 年度生徒数	222
H24 年度学級数	6
将来の生徒増	
将来の生徒減	○
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	20
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	69	(2)	84	(3)	52	(2)	56	(2)	47	(2)
2 年	75	(2)	75	(2)	76	(2)	58	(2)	49	(2)
3 年	71	(2)	69	(2)	73	(2)	59	(2)	52	(2)
計	215	(6)	228	(7)	201	(6)	173	(6)	148	(6)

(9)高崎中学校【高崎しいの木学園】

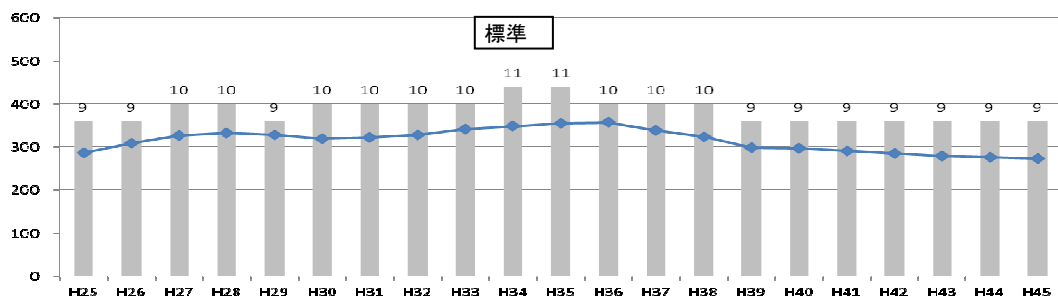
①基本情報

学校名	高崎中
所在地	高崎 1730
隣接学区	谷田部・谷田部東・茎崎
指定校変更制度	なし
小学校区	茎崎第一

H24 年度生徒数	276
H24 年度学級数	9
将来の生徒増	
将来の生徒減	
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	17
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舍関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	102	(3)	109	(4)	115	(4)	97	(3)	90	(3)
2 年	100	(3)	102	(3)	117	(3)	99	(3)	91	(3)
3 年	84	(3)	108	(3)	123	(4)	100	(3)	91	(3)
計	286	(9)	319	(10)	355	(11)	296	(9)	272	(9)

(10)竹園東中学校【つば竹園学園】

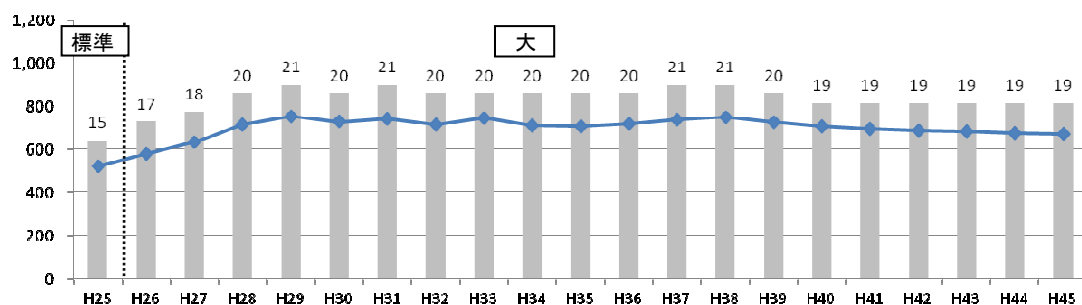
①基本情報

学校名	竹園東中
所在地	竹園 3-11
隣接学区	手代木・谷田部東・桜・並木・吾妻
指定校変更制度	桜
小学校区	竹園東・竹園西

H24 年度生徒数	519
H24 年度学級数	15
将来の生徒増	○
将来の生徒減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	20
教室の不足	○
T X 関連	
公務員宿舍関連	○

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	181	(6)	212	(6)	229	(7)	230	(7)	223	(7)
2 年	181	(5)	260	(7)	233	(6)	236	(6)	224	(6)
3 年	161	(4)	256	(7)	244	(7)	240	(6)	225	(6)
計	523	(15)	728	(20)	706	(20)	706	(19)	672	(19)

(11) 並木中学校【つば桜並木学園】

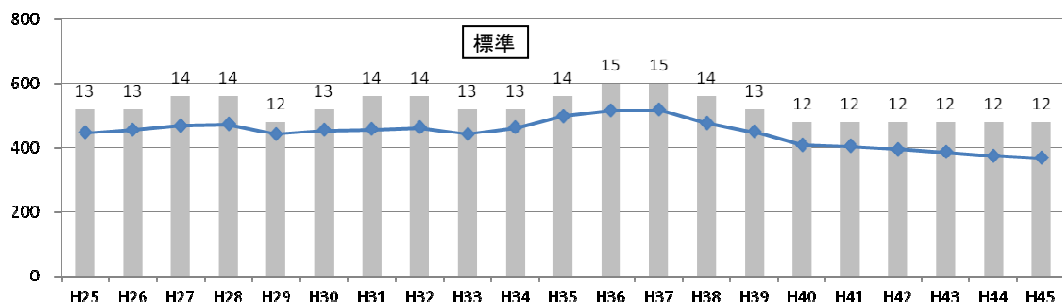
① 基本情報

学校名	並木中
所在地	並木 3-8
隣接学区	谷田部東・桜・竹園東
指定校変更制度	なし
小学校区	桜南・並木

H24 年度生徒数	428
H24 年度学級数	12
将来の生徒増	
将来の生徒減	
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	21
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舎関連	○

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	156	(5)	164	(5)	176	(5)	134	(4)	120	(4)
2 年	134	(4)	142	(4)	172	(5)	135	(4)	123	(4)
3 年	155	(4)	148	(4)	149	(4)	139	(4)	124	(4)
計	445	(13)	454	(13)	497	(14)	408	(12)	367	(12)

(12) 手代木中学校【手代木光輝学園】

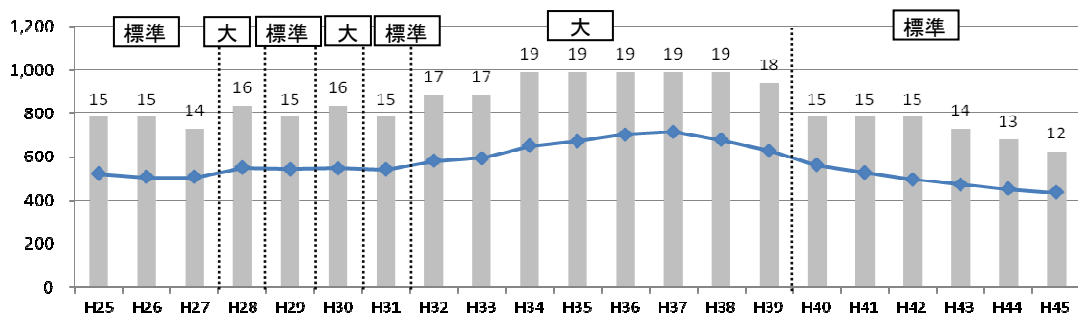
① 基本情報

学校名	手代木中
所在地	松代 5-10
隣接学区	大穂・谷田部・高山・谷田部東・竹園東・吾妻・春日
指定校変更制度	なし
小学校区	手代木南・葛城・松代

H24 年度生徒数	546
H24 年度学級数	15
将来の生徒増	
将来の生徒減	
大規模校	
小規模校	

現有普通教室数	19
教室の不足	
T X 関連	○
公務員宿舎関連	○

② 生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	159	(5)	188	(6)	233	(7)	176	(5)	141	(4)
2 年	174	(5)	177	(5)	232	(6)	185	(5)	145	(4)
3 年	188	(5)	181	(5)	205	(6)	199	(5)	149	(4)
計	521	(15)	546	(16)	670	(19)	560	(15)	435	(12)

(13)吾妻中学校【つばAZUMA学園】

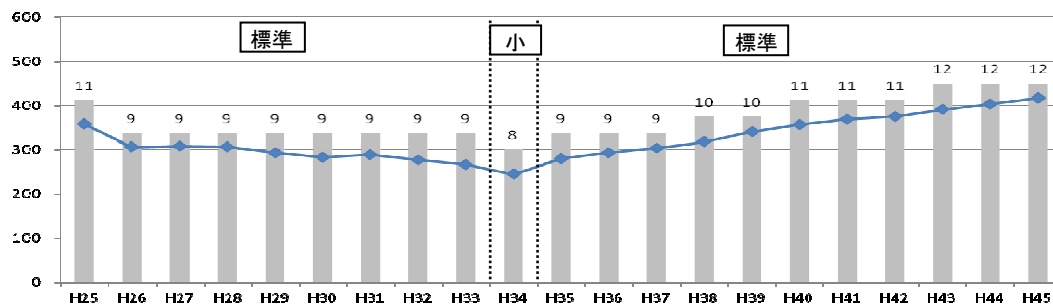
①基本情報

学校名	吾妻中
所在地	天久保 1-9-1
隣接学区	大穂・手代木・桜・竹園東
指定校変更制度	なし
小学校区	吾妻

H24 年度生徒数	386
H24 年度学級数	11
将来の生徒増	
将来の生徒減	
大規模校	
小規模校	○

現有普通教室数	16
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舍関連	○

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	119	(4)	93	(3)	97	(3)	118	(4)	141	(4)
2 年	86	(3)	94	(3)	90	(3)	122	(4)	140	(4)
3 年	153	(4)	95	(3)	92	(3)	117	(3)	135	(4)
計	358	(11)	282	(9)	279	(9)	357	(11)	416	(12)

(14)谷田部東中学校【つば洞峰学園】

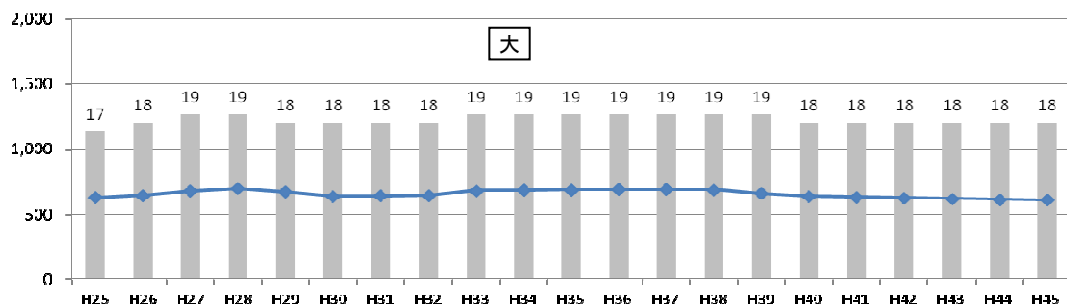
①基本情報

学校名	谷田部東中
所在地	東 2-25-1
隣接学区	谷田部・手代木・竹園東・並木・高崎
指定校変更制度	竹園東・並木
小学校区	二の宮・東・小野川

H24 年度生徒数	612
H24 年度学級数	17
将来の生徒増	
将来の生徒減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	23
教室の不足	
T X 関連	
公務員宿舍関連	

②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	213	(6)	199	(6)	217	(7)	211	(6)	203	(6)
2 年	196	(5)	209	(6)	233	(6)	213	(6)	204	(6)
3 年	220	(6)	231	(6)	237	(6)	215	(6)	205	(6)
計	629	(17)	639	(18)	687	(19)	639	(18)	612	(18)

(15)春日中学校【春日学園】

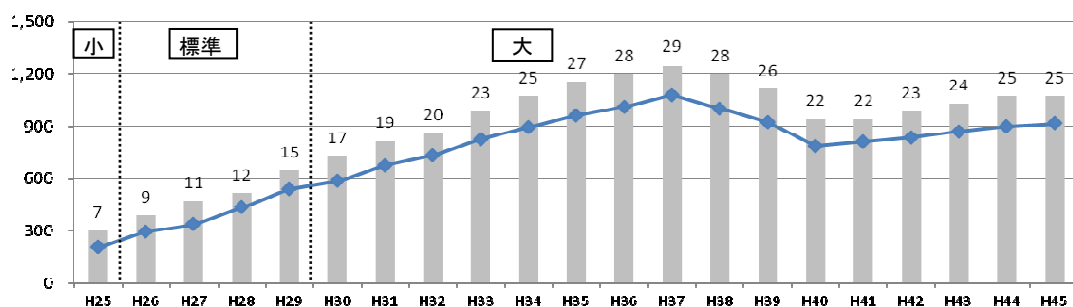
①基本情報

学校名	春日中
所在地	春日 2-47
隣接学区	豊里・大穂・吾妻・手代木・高山
指定校変更制度	吾妻
小学校区	春日

H24 年度生徒数	116
H24 年度学級数	5
将来の生徒増	◎
将来の生徒減	
大規模校	○
小規模校	

現有普通教室数	15
教室の不足	○
T X 関連	○
公務員宿舍関連	○

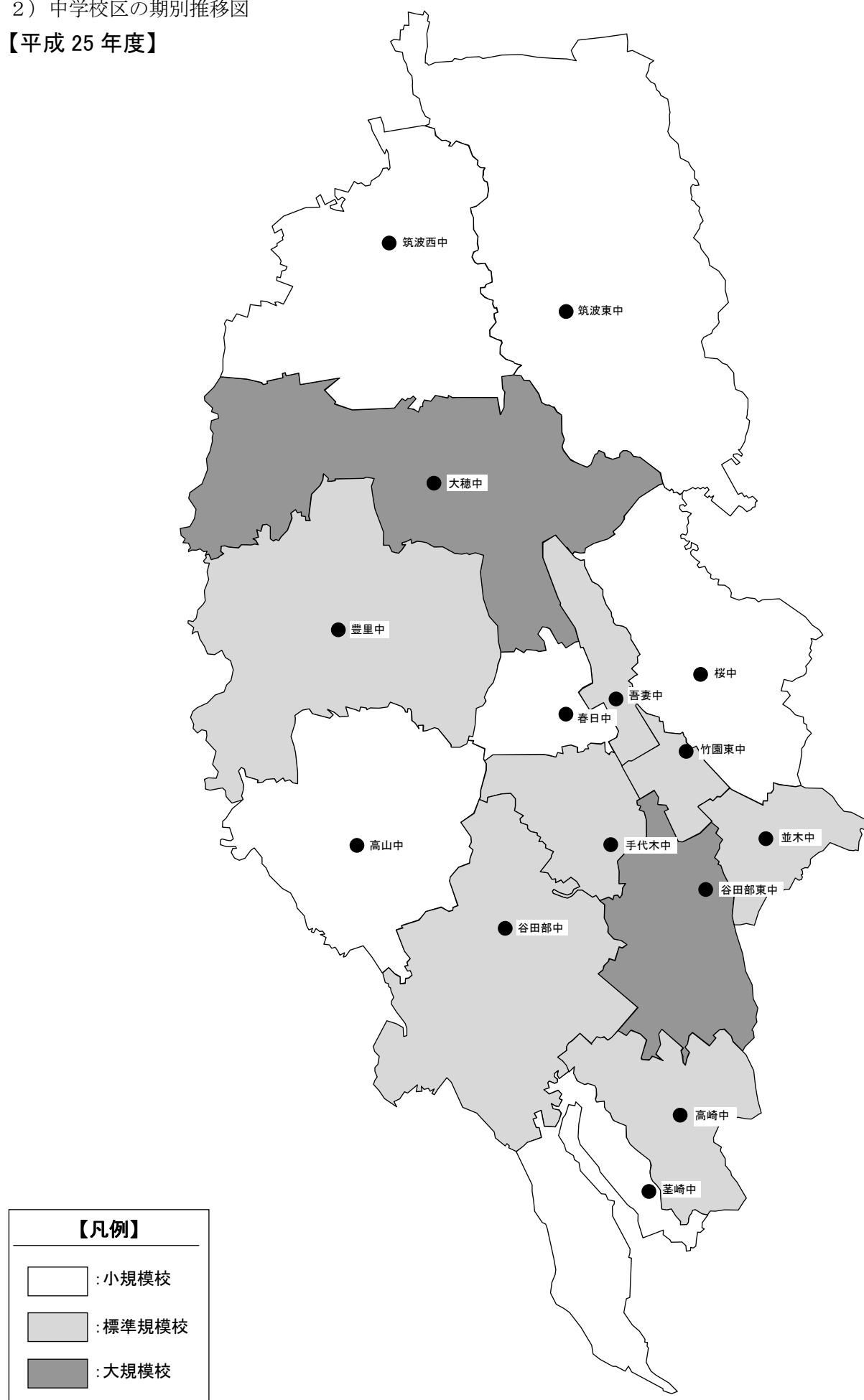
②生徒・学級数の推移グラフ及び表



学年\年度	25 年度		30 年度		35 年度		40 年度		45 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	89	(3)	201	(6)	332	(10)	269	(8)	308	(9)
2 年	103	(3)	208	(6)	333	(9)	264	(7)	306	(8)
3 年	11	(1)	174	(5)	293	(8)	252	(7)	300	(8)
計	203	(7)	583	(17)	958	(27)	785	(22)	914	(25)

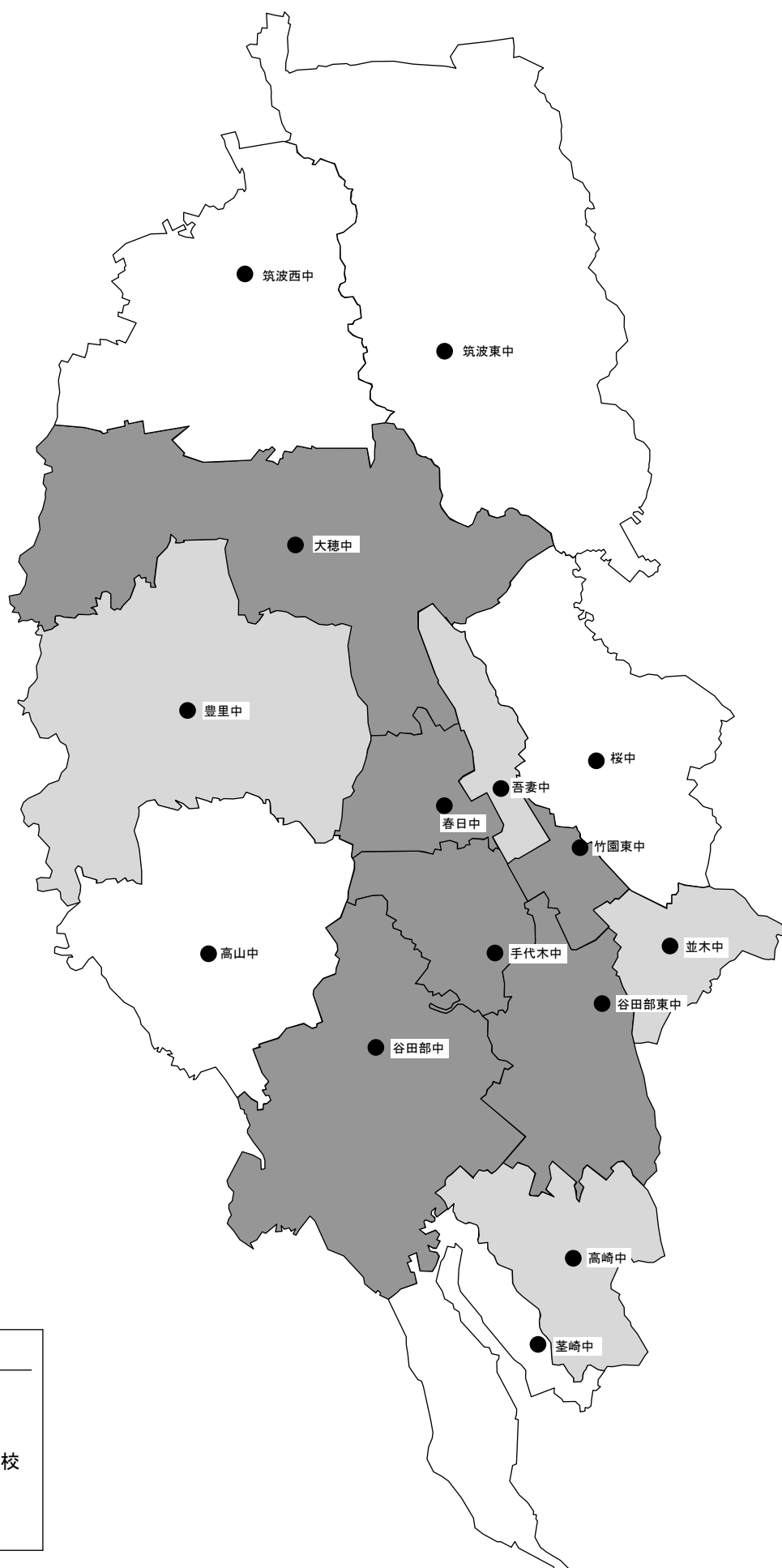
2) 中学校区の期別推移図

【平成 25 年度】



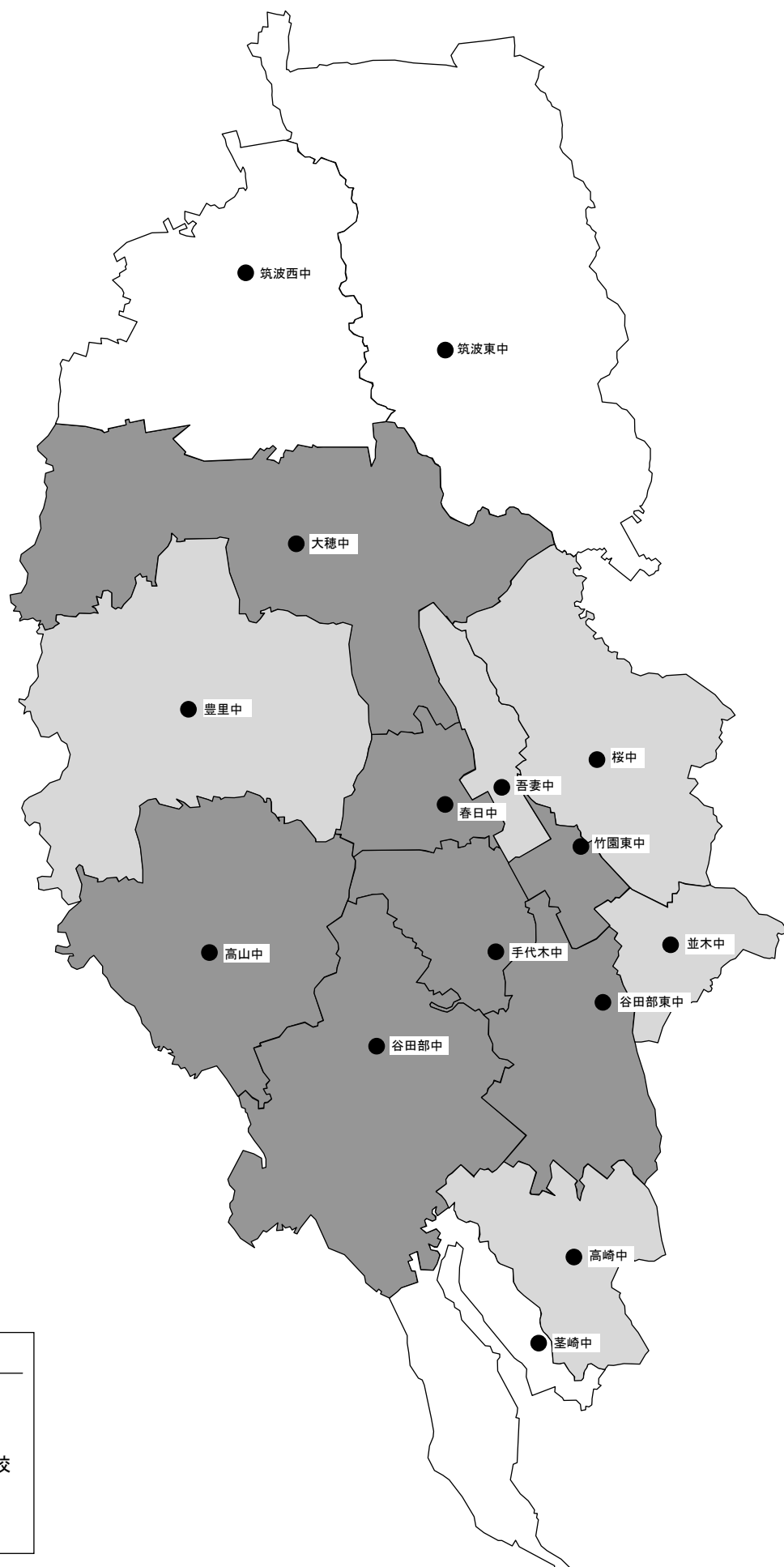
【平成 30 年度】

【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校

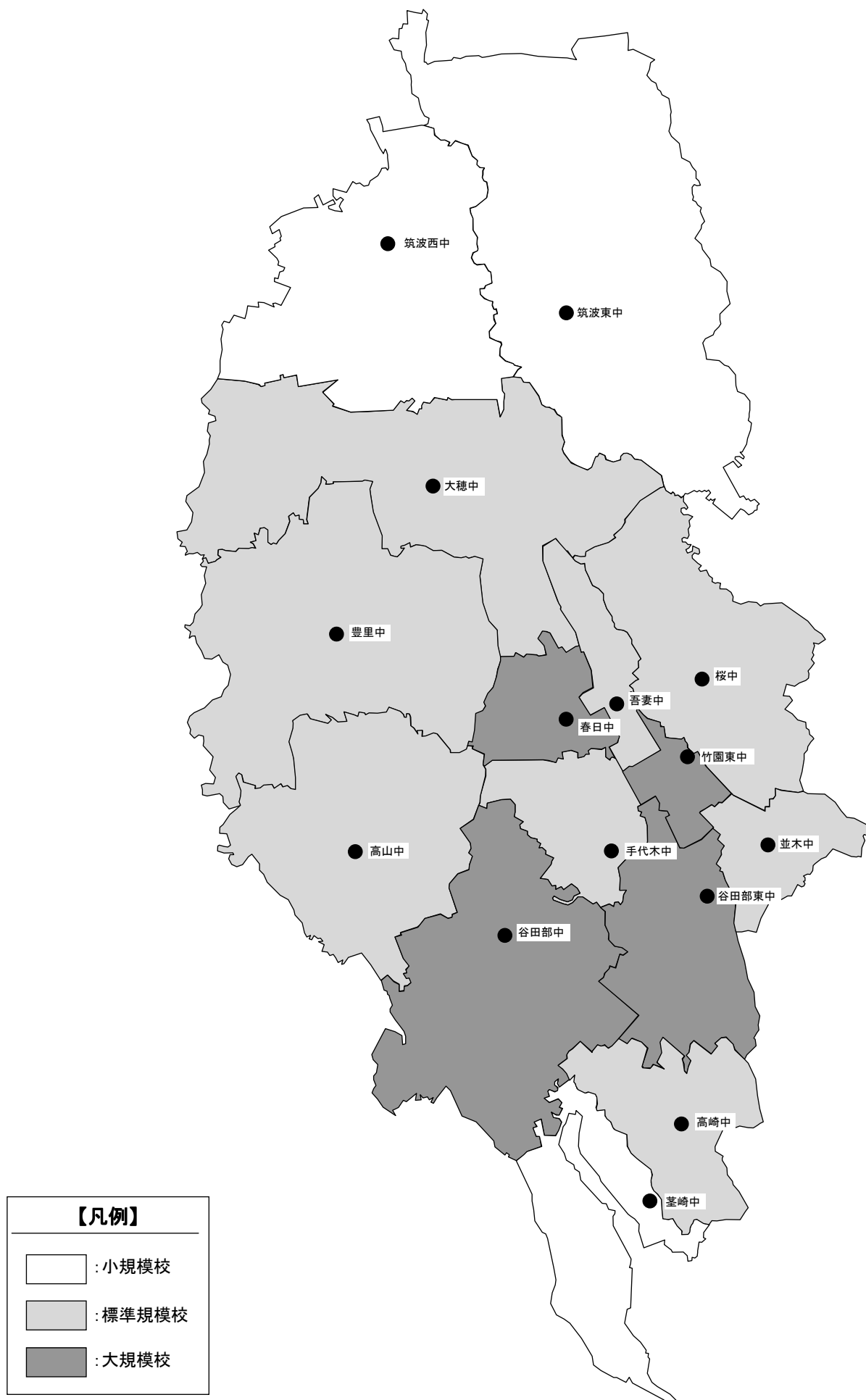


【平成 35 年度】

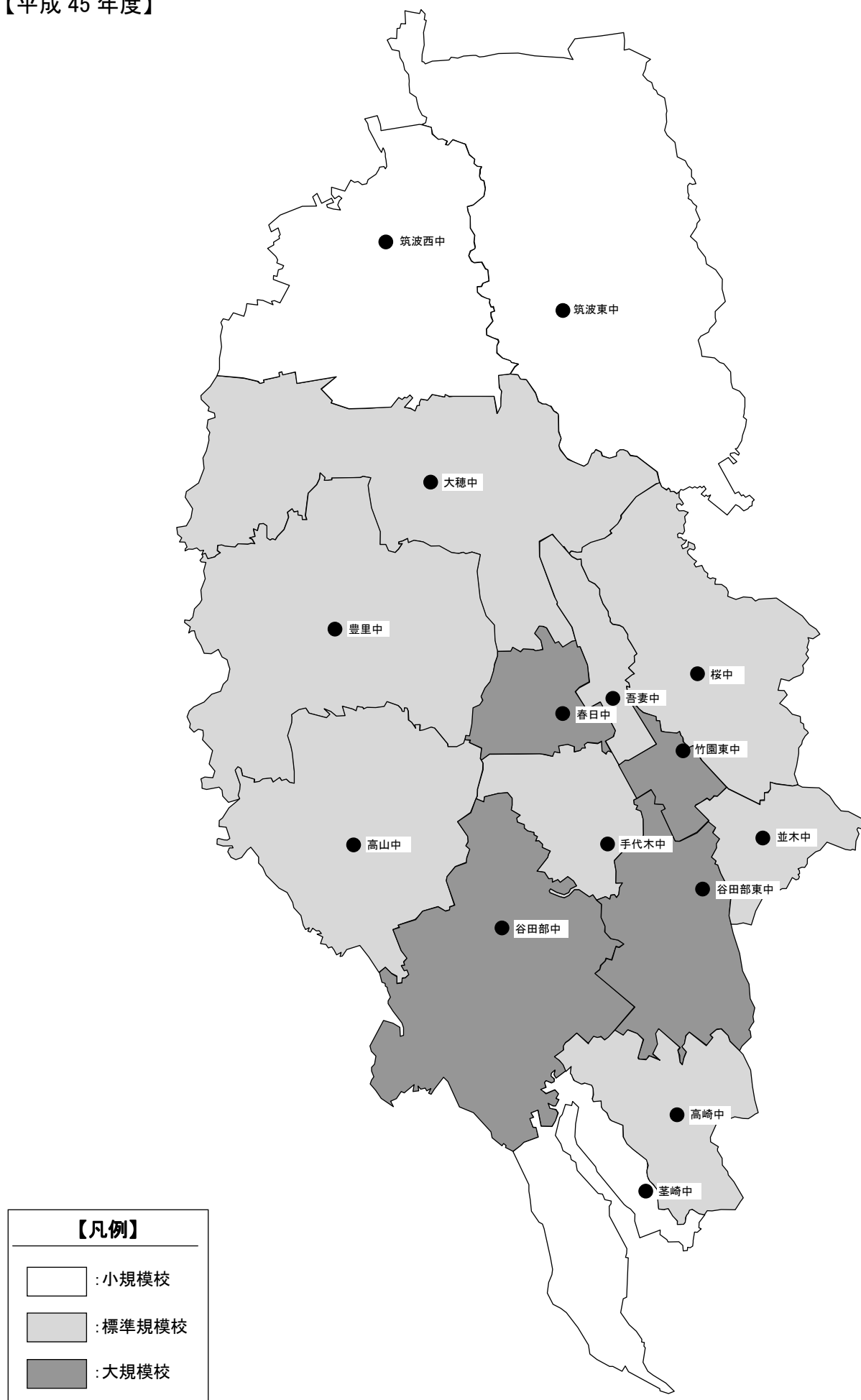
【凡例】	
	: 小規模校
	: 標準規模校
	: 大規模校



【平成 40 年度】



【平成 45 年度】



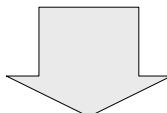
Ⅷ. つくば市学校等適正配置計画

1. 適正配置計画の検討手順

小・中学校等の適正な配置計画を行うために、次のような手順で検討を行います。

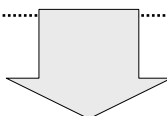
①まず、

■適正配置計画の「見直しの考え方」と「学校等適正配置の基本的な考え方」に基づきます。



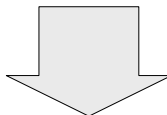
②第2に、

■学校別の将来推計等より「児童・生徒数及び学級数の推移」を読み取ります。



③第3に、児童・生徒数及び学級数の推移を適正配置等の基本的な考え方に照らして、

■学校別の動向・課題等と、その対応策としての期別の方針を一覧表としてまとめたものを『学校別の配置方針』とします。



④そして第4は、学校の配置方針をもとに、

■学区調整、学区分割、新設校の配置、新たな学区の範囲等を示した『期別の配置方針図（総括図）』を作成します。

これらのなかの、第3から第4までを小学校と中学校、幼稚園に区分し設定します。

2. 小学校の適正配置計画

(1) 学校別の配置方針

①大穂地区

この地区においては、すべての学校が小規模校化することが予想されます。将来的には、統合の検討が必要になると考えられます。

期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）							
一期	●現状の学区の維持を図る	くすのき学園 大曽根小	27	24	- 児童数は二期の初めまで通増し、それ以降逓減する - 標準規模校で推移し、三期中頃から小規模校へ移行する	統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●前野小学校との統合を検討する						
一期	●現状の学区の維持を図る	くすのき学園 前野小	8	6	- 児童数はほぼ一定で推移する - 小規模校で推移する	統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●大曽根小学校との統合を検討する						
一期	●現状の学区の維持を図る	くすのき学園 要小	6	6	- 児童数は二期前半まで一定し、それ以降逓減する - 小規模校で推移する	統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・新設校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●（仮称）TX 沿線開発葛城地区北部小学校新設校との統合を検討する						
一期	●現状の学区の維持を図る	くすのき学園 吉沼小	13	8	- 児童数は逓減する - 小規模校で推移する	- 統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある - 学園の見直しを検討する必要がある	・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●上郷小学校、今鹿島小学校との統合を検討する						

②豊里地区

将来的に小規模校化が予測される学校については、統合の検討が必要になると考えられます。

期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の予想学級数	動 向 ・ 課 題	方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）						
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば豊学園 上郷小	18	9	・児童数は逡減する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・学園の見直しを検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●今鹿島小学校、吉沼小学校との統合を検討する					
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば豊学園 今鹿島小	11	6	・児童数は一期がほぼ一定し、二期以降に逡減する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・学園の見直しを検討する必要がある
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●上郷小学校、吉沼小学校との統合を検討する					
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば豊学園 沼崎小	24	21	・児童数は一期がほぼ一定し、二期以降に逡減する ・標準規模校で推移するが、第四期の初めから小規模校に移行する	・現状維持
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

③谷田部地区

大規模校化の早急な対応が必要となり、TX 沿線開発萱丸地区内の新設予定校との学区再編が課題と考えられます。

また、小規模校については隣接校との統合や学区の再編の検討が必要と考えられます。

期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の予想学級数	動 向 ・ 課 題	方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）						
一期	●サイエンス大通り以西、今泉等の分離を検討し、谷田部小学校区との学区調整を図る	つくば洞峰学園 小野川小	15	14	・児童数は一期が増増し、二期が一定、三期以降に通減する ・小規模校で推移する	・小中一貫教育の推進にあたり、学区の調整が必要となる ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	高山真名学園 真瀬小	12	8	・児童数は一期の中頃に減少し、その後ほぼ一定する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●島名小学校との統合並びに高山中学校との施設一体型小中一貫校を検討する					
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	高山真名学園 島名小	13	22	・児童数は二期の中頃まで増大し、それ以降通減する ・一期の前半は小規模校で、その後二期の中頃まで標準規模校で推移する。その後、大規模校となり、それ以降再び標準規模校に移行する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・教室増設 ・学区分割 ・施設一体型小中一貫校
二期	●（仮称）TX 沿線開発島名・福田坪地区小学校新設校に学区の分割を図る					
三期～四期	●真瀬小学校との統合並びに高山中学校との施設一体型小中一貫校を検討する					
一期	●谷田部小学校との学区調整を検討する	つくば輝翔学園 谷田部南小	9	6	・児童数は三期までほぼ通増し、それ以降通減する ・小規模校で推移する	・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●（仮称）TX 沿線開発萱丸地区（みどりの）小学校新設校に学区の分割を図る ●小野川小学校区のサイエンス大通り以西、今泉等の学区内組み入れを図る ●谷田部南小学校との学区調整を検討する	つくば輝翔学園 谷田部小	32	34	・児童数は三期前半まで通増し、それ以降通減する ・大規模校で推移する	・学区分割 ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば輝翔学園 柳橋小	6	6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・学園の見直しを検討する必要がある ・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●手代木南小学校との統合を検討する					
一期	●現状の学区の維持を図る	手代木光輝学園 葛城小	14	7	・児童数は二期の初め頃まで増大し、その後三期中頃まで減少する。そして、それ以降一定する ・小規模校で推移する	・児童数の推移等を見ながら拡張用地の活用を検討する ・現状維持
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

④桜地区

全般的に小規模校で推移することが予想されるため、学区調整や隣接校との統合・移転の検討が必要と考えられます。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する	さくら学園 栗原小	9	10	・児童数は二期の初め増大し、それ以降ほぼ一定で推移する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・教室増設 ・隣接校との統合、移転
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●TX 沿線開発中根・金田台地区に栗原小学校と栄小学校の統合・新設・移転を検討する						
一期	●現状の学区の維持を図る	さくら学園 栄小	13	10	・児童数はほぼ一定する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・学区調整 ・隣接校との統合、移転
二期	●吉瀬地区を桜南小学校区へと学区調整を図る						
三期～四期	●TX 沿線開発中根・金田台地区に栗原小学校と栄小学校の統合・新設・移転を検討する						
一期	●現状の学区の維持を図る	さくら学園 九重小	12	7	・児童数は、一期では一定し、その後2期の中頃まで増える。その後、三期・四期と一定する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・学区調整 ・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●TX 沿線開発中根・金田台地区及び柴崎地区の分離を検討し、（仮称）TX 沿線開発中根・金田台地区小学校新設校との学区調整を図る ●上ノ室地区の一部の分離を検討し、並木小学校区との学区調整を図る ●竹園東小学校との統合を検討する						

⑤筑波地区

全般的に小規模校で推移することが予想されるため、隣接校との統合等の検討が必要と考えられます。

期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題	方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）						
※大形小学校は平成 20 年 4 月に小田小学校に統合、山口小学校は平成 25 年 4 月に北条小学校に統合						
一期	●田井小学校、北条小学校、小田小学校との統合並びに筑波東中学校との施設一体型小中一貫校を推進する	つくば紫峰学園 筑波小	9	6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●筑波小学校、北条小学校、小田小学校との統合並びに筑波東中学校との施設一体型小中一貫校を推進する	つくば紫峰学園 田井小	7	6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	・筑波西中学区の田水山小学校、作岡小学校、菅間小学校との統合を検討する ・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●筑波小学校、田井小学校、小田小学校との統合並びに筑波東中学校との施設一体型小中一貫校を推進する	つくば紫峰学園 北条小	13	6	・児童数はほぼ一定で推移する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●筑波小学校、田井小学校、北条小学校との統合並びに筑波東中学校との施設一体型小中一貫校を推進する	つくば紫峰学園 小田小	8	6	・児童数は二期の中頃まで減少し、それ以降ほぼ一定する ・小規模校で推移する	・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●作岡小学校、菅間小学校との統合並びに筑波西中学校との施設一体型小中一貫校を検討する	つくば百合ヶ丘学園 田水山小	8	6	・児童数は二期の前半まではほぼ一定し、それ以降減少する ・小規模校で推移する	・筑波東中学区の筑波小学校、田井小学校、北条小学校、小田小学校との統合を検討する ・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●田水山学校、菅間小学校との統合並びに筑波西中学校との施設一体型小中一貫校を検討する	つくば百合ヶ丘学園 作岡小	13	6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●田水山学校、作岡小学校との統合並びに筑波西中学校との施設一体型小中一貫校を検討する	つくば百合ヶ丘学園 菅間小	7	6	・児童数は減少する ・小規模校で推移する	・隣接校との統合 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

⑥ 荖崎地区

小規模校で推移することが予想される学校については、統合等の検討が必要と考えられます。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●現状の学区の維持を図る	高崎しいの木学園 荖崎第一小	30	24	・児童数は一期終わりまで通増し、それ以降通減する ・標準規模校で推移する		・施設分離型小中一貫校の維持
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば荖崎学園 荖崎第二小	16	6	・児童数は一期終わりまで減少し、それ以降はほぼ一定する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●荖崎第三小学校との統合を検討する						
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば荖崎学園 荖崎第三小	24	9	・児童数は一期中頃まで増大するが、それ以降通減する ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●荖崎第二小学校との統合を検討する						

⑦中心地区

一部の学校で、公務員宿舎の削減計画の影響により、児童数の減少が予想されるため、学区調整等が必要と考えられます。

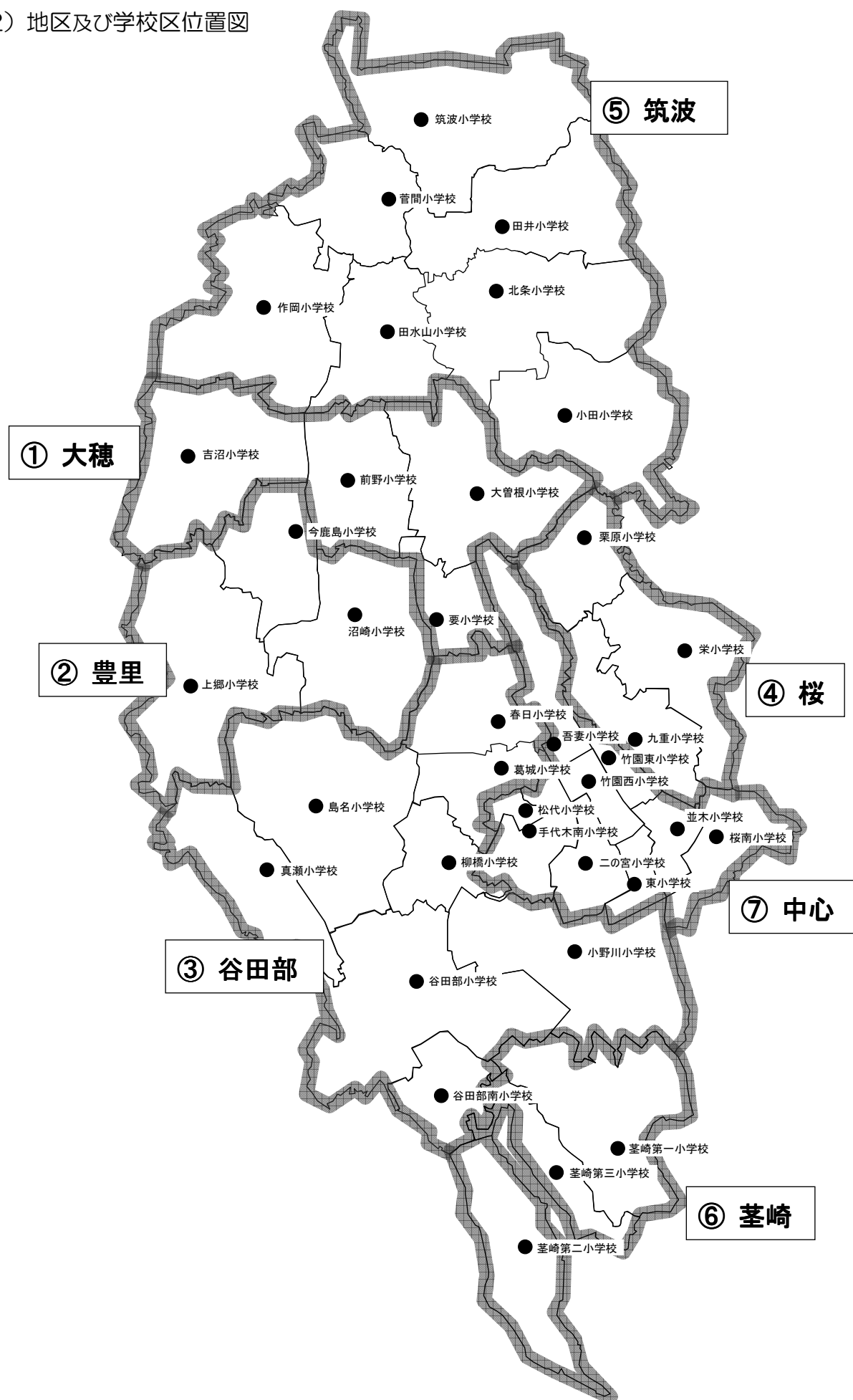
期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の予想学級数	動 向 ・ 課 題	方針
一期	●竹園東小学校区の吾妻4丁目の分離を検討し、吾妻小学校区との学区調整を図る	つくば竹園学園 竹園東小	31	20	・児童数は三期の中頃まで変動があるもののほぼ一定し、それ以降逓増する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・学区調整 ・隣接校との統合
二期	●現状の学区の維持を図る					
三期～四期	●九重小学校との統合を検討する					
一期	●竹園西小学校区の千現2丁目の分離を検討し、二の宮小学校区との学区調整を図る	つくば竹園学園 竹園西小	27	24	・児童数は逓減する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば桜並木学園 桜南小	25	12	・児童数は三期中頃まで減少し、それ以降一定する ・小規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●栄小学校区の吉瀬地区を桜南小学校区へと学区調整を図る					
三期～四期	●桜南小学校区の大角豆南部の分離を検討し、東小学校区との学区調整を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば桜並木学園 並木小	22	15	・児童数は三期中頃まで減少し、それ以降一定する ・小規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●九重小学校区の上ノ室地区の一部と並木小学校区との学区調整を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	手代木光輝学園 松代小	22	19	・児童数は一期の中頃から二期の初めにかけて逓増し、その後三期の中頃まで逓減、それ以降一定となる ・一期まで、小規模校、その後標準規模校、小規模校と変動する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・現状維持
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	手代木光輝学園 手代木南小	20	13	・児童数は逓減する ・小規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・学園の見直しを検討する必要がある ・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある ・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●柳橋小学校との統合を検討する					
一期	●竹園西小学校区の千現2丁目の分離を検討し、竹園西小学校区との学区調整を図る	つくば洞峰学園 二の宮小	25	21	・児童数は三期の中頃まで減少し、それ以降一定となる ・標準規模校で推移する	・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば洞峰学園 東小	21	17	・児童数は三期初め頃まではほぼ一定で推移し、それ以降逓増する ・二期の中頃一時的に標準規模校になるが二期の後半頃まで小規模校で推移する。それ以降標準規模校となる	・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●桜南小学校区の大角豆南部の分離を検討し、桜南小学校区との学区調整を図る					
一期	●春日小学校区の春日1丁目の分離を検討し、春日小学校区との学区調整を図る ●竹園東小学校区の吾妻4丁目の分離を検討し、竹園東小学校区との学区調整を図る	つくばAZUMA学園 吾妻小	31	19	・児童数は一期の終わりまで逓減し、それ以降逓増する ・一期で標準規模校から小規模校と推移するが、その後標準規模校に変動する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●現状の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					

⑧TX開発地区

葛城地区、島名・福田坪地区、上河原崎・中西地区、萱丸地区、中根・金田台地区の、いずれも学校予定地が確保され、学校の新設が見込まれています。周辺既設校との学区調整が課題となります。

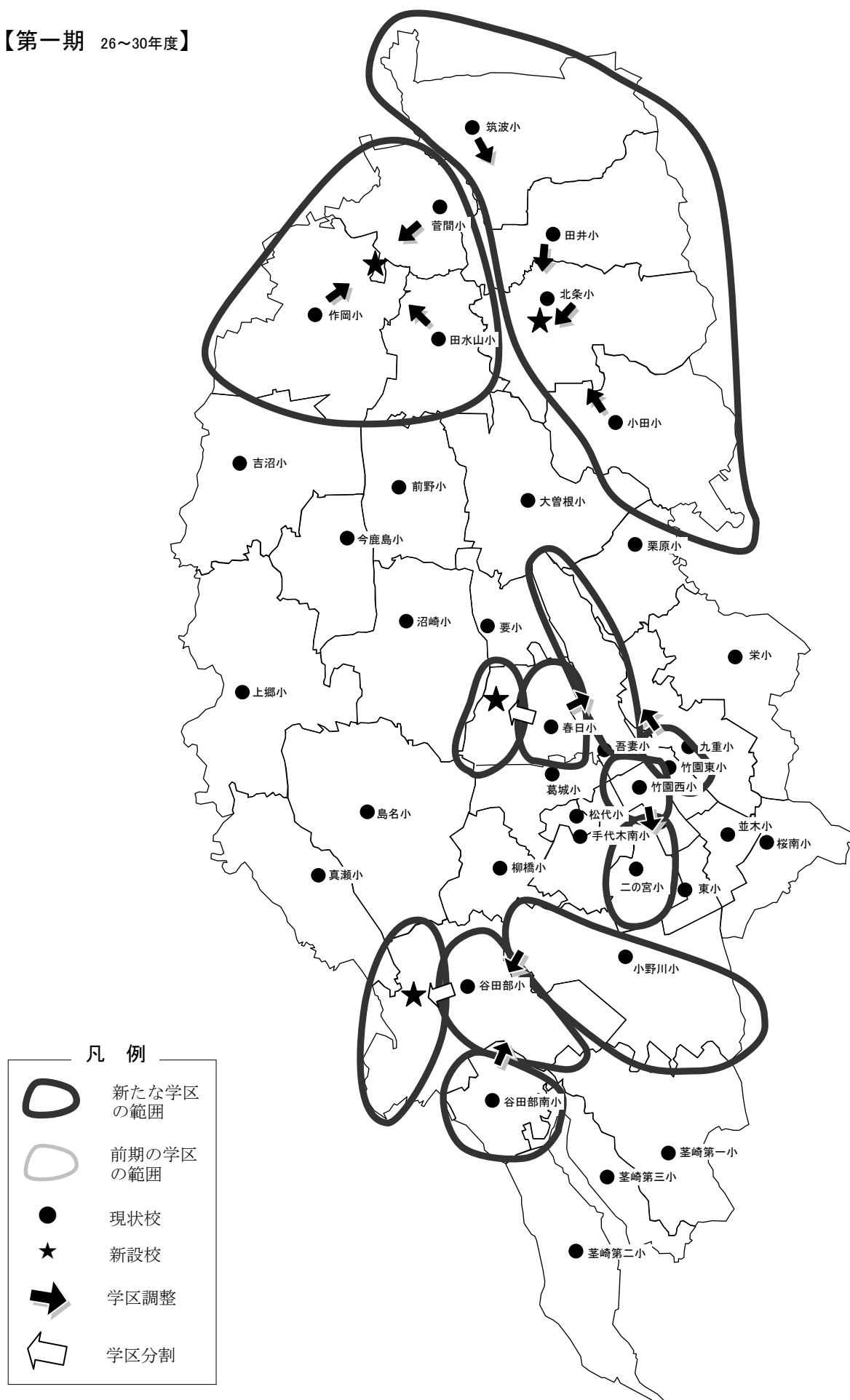
期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の予想学級数	動 向 ・ 課 題	方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）						
一期	●（仮称）TX 沿線開発葛城地区北部小学校新設校に学区の分割を図る ●春日小学校区の春日1丁目の分離を検討し、吾妻小学校区との学区調整を図る	春日学園 春日小学校	28	52	・児童数は二期の初めまで増大し、その後三期の初め頃まで減少する。また、それ以降再び増大する ・大規模校で推移する	・学区分割
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●春日小学校から分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発葛城地区北部小学校の新設を図る ●施設一体型小中一貫校を検討する	（仮称）TX 沿線開発葛城地区北部小学校新設校	—	—	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・新設 ・施設一体型小中一貫校 ・隣接校との統合
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●要小学校との統合を検討する					
一期	—	（仮称）TX 沿線開発島名・福田坪地区北部小学校新設校	—	—		・新設 ・施設一体型小中一貫校
二期	●島名小学校から分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発島名・福田坪地区北部小学校の新設を図る ●施設一体型小中一貫校を検討する					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	—	（仮称）TX 沿線開発上河原崎・中西地区高山小学校	—	—	・島名小学校及び（仮称）TX 沿線開発島名・福田坪地区北部小学校の教室が不足したとき、真瀬小学校が小規模校になったとき、改築を検討する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある
二期	—					
三期～四期	●真瀬小学校と島名小学校の統合を検討し、TX 沿線開発上河原崎・中西地区（高山中学校用地内）への移転・新設を図る ●高山中学校との施設一体型小中一貫校を検討する					
一期	●谷田部小学校から分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発萱丸地区（みどりの）小学校の新設を図る ●施設一体型小中一貫校を検討する	（仮称）TX 沿線開発萱丸地区（みどりの）小学校新設校	—	—		・新設 ・施設一体型小中一貫校
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	—	（仮称）TX 沿線開発中根・金田台地区小学校新設校	—	—		・移転，新設 ・施設一体型小中一貫校
二期	—					
三期～四期	●栗原小学校と栄小学校の統合を検討し、TX 沿線開発中根・金田台地区へ移転と、（仮称）TX 沿線開発中根・金田台地区小学校の新設を図る ●施設一体型小中一貫校を検討する					

(2) 地区及び学校区位置図

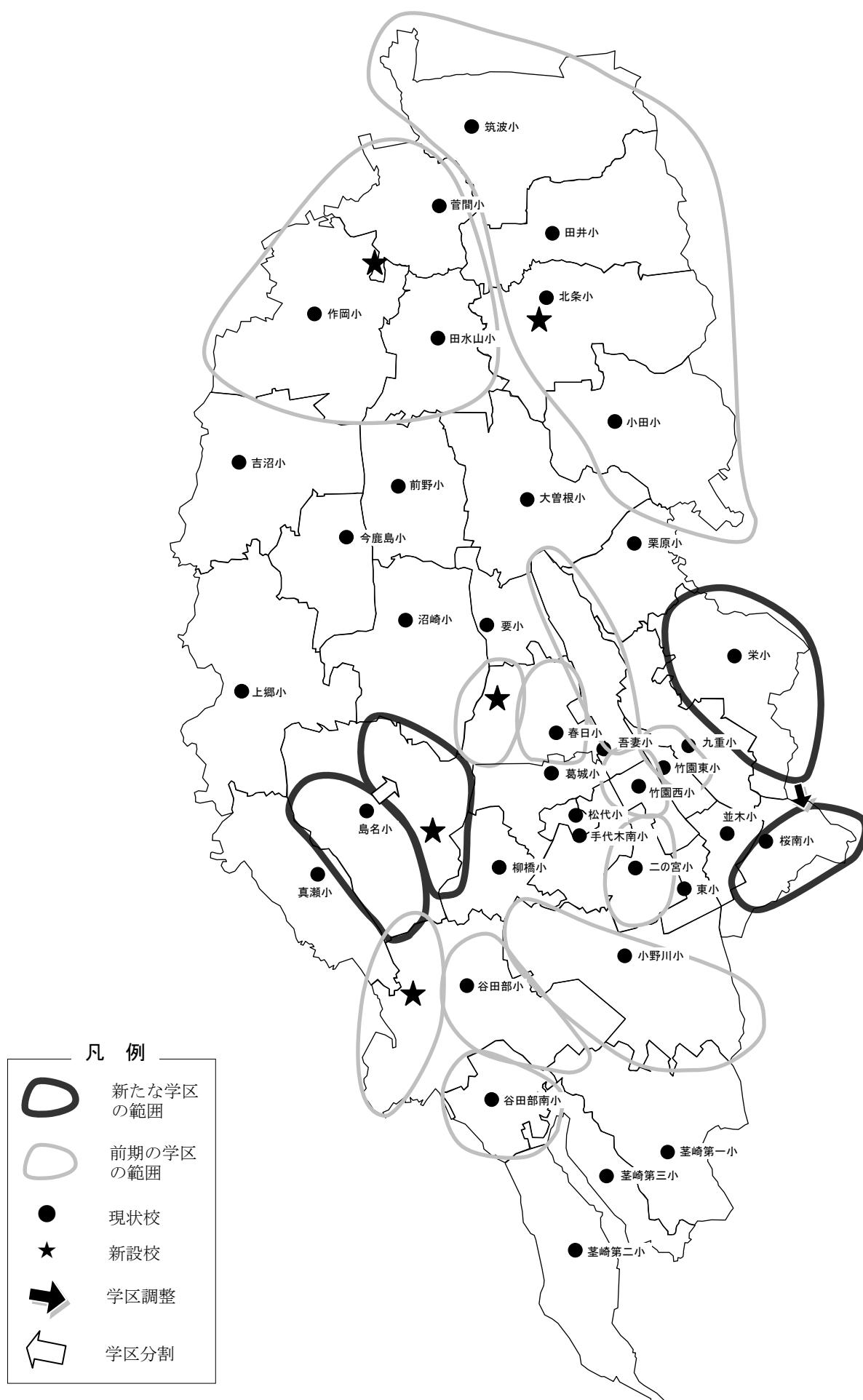


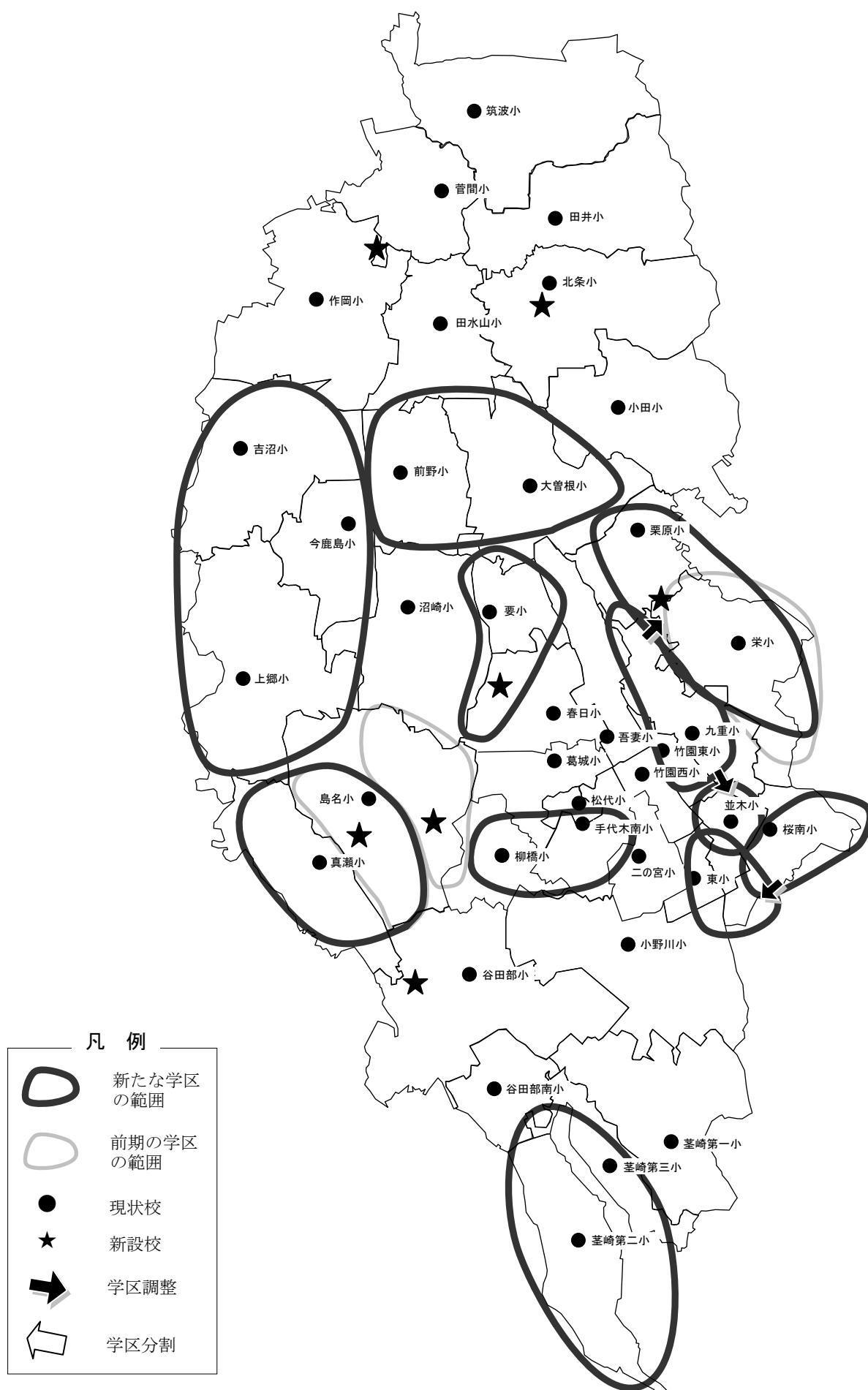
(3) 期別の方針図(総括図)

【第一期 26～30年度】

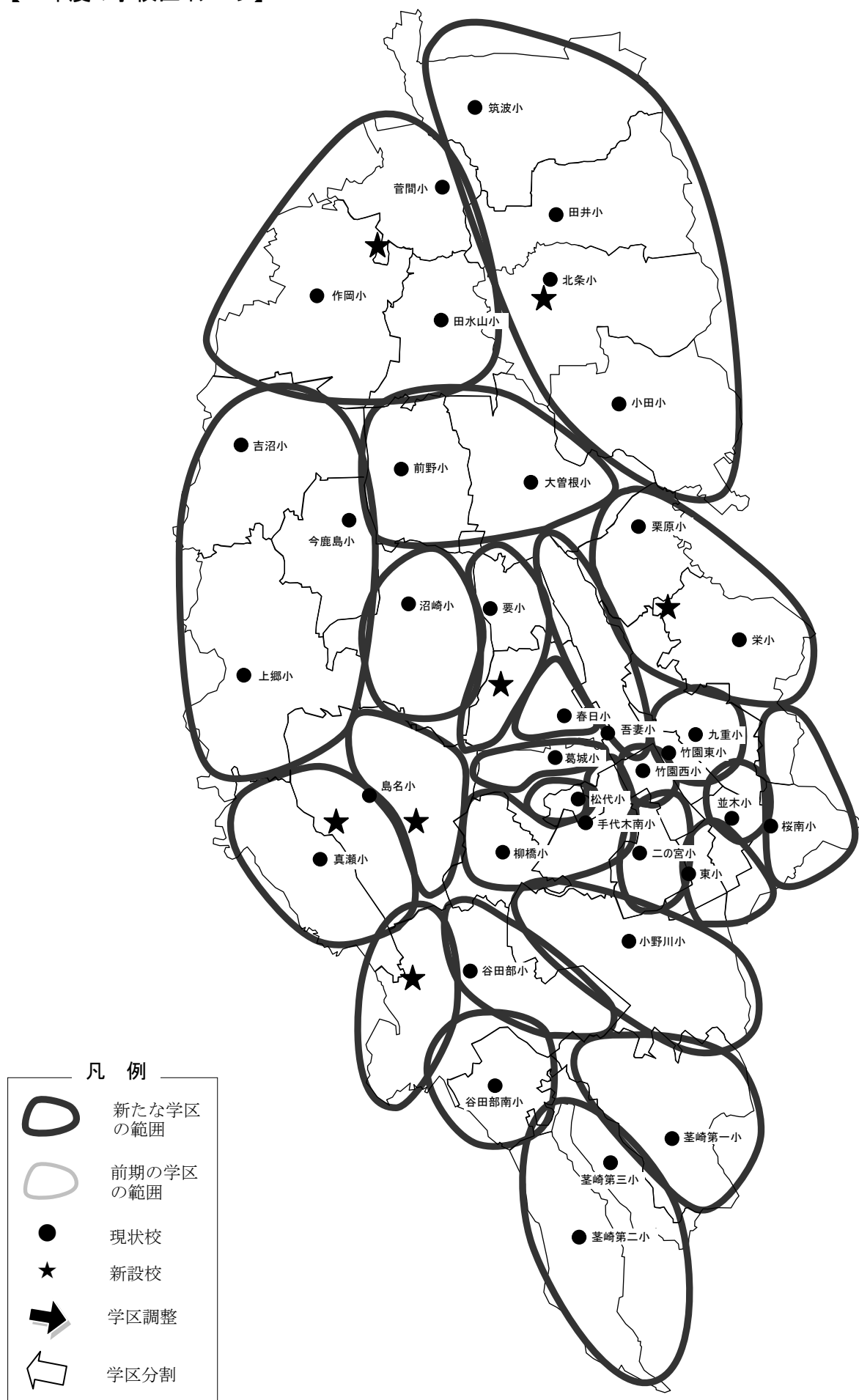


【第二期 31～35年度】





【45年度の学校区イメージ】



3. 中学校の適正配置計画

(1) 学校別の配置方針

①大穂地区

豊里中学校通学区域内の小学校との統合に際しては、豊里中学校との学区調整が必要となります。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●現状の学区の維持を図る	くすのき学園 大穂中	21	16	- 生徒数は三期の初め頃まで逡増、逡減と変動し、それ以降減少する - 三期の中頃まで大規模校で推移し、それ以降標準規模校で推移する	学園の見直しを検討する必要がある	学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	- 吉沼小学校、今鹿島小学校、上郷小学校が統合した場合、吉沼小学校区を大穂中学校区より豊里中学校区への分割を図る - 要小学校区について、（仮称）TX 沿線開発葛城地区中学校新設校に分割を図る						

②豊里地区

大穂中学校通学区域内の小学校との統合に際しては、大穂中学校との学区調整が必要となります。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば豊学園 豊里中	19	15	- 生徒数は二期の中頃まで増加し、それ以降減少する - 二期の中頃まで標準規模校、大規模校を繰り返す、それ以降標準規模校で推移する	学園の見直しを検討する必要がある	学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●吉沼小学校、今鹿島小学校、上郷小学校が統合した場合、吉沼小学校区を大穂中学校区より豊里中学校区への分割を図る						

③谷田部地区

T X沿線開発萱丸地区内の新設予定校との学区編制が課題となります。また、隣接校との学区調整も課題となります。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば輝翔学園 谷田部中	21	21	- 生徒数は三期終わりまで増加し、それ以降通減する - 一期から大規模校に移行する	学園の見直しを検討する必要がある	- 学区分割 - 学区調整
二期	●（仮称）T X沿線開発萱丸地区（みどりの）中学校の分離・新設を検討する						
三期～四期	●柳橋小学校と手代木南小学校が統合した場合、柳橋小学校区を谷田部中学校区より手代木中学校区への分割を図る						
一期	●現状の学区の維持を図る	高山真名学園 高山中	12	11	- 生徒数は三期の初め頃まで増加し、それ以降減少する - 一期まで小規模校で推移し、それ以降標準規模校に移行する。そして二期の終わりから三期の終わり頃まで大規模に推移し、その後標準規模校に移行する		- 教室増設 - 施設一体型小中一貫校
二期	●教室不足に陥る前に、増設を検討する						
三期～四期	●真瀬小学校と島名小学校が統合した場合、施設一体型小中一貫校を検討する						

④桜地区

国指定史跡区域内のため、老朽化による施設改築等の際には、移転が必要と考えられます。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●現状の学区の維持を図る	さくら学園 桜中	14	11	- 生徒数は一期の終わり頃、減少するが、その後二期の終わりまで増加する。それ以降はほぼ一定で推移する - 一期の最初に標準規模になるが、その後二期の中頃まで小規模校で変動する。三期は標準規模校で推移する	- 学園の見直しを検討する必要がある - 国指定史跡地域のため、増改築が困難である	- 現状維持 - 移転検討 - 学区分割
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●施設の老朽化に伴い移転を検討する ●九重小学校が竹園東小学校と統合した場合、九重小学校区を桜中学校区より竹園東中学校区への分割を図る						

⑤筑波地区

生徒数の減少が続き、統合が課題となります。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●作岡小学校、田水山小学校、菅間小学校との統合並びに筑波西中学校との施設一体型小中一貫校を検討する	つくば百合ヶ丘学園 筑波西中	10	6	・生徒数は変動しながら減少する ・小規模校で推移する	・筑波西中学校と筑波東中学校の統合を検討する	・施設一体型小中一貫校 ・統合検討
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						
一期	●田井小学校、北条小学校、筑波小学校、小田小学校との統合並びに筑波東中学校との施設一体型小中一貫校を推進する	つくば紫峰学園 筑波東中	19	7	・生徒数は二期中頃まで変動しながら微減し、その後三期初め頃まで減少する。それ以降一定する。 ・小規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・施設一体型小中一貫校 ・統合検討
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						

⑥茎崎地区

生徒数の減少が続き、将来においては統合の検討が必要と考えられます。

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期	●現状の学区の維持を図る	つくば茎崎学園 茎崎中	20	7	・生徒数は一期が一定で、二期で微増、その後三期の中頃まで減少する。そしてそれ以降は一定となる ・小規模校で推移する	・茎崎中学校と高崎中学校との統合を検討する	・現状維持
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						
一期	●現状の学区の維持を図る	高崎しいの木学園 高崎中	17	10	・生徒数は一期が一定で、その後二期の終わり頃まで増加する。そしてそれ以降減少する ・標準規模校で推移する	・統合にあたっては、保護者や地域住民と十分に協議を行い理解と合意を得る必要がある	・施設分離型小中一貫校の維持
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						

⑦中心地区

一部の学校で、公務員宿舍の削減計画の影響により、児童数の減少が予想されるため、隣接中学校との学区調整等が必要と考えられます。

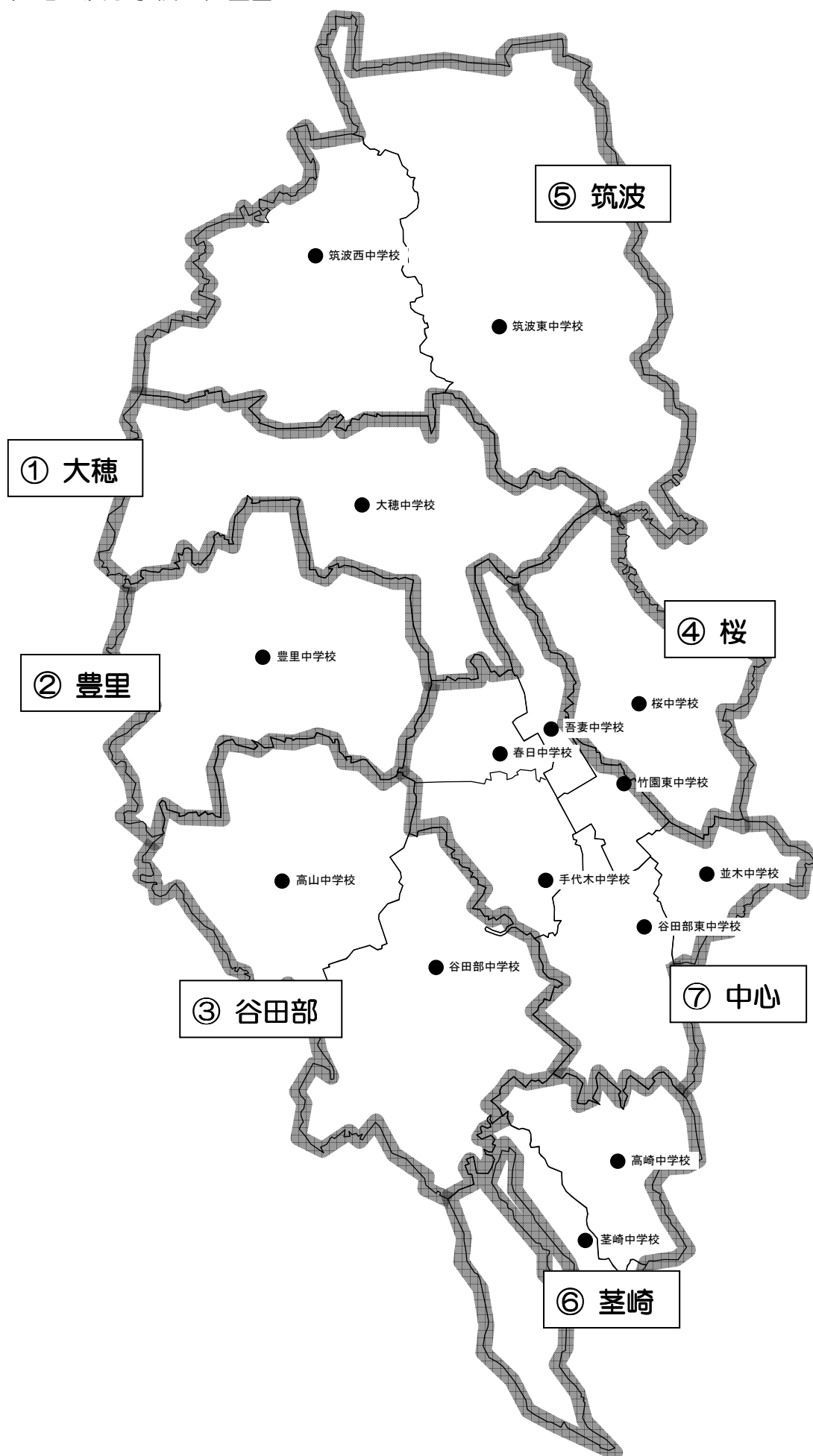
期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の 予想学級数	動 向 ・ 課 題	方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）						
一期	●竹園東中学校区の千現2丁目の分離を検討し、谷田部東中学校区との学区調整を図る ●竹園東中学校区の吾妻4丁目の分離を検討し、吾妻中学校区との学区調整を図る ●教室不足に陥る前に、増設を検討する	つくば竹園学園 竹園東中	20	20	・生徒数は一期の終わり頃まで増加し、それ以降はほぼ一定となる ・大規模校で推移する ・教室不足が発生する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある ・教室増設 ・学区調整
二期	●現状の学区の維持を図る					
三期～四期	●九重小学校と竹園東小学校が統合した場合、九重小学校区を桜中学校区より竹園東中学校区への組み入れを図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	学園つくば桜並木 並木中	21	13	・生徒数は三期の終わりまで、増減を示し、それ以降減少する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●並木中学校区の大角豆の分離を検討し、谷田部東中学校区との学区調整を図る					
一期	●現状の学区の維持を図る	手代木光輝学園 手代木中	19	16	・生徒数は変動しながら三期中頃まで増加し、その後減少する ・標準規模校、大規模校と三期の終わりまで繰り返す、その後標準規模に推移する	・学園の見直しを検討する必要がある ・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●柳橋小学校と手代木南小学校が統合した場合、柳橋小学校区を谷田部中学校区より手代木中学校区への組み入れを図る					
一期	●春日中学校区の春日1丁目の分離を検討し、春日中学校区との学区調整を図る ●竹園東中学校区の吾妻4丁目の分離を検討し、竹園東中学校区との学区調整を図る	つくばAZUMA学園 吾妻中	16	9	・生徒数は二期の終わり頃まで減少し、その後増大する ・標準規模で推移し、二期の終わりに小規模校となるが、それ以降、標準規模校で推移する	・公務員宿舍廃止後の動向を注視する必要がある ・学区調整
二期	●現状の学区の維持を図る					
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る					
一期	●竹園東中学校区の千現2丁目の分離を検討し、竹園東中学校区との学区調整を図る	つくば洞峰学園 谷田部東中	23	18	・生徒数は三期の中頃まで増加し、それ以降はほぼ一定となる ・大規模校で推移する	・学園の見直しを検討する必要がある ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る					
三期～四期	●並木中学校区の大角豆南部の分離を検討し、並木中学校区との学区調整を図る					

⑧TX開発地区

それぞれのTX沿線開発地区内の新設予定校に関わる学区再編が課題となります。

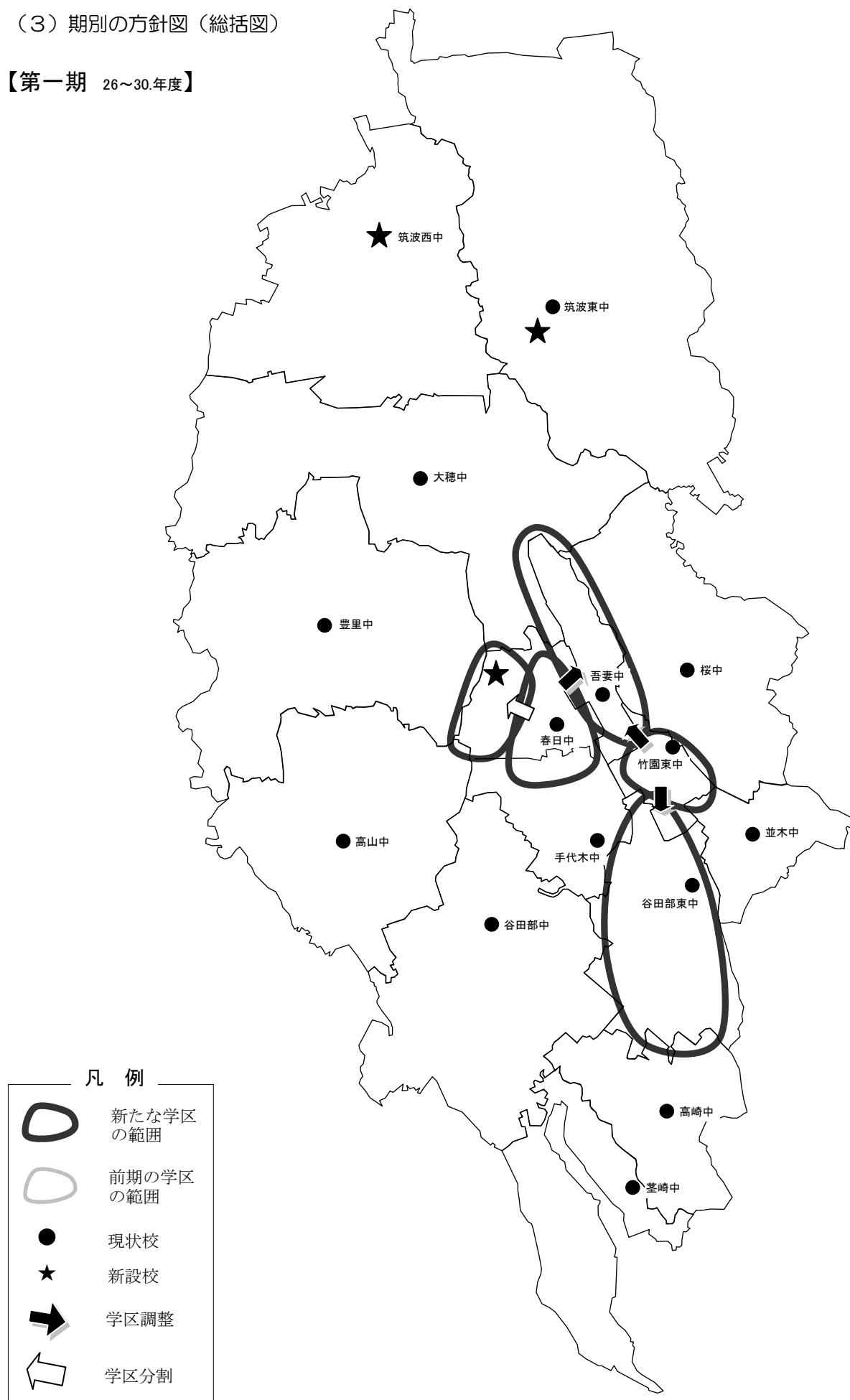
期別の方針		学校名	教室数	平成30年度の予想学級数	動 向 ・ 課 題		方針
一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）							
一期	●春日中学校区の分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発葛城地区の学校予定地に新設を図り、施設一体型小中一貫校を検討する ●春日中学校区の春日1丁目の分離を検討し、吾妻中学校区との学区調整を図る	春日中学校 春日学園	15	17	・生徒数は三期初め頃まで増大し、その後三期終わりまで減少する。そしてそれ以降再び増加する ・一期のはじめは小規模校で、その後一期の終わりまで標準規模校となり、それ以降大規模校で推移する	・春日中学校の大規模校化が想定される	・学区分割 ・学区調整
二期	●第一期の学区の維持を図る						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						
一期～二期	●春日中学校区の分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発葛城地区の学校予定地に新設を図り、施設一体型小中一貫校を検討する	(仮称) TX 沿線開発葛城地区中学校新設校	—	—			・新設 ・施設一体型小中一貫校
三期～四期	●要小学校区を新設校の学区に組み入れを検討する						
一期	—	(仮称) TX 沿線開発島名・福田坪地区中学校新設校	—	—			・新設 ・施設一体型小中一貫校
二期	—						
三期～四期	●高山中学校区の分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発島名・福田坪地区の学校予定地に新設を図り、施設一体型小中一貫校を検討する						
一期	●第一期の学区の維持を図る	(仮称) TX 沿線開発萱丸地区（みどりの）中学校新設校	—	—			・新設 ・施設一体型小中一貫校
二期	●谷田部中学校区の分割を検討し、（仮称）TX 沿線開発萱丸地区（みどりの）の学校予定地に中学校の新設を検討する						
三期～四期	●第二期の学区の維持を図る						
一期	—	(仮称) TX 沿線開発中根・金田台地区中学校新設校	—	—		・桜中学校が移転した場合、施設一体型小中一貫校の新設を検討する	・新設 ・施設一体型小中一貫校
二期	—						
三期～四期	●桜中の移転に伴い、新設を検討する ●施設一体型小中一貫校を検討する						

(2) 地区及び学校区位置図

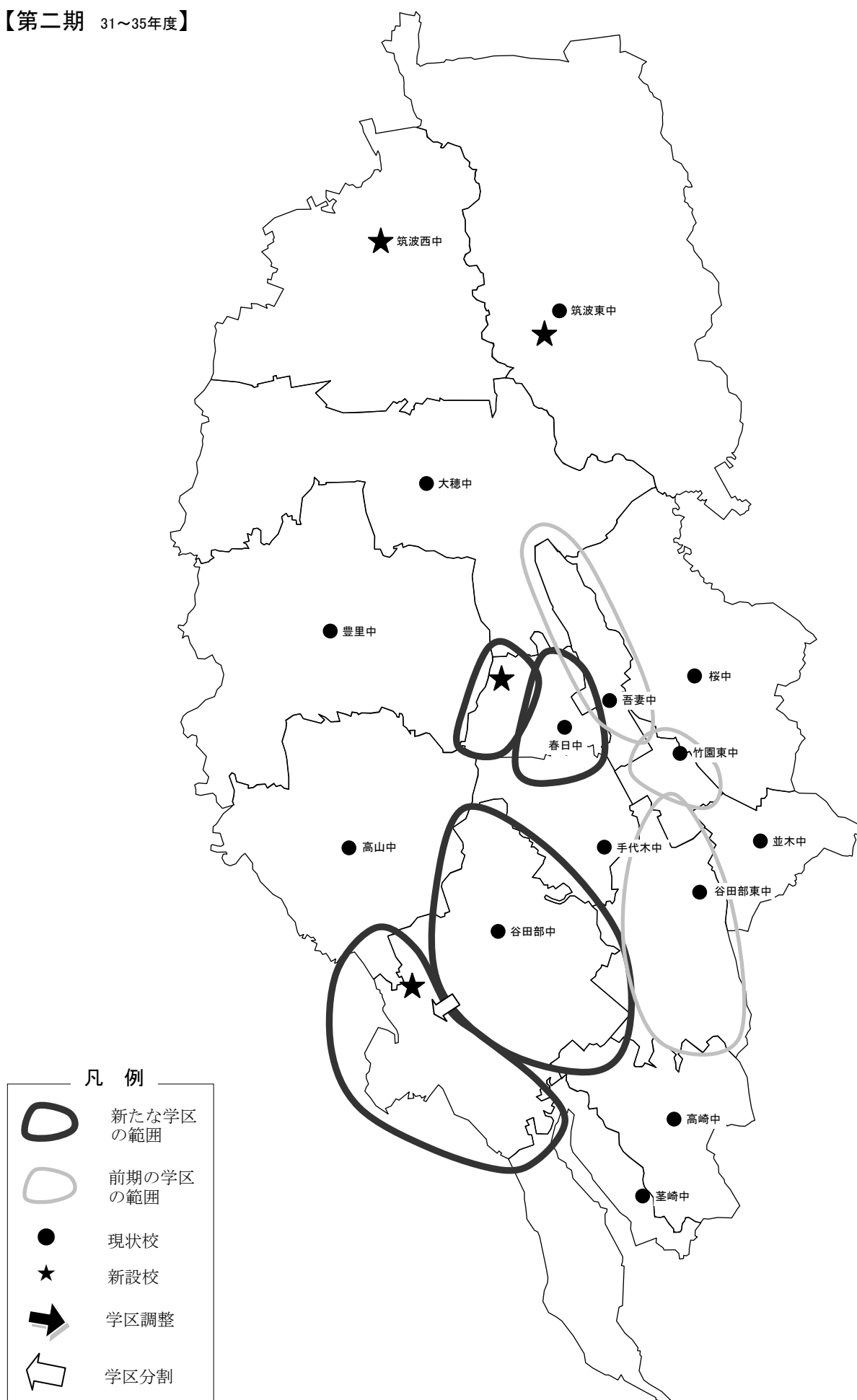


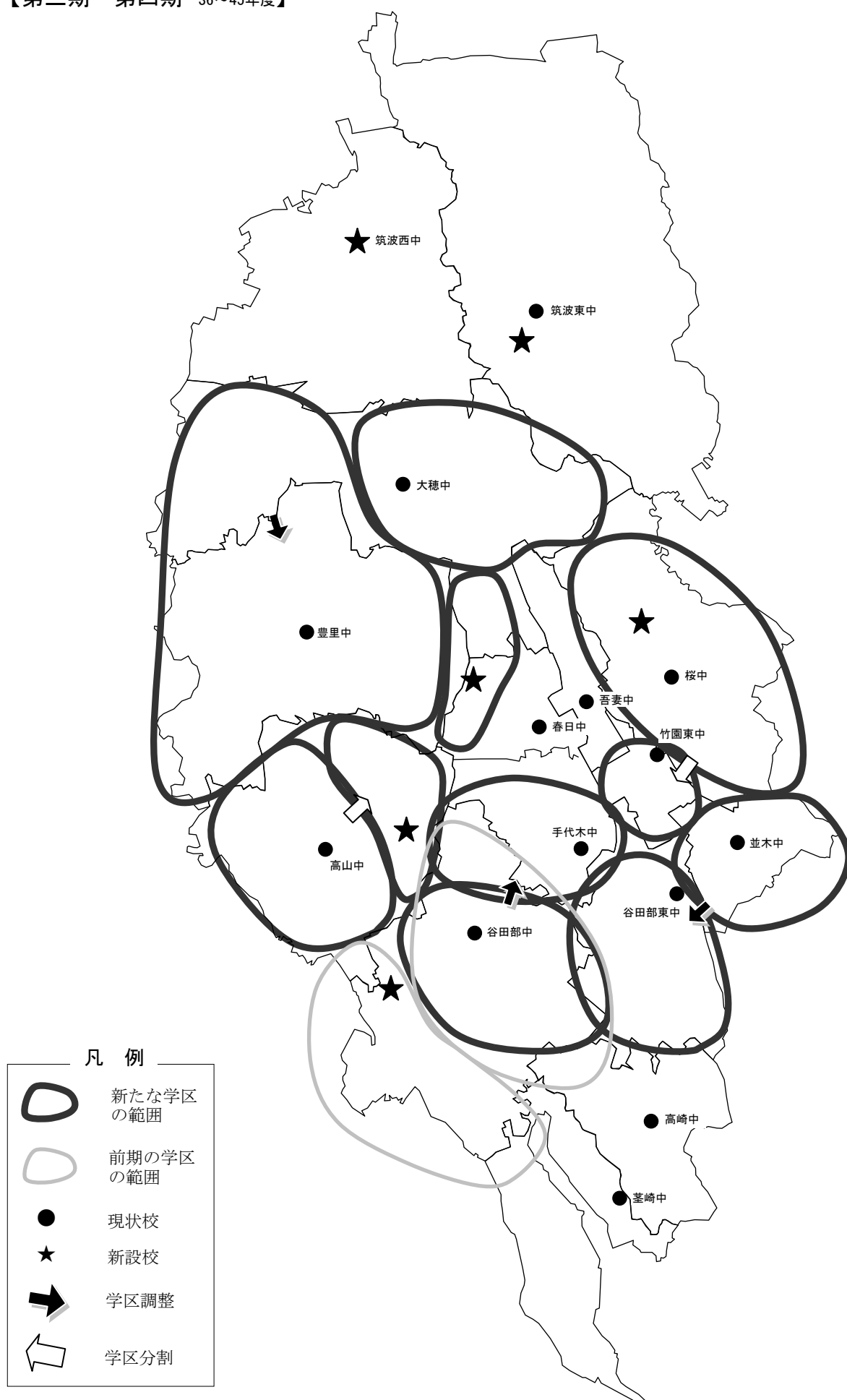
(3) 期別の方針図(総括図)

【第一期 26～30.年度】

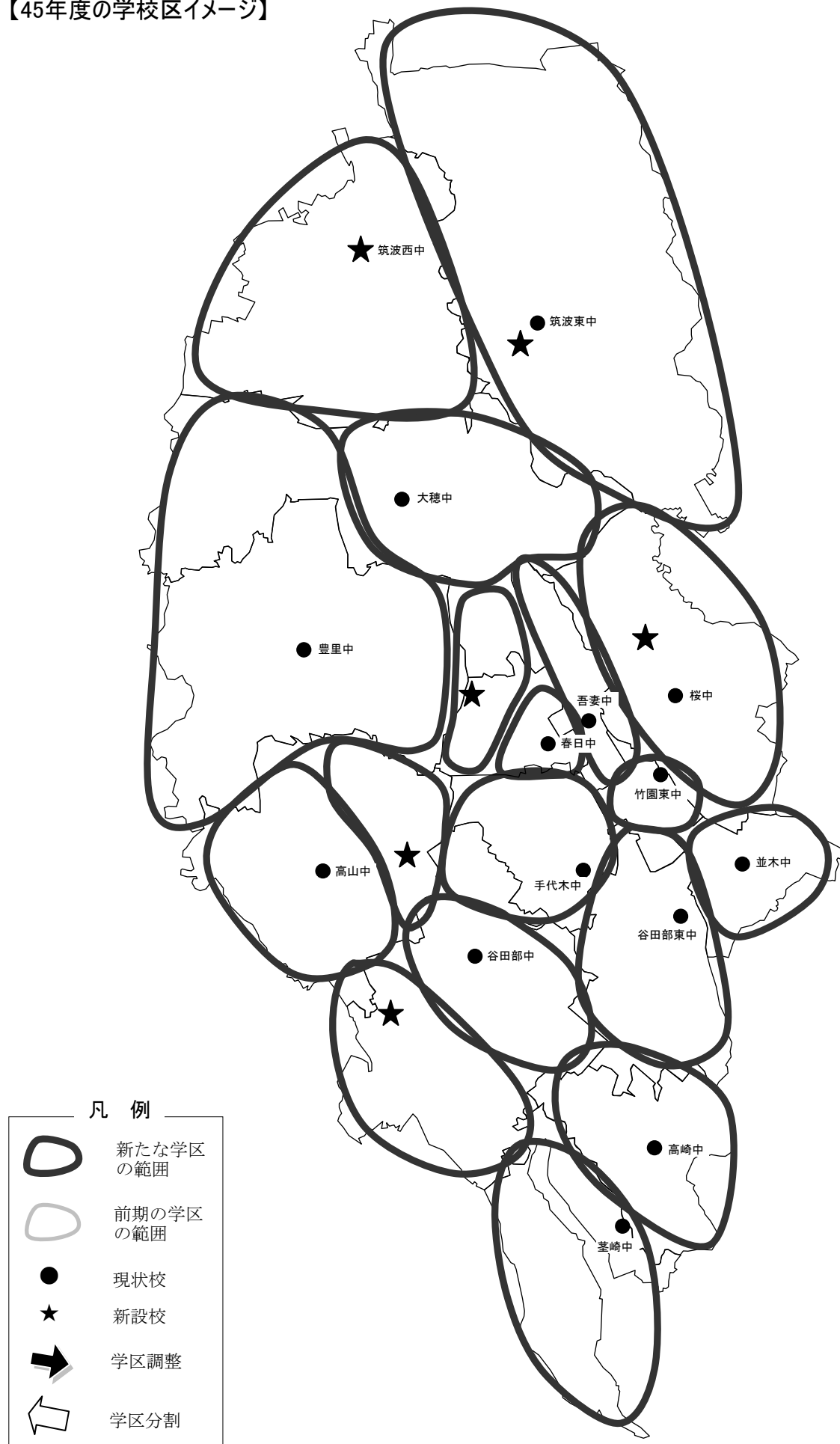


【第二期 31～35年度】





【45年度の学校区イメージ】



4. 幼稚園の適正配置計画

全国的に少子高齢化が進み人口が減少している中、つくば市の人口は現在21万人を超え、さらに年々増加傾向にあります。これに伴い幼児数も増加していますが、研究学園都市中心地域の幼児数は増加しているのに対し、一部周辺地域では幼児数が減少傾向にあり、幼児数の分布状況に地域差が生じています。

また、幼稚園・保育所の利用状況は、市立幼稚園を利用する人数に比べ、市立幼稚園以外の私立幼稚園や保育所を利用する人数が多く、幼児数の変動からは将来の市立幼稚園の利用状況を把握することが難しい状況になっています。

このため、市立幼稚園の適正配置計画は、学区審議会にて提案された「幼小一貫教育の工夫」や「通園のための交通手段の開発」を共通の課題としながら、人口の定着や充足率、あるいは建物の老朽化の対応などを踏まえて、市内を『中心部』と『周辺部』に分けて、それぞれの「動向及び課題」を把握し第一期から第四期までの「幼稚園の配置方針」を設定します。

1) 幼稚園の配置方針

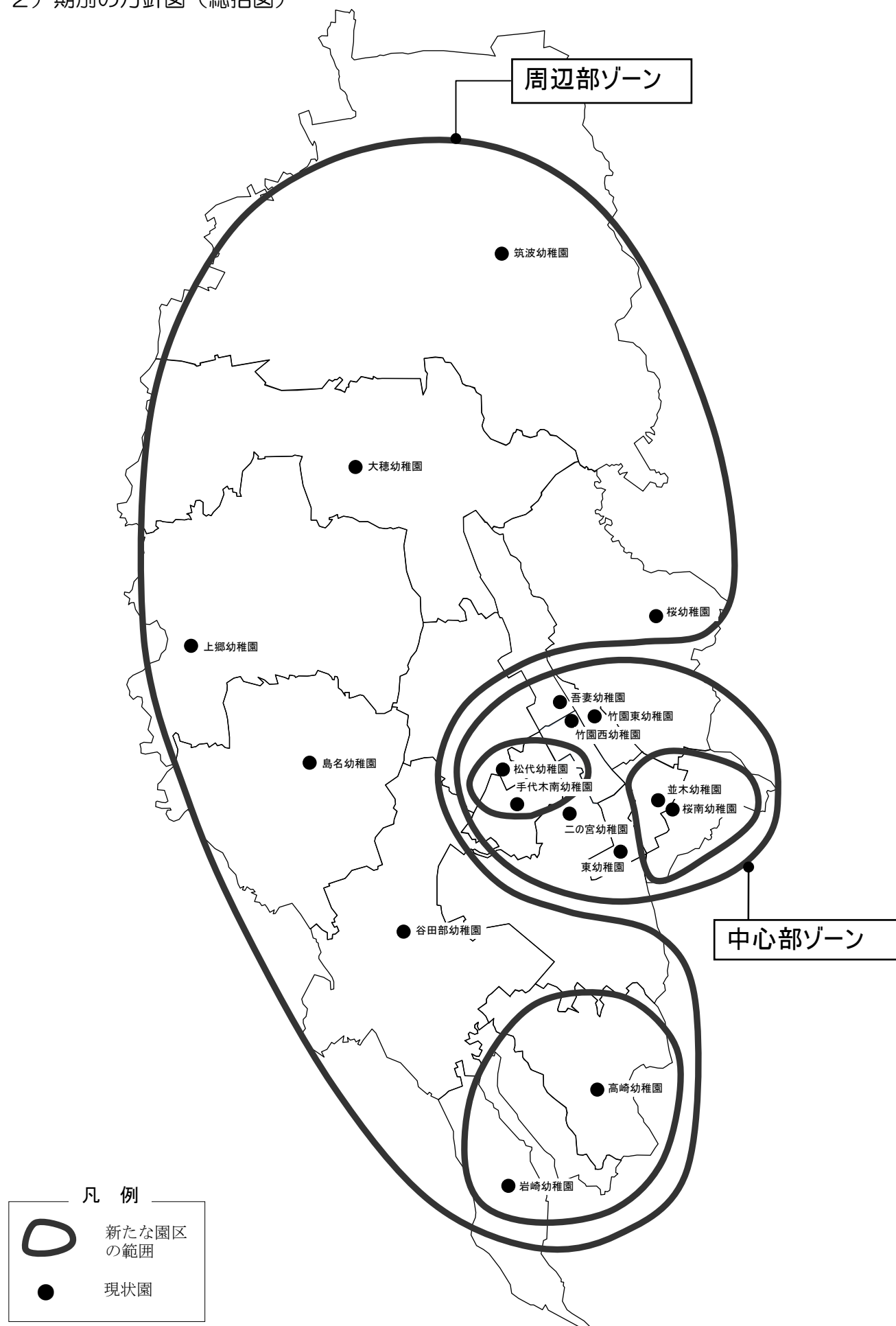
①中心部

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		幼稚園名	動向・課題		方針
一期	●並木幼稚園と桜南幼稚園との統合を検討する ●手代木南幼稚園と松代幼稚園との統合を検討する	手代木南 二の宮 竹園東 並木 吾妻 桜南 竹園西 東 松代	・人口の定着はあるが保育所の利用増に比べて幼稚園利用は少なく、将来にわたり充足率の増加は期待できない ・施設の老朽化が目立つ	・園が中央部エリアに集中している ・住宅密集地にあるため園舎の拡張や、駐車場の確保が難しい ・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある	・隣接区との統合 ・園区調整
二期	●第一期の園区の維持を図る				
三期～四期	●第二期の園区の維持を図る				

②周辺部

期別の方針 一期（H26～30）／二期（H31～35） ／三期～四期（H36～45）		幼稚園名	動向・課題		方針
一期	●高崎幼稚園と岩崎幼稚園の統合と荃崎第三小学校への移転を検討する	大穂 上郷 谷田部 島名 桜 筑波 高崎 岩崎	・全体的に施設の老朽化が著しい ・合併以前の区域内のほぼ中央に立地しているが、園区が広大である ・島名幼稚園の園児数は逡増、その他の園は逡減が予想される		・隣接区との統合 ・園区調整
二期	●第一期の園区の維持を図る				
三期～四期	●第二期の園区の維持を図る				

2) 期別の方針図（総括図）



5. 小中学校の建設費の想定

1) 建設費想定との条件

- 建設費は、小学校と中学校について第一期から第四期までの期別ごとにまとめて想定しています。
- 建設費として想定している項目は、「教室増設」、「改築」及び「新設」です。
- 教室増設は、その期に必要とされる教室数に1教室当たりの想定費を掛けて算出しています。
- 改築は、その期に必要となる校舎改築数に1校舎当たりの想定費を掛けて算出しています。
- 新設は、その期に必要となる校舎等の数量に1校舎等(注)の想定費を掛けて算出しています。
注) 校舎等とは、校舎・屋内運動場・屋内プール・外構・環境対策・用地等を示す。但し、左記の一部が含まれない新設校もあります。また、小中一貫において共有する施設等は小中1/2負担ずつとしています。
- 建設費は、現時点におけるおおよその金額を想定しているものであり、今後において変化することが考えられます。なお、金額は消費税抜きとなっています。

2) 総括表

① 小学校

単位：億円

項目	第一期 (～30年度)		第二期 (31～35年度)		第三期～第四期 (36～45年度)		計
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
①教室増設	2	3.6	-	-	-	-	3.6
②改築	-	-	-	-	-	-	-
③新設	4	119.7	1	34.2	2	65.4	219.3
計	6	123.3	1	34.2	2	65.4	222.9

② 中学校

単位：億円

項目	第一期 (～30年度)		第二期 (31～35年度)		第三期～第四期 (36～45年度)		計
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
①教室増設	1	1.8	-	-	-	-	1.8
②改築	-	-	-	-	-	-	-
③新設	2	50.1	1	25.3	2	47.6	123.0
計	3	51.9	1	25.3	2	47.6	124.8

小中合計	9	175.2	2	59.5	4	113.0	347.7
------	---	-------	---	------	---	-------	-------